

## 宮城ハクチョウ調査調査サイト情報集 2025 年 1 月改訂版

地図は国土地理院の地理院地図を使用し、水域への移動経路を含めた範囲を切り取った。地図情報が古い場合もあるので空中写真(Googlemap より)も参照すること。

Google のストリートビューは水域の状況や移動ルートを見るのに有用なので水域の景観画像を切り取って地図に張り込み(適切なストリートビューがない場合は現地で撮った写真を張り込んだものもある)、アイコンの後に調査水域がストリートビューで見られる主な道路・地点を示したので見ておくと良い。また、白鳥類が映り込む可能性のあるライブカメラの位置をアイコンで示した。

張り込んだ空中写真、ストリートビュー、アイコンは Googlemap やライブカメラサイトにリンクしていてクリックすると最新の画像を見ることができる。

### 広域図凡例

	止水域
	流水域
	調査区域(原則早朝飛び立ち前に巡回)

### サイト情報凡例

	河川調査範囲
	駐車可能地点(一例です)
	観察地点(駐車地点近傍の場合は省略)
	白鳥類集中区域
	車での移動
	徒歩移動
	貼り込みストリートビュー地点(観察地点等と重なる場合は省略して線のみ)
	ライブカメラ(県や国土交通省の河川情報 HP などにリンク)

(注) 記述中に出てくる右岸・左岸は下流側を見た時の方向になる。

### 白鳥渡来地情報をまとめたサイト

・日本白鳥の会重要越冬地 100 選

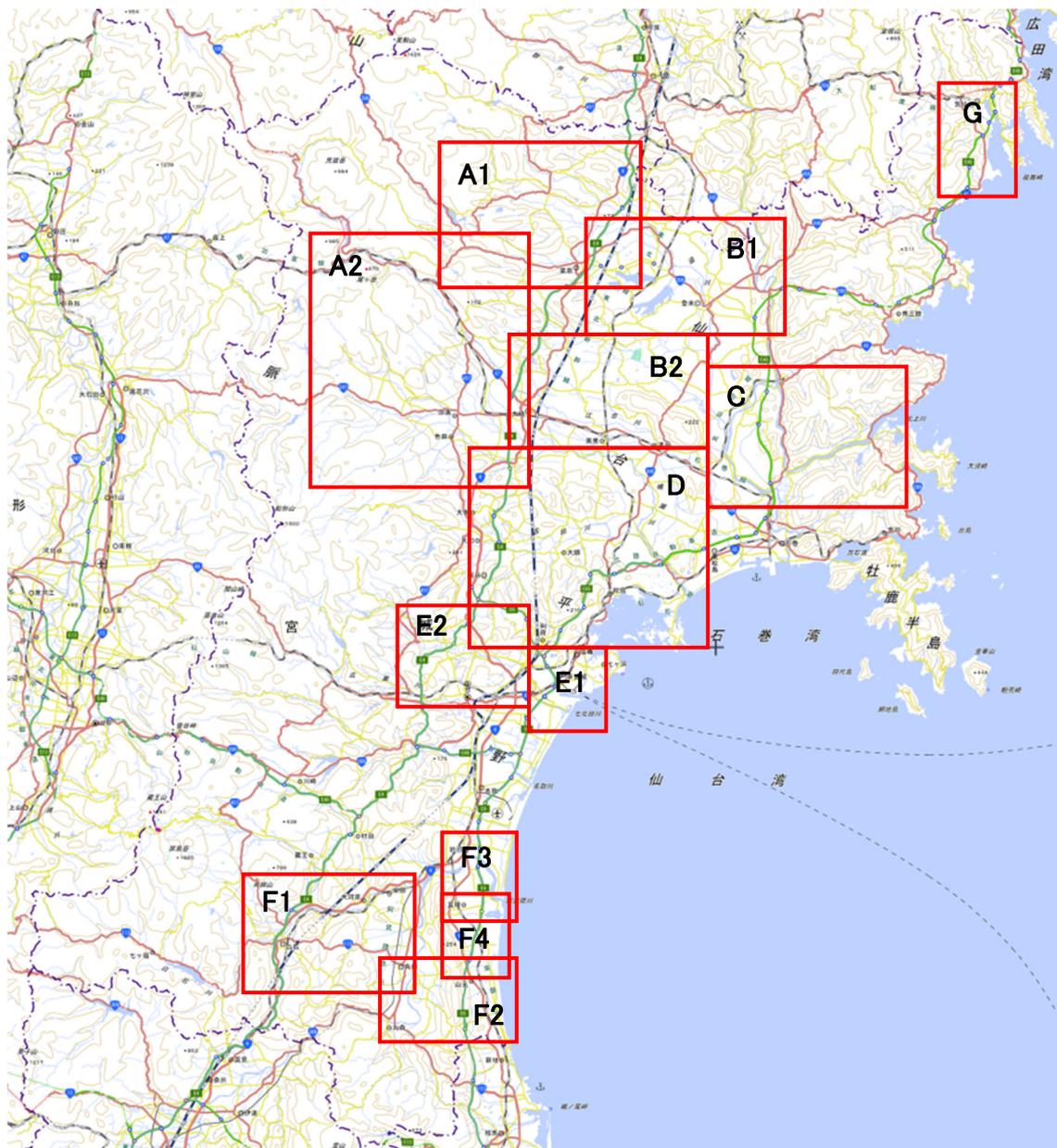
→ <http://jswan.info/japan.swan100/100.02tohoku.miyagi17.pdf>

・宮城県の白鳥飛来地

→ <http://watarubuu.at-ninja.jp/003Aabc.htm>

県内全域図（広域図位置）

クリックで各広域図へジャンプします。



[A1 県北内陸: 迫川上部](#)

[A2 県北内陸: 江合川・鳴瀬川上部](#)

[B1 県北平野部: 迫川中部・北上川上部](#)

[B2 県北平野部: 迫川下部・北上川中部](#)

[C 県北平野部: 迫川下部・北上川中部／県北沿岸部: 北上川下部](#)

[D 仙台圏北部\(含隣接県北地区\): 鳴瀬川中下部・吉田川一帯](#)

[E1 仙台圏中部\(沿岸\)](#)

[G 気仙沼地区](#)

[F1 県南地区: 白石川等](#)

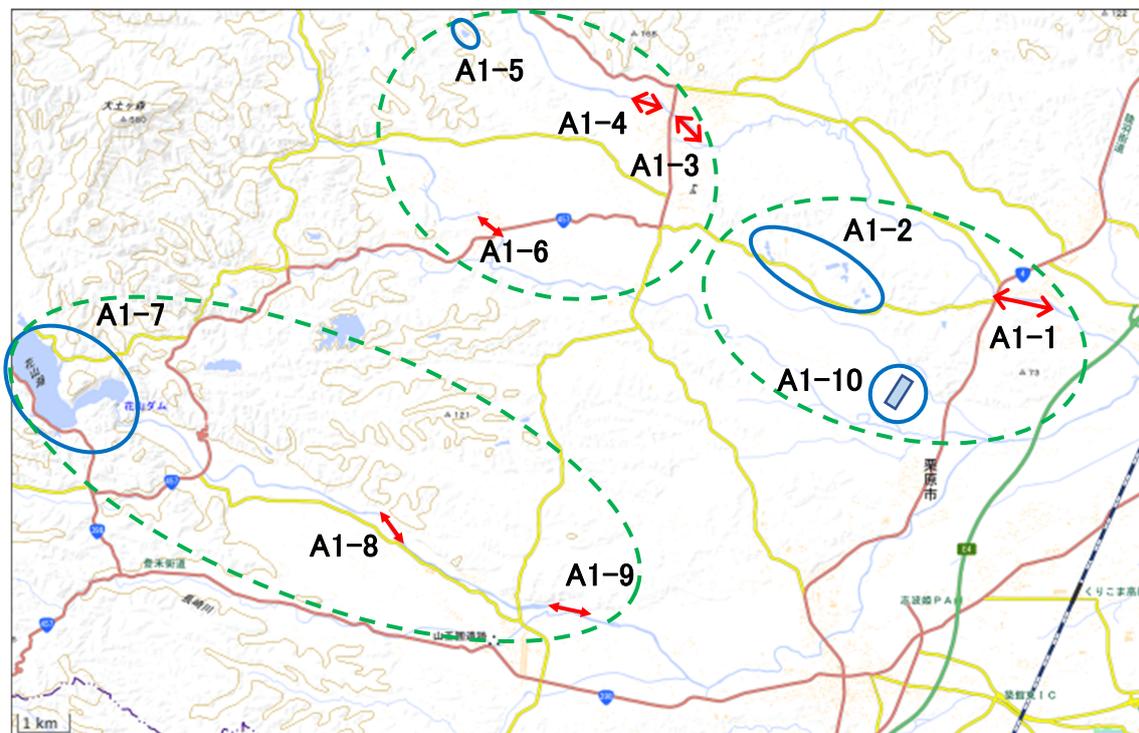
[E2 仙台圏中部\(内陸\)](#)

[F3 県南地区: 国道 6 号線沿線](#)

[F2 県南地区: 阿武隈川中流・山元沿岸](#)

#### F4 県南地区:阿武隈川河口

広域図 A1 県北内陸：迫川上部



A1-1 三迫川河川公園

A1-2 蛇田山西方溜池群

A1-3 三迫川-岩ヶ崎橋下流

A1-4 三迫川-岩ヶ崎橋上流堰

A1-5 高松溜池

A1-6 二迫川-鶯沢新橋周辺

A1-7 花山湖

A1-8 一迫川-伊豆野頭首工

A1-9 一迫川-秋山頭首工

A1-10 沖富調整池

[→全域図に戻る](#)

### A1-1 三迫川河川公園

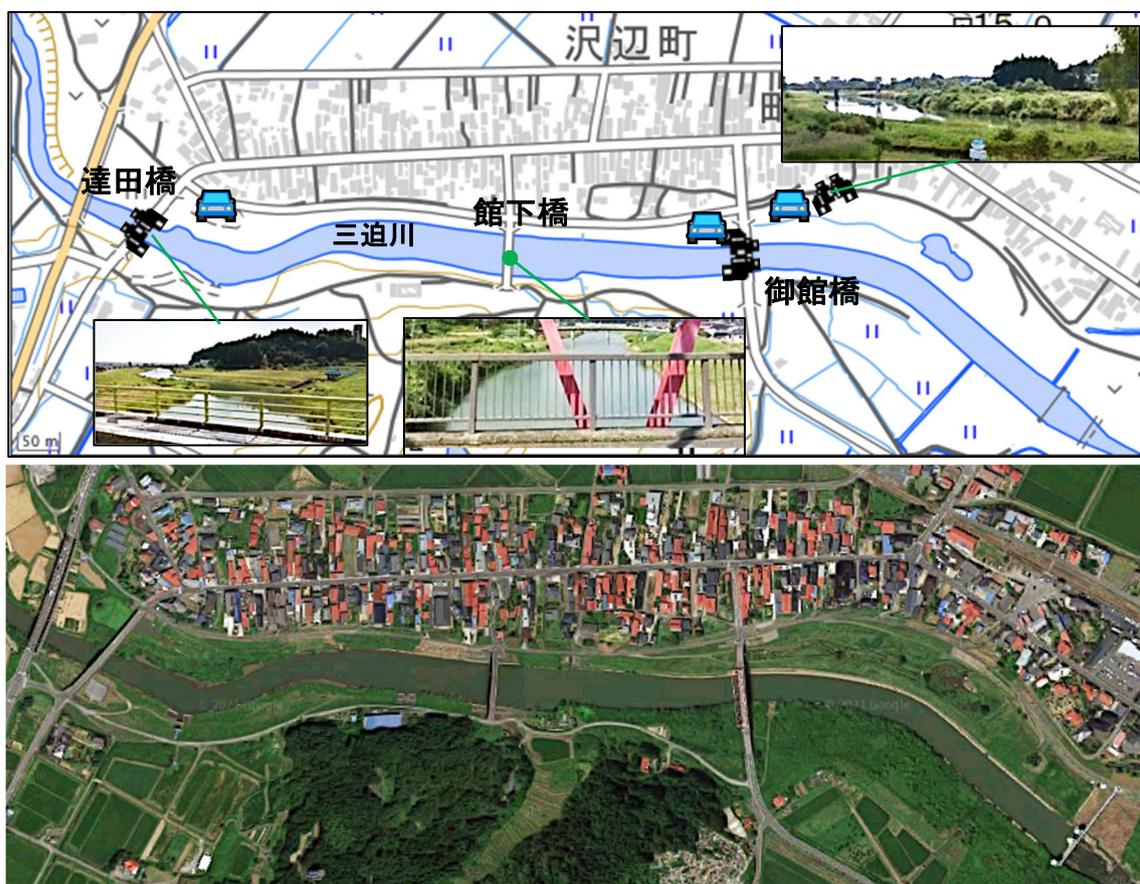
所在地 栗原市金成沢辺町(38.7971565, 141.0656227)

概要 沢辺市街地南側の河川公園。餌を与える人もいるのか、点々と白鳥類が入っている。東方の東北道や新幹線の周辺では水田に出て採食する群れが観察され、この付近もねぐらになっている可能性がある。【👁️👤左岸堤防道、3箇所橋】

過去記録 2021:なし/2022:オ 47 (2022.12.1 近隣水田 オ 78コ4 平泉)

観察地点 橋や堤防から観察する。堤防は細くて殆どすれ違いできないので注意(特に積雪時)。

調査順序(案) 三迫川河川公園→蛇田山西方溜池群→沖富調整池



## A1-2 蛇田山西方溜池群

**所在地** 栗原市栗駒菱沼、栗駒栗原、栗駒八幡(38.803434, 141.02204)

**概要** 大堤、栗原巻返、髭ヶ坂などの溜池がある。2021年調査では大堤でマガンの小群が記録された。髭ヶ坂にはあまり入らないようだ【👁️🗨️3 堤とも隣接道路】

**過去記録** 2022 才 34コ4 (2021.12.3:才 13 平泉)

**観察地点** いずれの堤も近くまで車で近づけるので広範囲が見えるところでカウントする。道が細いところもあるので特に積雪時は注意すること。

**調査順序(案)** 三迫川河川公園→蛇田山西方溜池群→沖富調整池



### A1-3 三迫川-岩ヶ崎橋下流

所在地 栗原市栗駒岩ヶ崎 (38.827399, 140.988118)

概要 沢辺市街地南側の栗駒三迫川河川公園の上流部。餌を与える人もいるのか、点々と白鳥類が入っている。上流の堰をねぐらにしているものも飛来しているようだ。

【👁️🗨️岩ヶ崎橋、左岸堤防道】

過去記録 2022 年 191 号 6 (2022.12.3: 18 平泉)

観察地点 上流端の岩ヶ崎橋と下流の栗駒病院付近からカウントする。

調査順序(案) 岩ヶ崎 2 地点 → 高松溜池 → 二迫川-鶯沢



#### A1-4 三迫川-岩ヶ崎橋上流堰

所在地 栗原市栗駒岩ヶ崎大水門(38.830397, 140.983323)

概要 岩ヶ崎橋の上流の堰。下流の河川公園周辺では主にオオハクチョウが見られるが、ここにはコハクチョウの群れも入る。堰をねぐらにして河川公園に飛んでいくものもいる。【👁️🗨️右岸堤防道】

過去記録 2022 年 201 羽 21 (2022.12.3: 年 16 平泉)

観察地点 堰の左岸に駐車できるので、その付近からカウントする。

調査順序(案) 岩ヶ崎 2 地点→高松溜池→二迫川-鶯沢



## A1-5 高松溜池

所在地 栗原市栗駒稲屋敷(38.841079, 140.942685)

概要 二迫川流域北西端の谷戸奥にある溜池。【👁️🚗車道から林の隙間】

過去記録 2022 なし(2020.12.6:才 45 コ 6/2022.12.3:才 13 平泉)

観察地点 有機センターへの道を登っていくと堤の手前で谷戸に降りる道があり、道の状態が悪ければ奥には行かずに歩いて、堤に上ってカウントする。

※2021-22 シーズンには高松溜池と鶯沢新橋の中間のふゆみずたんぼと両者との間の行き来が認められた(ねぐらだった可能性もある)。

調査順序(案) 岩ヶ崎 2 地点→高松溜池→二迫川-鶯沢



## A1-6 二迫川-鶯沢新橋周辺

所在地 栗原市鶯沢 (38.810621, 140.94591)

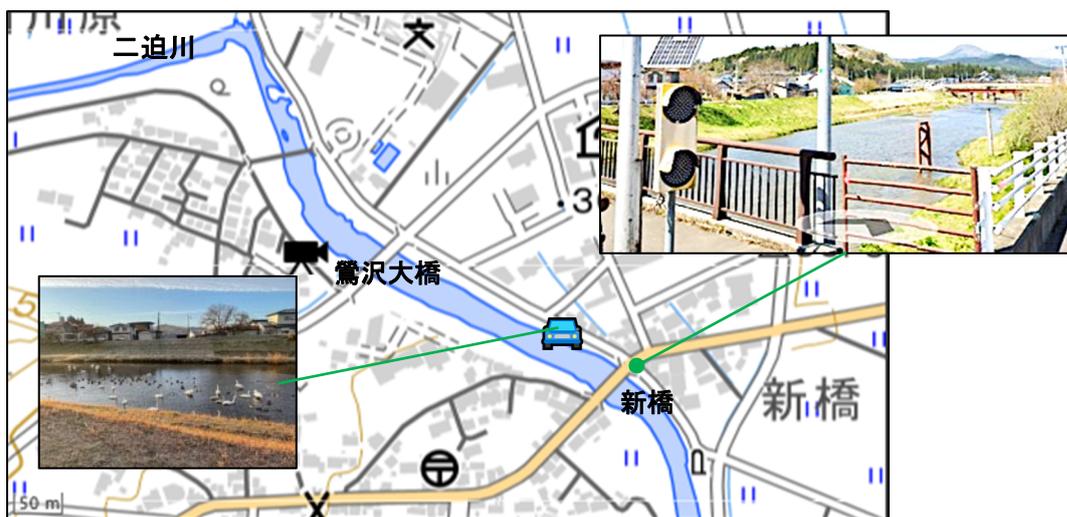
概要 鶯沢市街地を流れる二迫川の国道 457 号線の橋上流に遊泳する群れが見られ、給餌依存と思われる。【橋、左岸車道】

過去記録 2022 才 129 (2022.12.1:才 49 平泉)

観察地点 川は左岸の車道脇を流れているのでカウントは容易。

※2021-22 シーズンには高松溜池と鶯沢新橋の中間のふゆみずたんぼと両者との間の行き来が認められた(ねぐらだった可能性もある)。

調査順序(案) 岩ヶ崎 2 地点→高松溜池→二迫川-鶯沢



## A1-7 花山湖

所在地 栗原市花山(38.7871268, 140.8470417)

概要 一迫川上流のダム湖。冬は水位が下げられていてさすが広範囲に露出する。ダム堤体や管理事務所のある奥まった部分は水深もあり白鳥類の利用には好適とは思えず見る必要性は低い。【👁️🗨️座主橋と周辺の国道 398 号・県道 178 号】

過去記録 2021:オ 46 コ 2 / 2022 オ 8 (2022.12.1:オ 4 平泉)

観察地点 西岸の座主橋付近が砂州が出る付近を含めて北・中部一帯を把握しやすい(カモ類は南側のいっぷく公園付近に多い)。

調査順序(案) 一迫川-秋山頭首工→伊豆野頭首工→花山湖 または逆ルート



### A1-8 一迫川-伊豆野頭首工

所在地 栗原市一迫真坂(38.7590944, 140.9269075)

概要 伊豆野せせらぎ公園の上流の堰(地図は古い)。周辺の水田に飛んでいくのが観察できる。周辺の水田には水が溜まって言えるものが多い。

過去記録 2021:才 44 / 2022 才 164 コ 48 (2022.12.1:才 29 コ 49 平泉)

観察地点 せせらぎ公園駐車場に入らず、左手の水路沿いの道に入ると堰に出られ、そこからカウントできる。

調査順序(案) 一迫川-秋山頭首工→伊豆野頭首工→花山湖 または逆ルート



### A1-9 一迫川-秋山頭首工

所在地 栗原市一迫柳目 (38.7455516, 140.9653888)

概要 一迫市街の下流にある堰(空中写真は古い)。湛水部の上流側で長崎川が合流する。長崎川にも貯まりになっているところがあり湛水部と行き来する白鳥類が見られる。【👁️🗨️天拝橋、長崎川右岸未舗装道路(あまり見えない)】

過去記録 2021:オ 175コ 67 / 2021:オ 192コ 32 (2022.12.1:オ 87コ 7 平泉)

観察地点 堰のすぐ上流の天拝橋付近からカウントする。長崎川も覗いて見た方がよい。

調査順序(案) 一迫川-秋山頭首工→伊豆野頭首工→花山湖 または逆ルート



## A1-10 沖富調整池

所在地 栗原市築館富下熊川、築館黒瀬黒瀬向ほか(38.784110, 141.036018)

概要 大きな長方形の調整池。垂直のコンクリ壁で囲まれている。

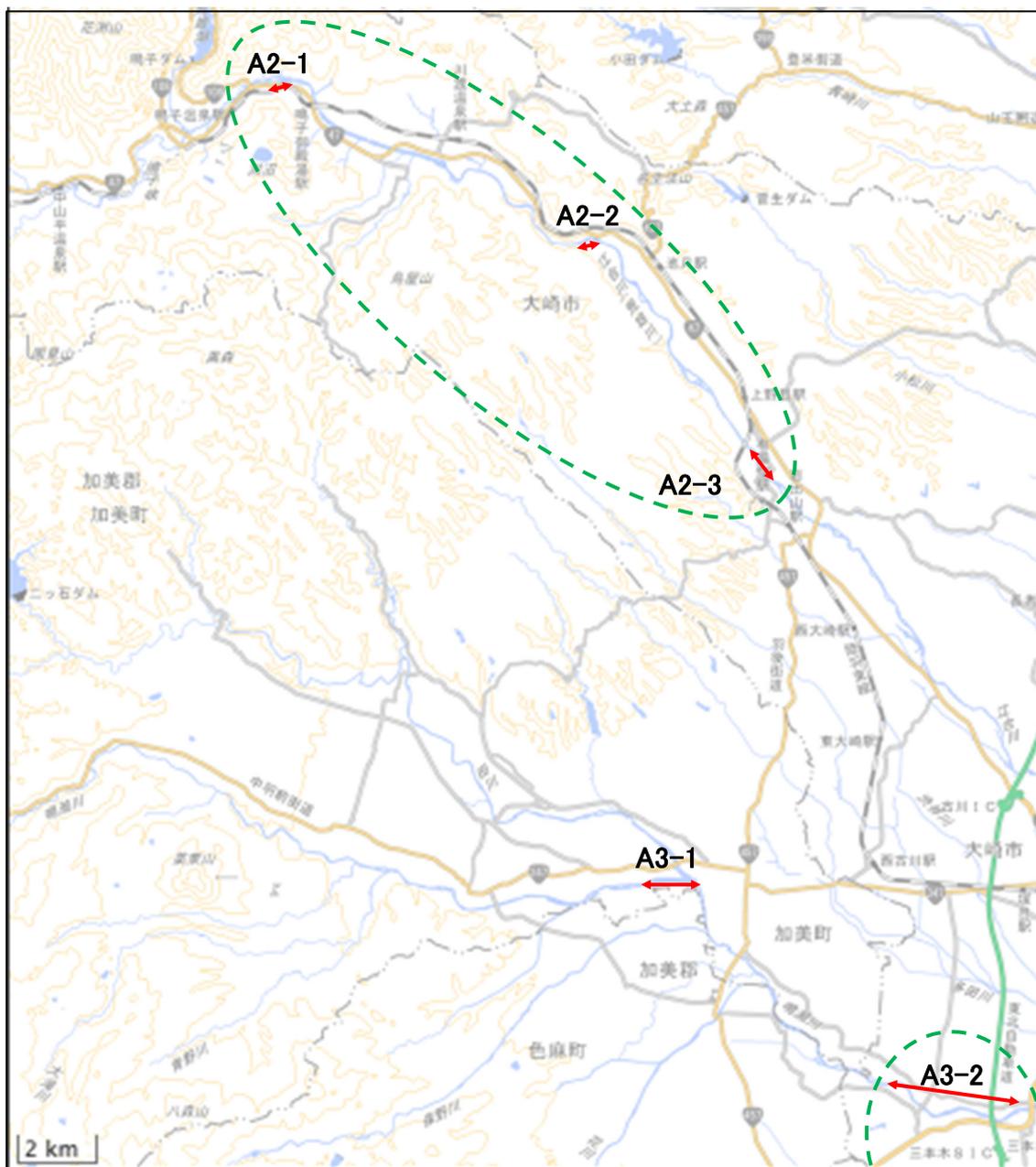
過去記録 2022なし (2021.11.20:才 20コ 169、2022.12.3 才 100コ 35 平泉)

観察地点 フェンスに囲われているのでやや見にくいですが周囲のどこからでも堤に上られる。観察地点は他のサイトに近く移動の手間がない北東の角が良いだろう。

調査順序(案) 三迫川河川公園→蛇田山西方溜池群→沖富調整池



広域図 A2 県北内陸：江合川・鳴瀬川上部



A2-1 江合川-鳴子温泉赤這堰  
A2-2 江合川-二ツ石頭首工  
A2-3 江合川-岩出山 JR 鉄橋下流

A3-1 鳴瀬川-田川合流部  
A3-2 鳴瀬川-高倉橋～東北道周辺

[→全域図に戻る](#)

A2-1 江合川-鳴子温泉<sup>あかばいせき</sup>赤這堰

**所在地** 大崎市鳴子温泉(38.7498177, 140.7313833)

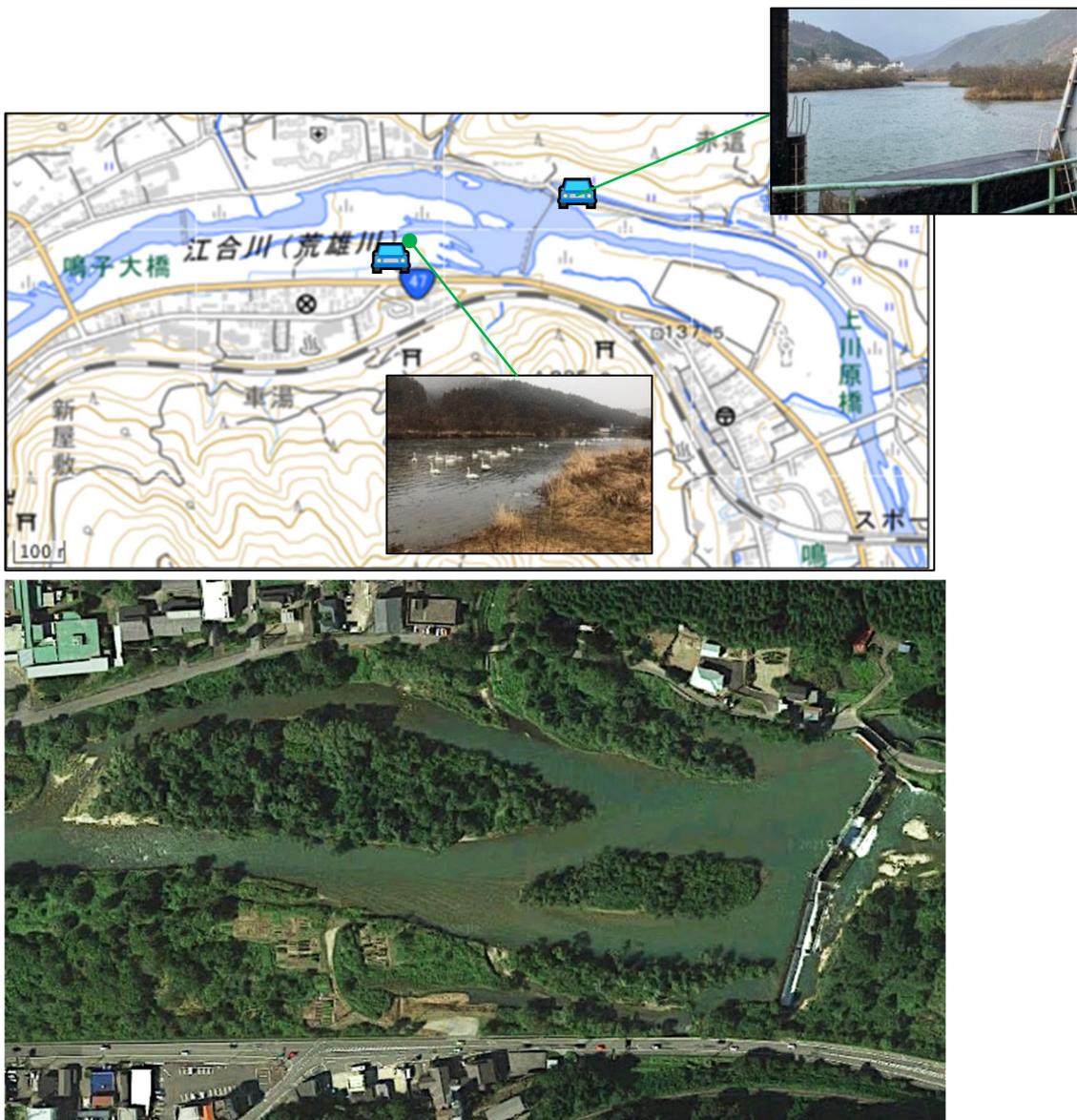
**概要** 鳴子温泉に面した赤這堰の湛水域。餌撒きする人もいるようだ。【👁️🗨️左岸道路堰付近】

**過去記録** 2020 才 46 / 2022 才 15 (2022.12.4 才 38 平泉)

**観察地点** 堰の左岸と給餌場所らしい右岸の岸边(国道の弁天閣温泉前から河川敷に下る)でカウントする。

**調査順序(案)** (鳴瀬川-田川合流部→)江合川-岩出山 JR 鉄橋下流→池月鴉目橋上流堰→鳴子温泉赤這堰

鳴瀬川-田川合流部は少し離れているが可能ならそこから初めても良い。



## A2-2 江合川-ニツ石頭首工

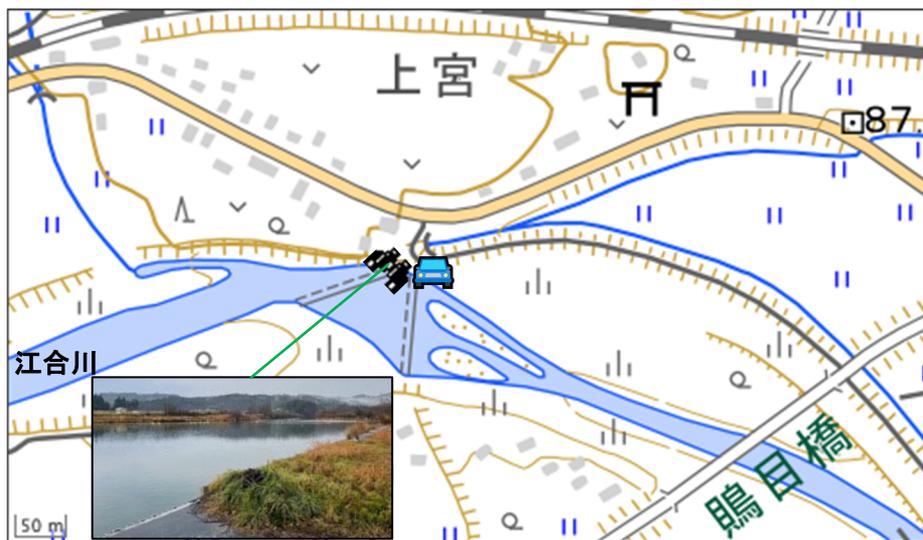
所在地 大崎市岩出山池月上宮(38.714878, 140.817364)

概要 池月の道の駅を過ぎて国道108号線を鳴子に向かうと見える<sup>もずめ</sup>鴉目橋上流の堰。ここも餌を巻撒く人がいるのか近寄ってくる白鳥類がいるが、昼間は付近の水田に出て採食するようだ。

過去記録 2020才64コ4/2022:才12 (2022.12.4才24 平泉)

観察地点 国道から堰の方に入ったところに駐車でき、そこから堰の脇に降りられるので、そこでカウントする。

調査順序(案) (鳴瀬川-田川合流部→)江合川-岩出山 JR鉄橋下流→池月鴉目橋上流堰→鳴子温泉赤這堰



### A2-3 江合川-岩出山 JR 鉄橋下流

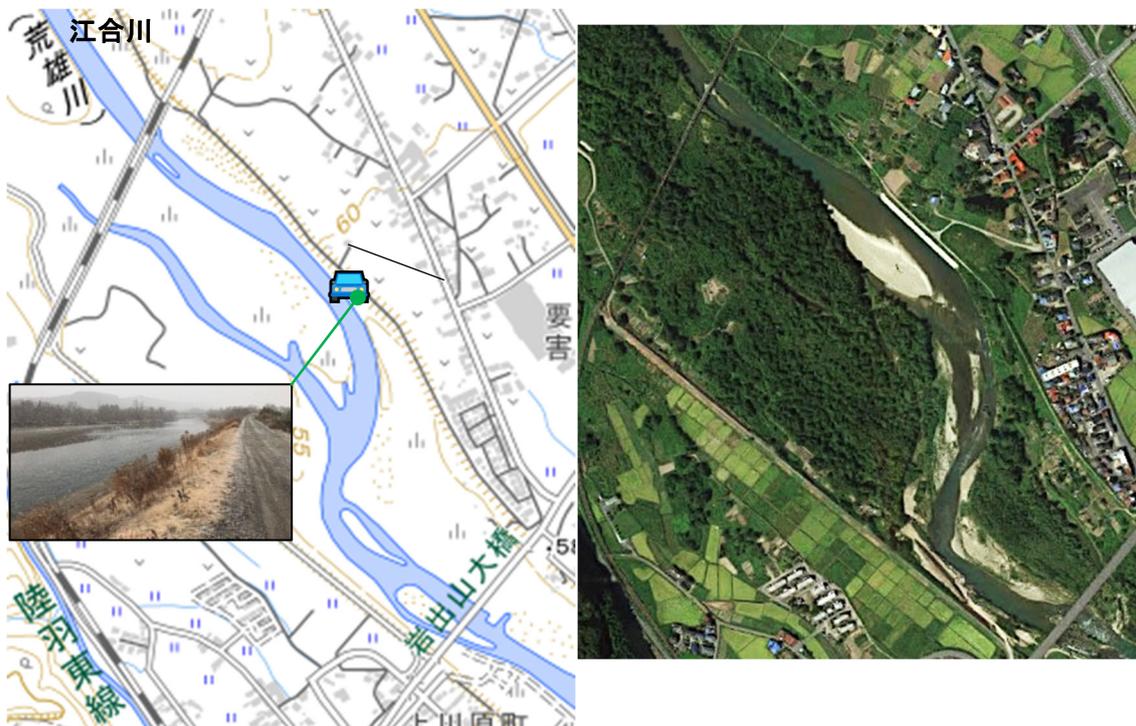
**所在地** 大崎市岩出山上野目上川原(138.668, 40.8626183)

**概要** 岩出山大橋とJR 鉄橋の間。大橋上流で川がカーブした先に洲があり、白鳥類がねぐらにしている。

**過去記録** 2020 コ 17 / 2021:オ 28 / 2022 なし (2022.12.4 なし 平泉)

**観察地点** 大橋と鉄橋の間の左岸川岸に出ることができ、そこからカウントする。

**調査順序(案)** (鳴瀬川-田川合流部→)江合川-岩出山 JR 鉄橋下流→池月鴉目橋上流堰→鳴子温泉赤這堰



### A3-1 鳴瀬川-田川合流部

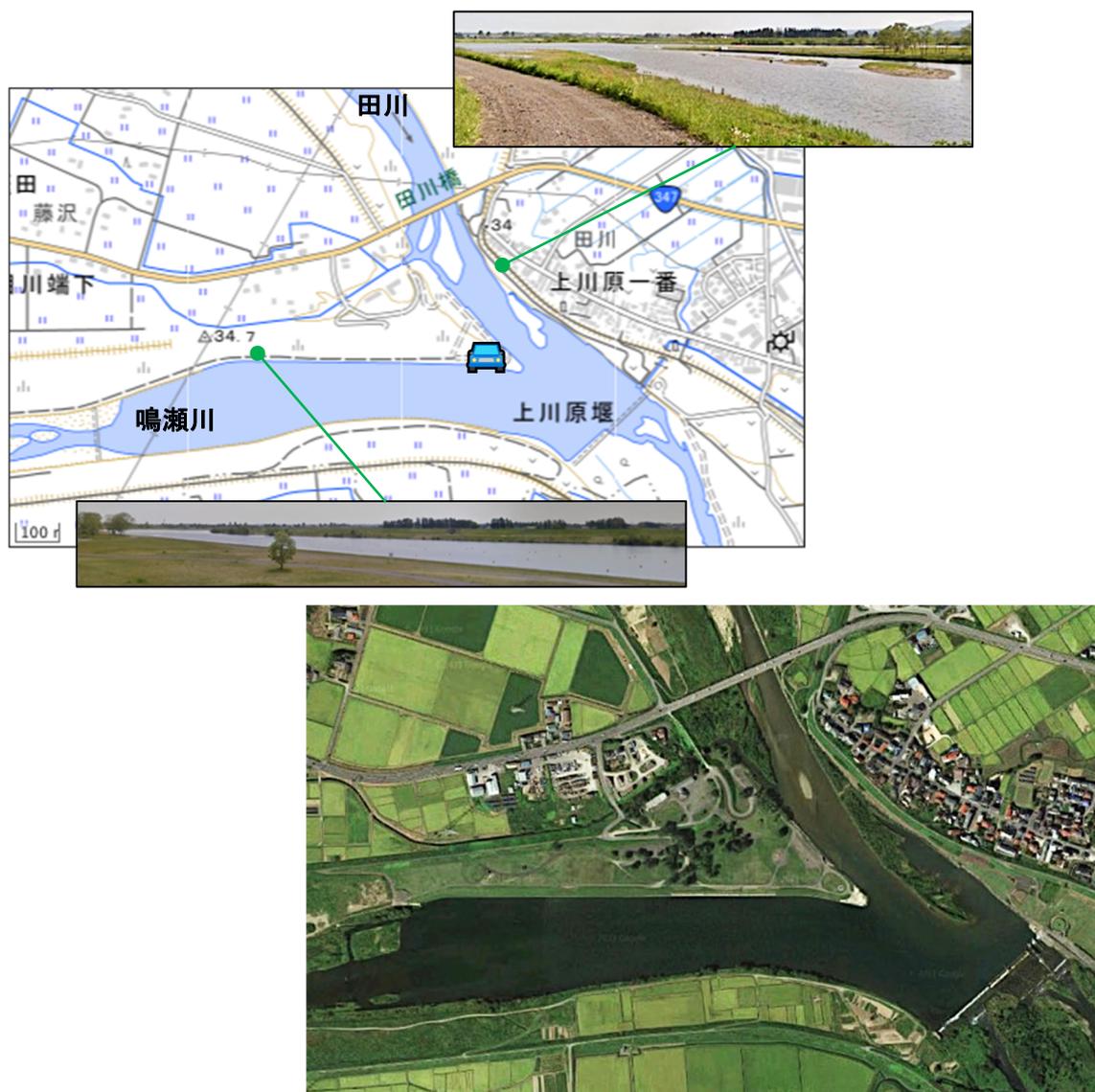
所在地 加美郡加美町米泉(38.5748826, 140.8424921)

概要 上川原堰の上流で田川が合流しており、カヌー競技場になっていて川幅があり流れは緩やか。一度だけだったが田川橋上流側の田川にコハクチョウが多数見られたこともある。この一帯には春に雪が溶けると多数が集まるそうだ。【👁️🗨️河川公園内道路、田川左岸側堤防道】

過去記録 2020:オ 44 コ 49 / 2021:オ 30 コ 1 / 2022 オ 15 (2022.12.4 オ 33 コ 28 平泉)

観察地点 左岸側の鳴瀬川河川公園内から容易に観察できる。田川との合流点付近などでカウントする。

調査順序(案) (鳴瀬川-田川合流部)→江合川-岩出山 JR 鉄橋下流→池月鴉目橋上流堰→鳴子温泉赤這堰



### A3-2 鳴瀬川-高倉橋～東北道周辺

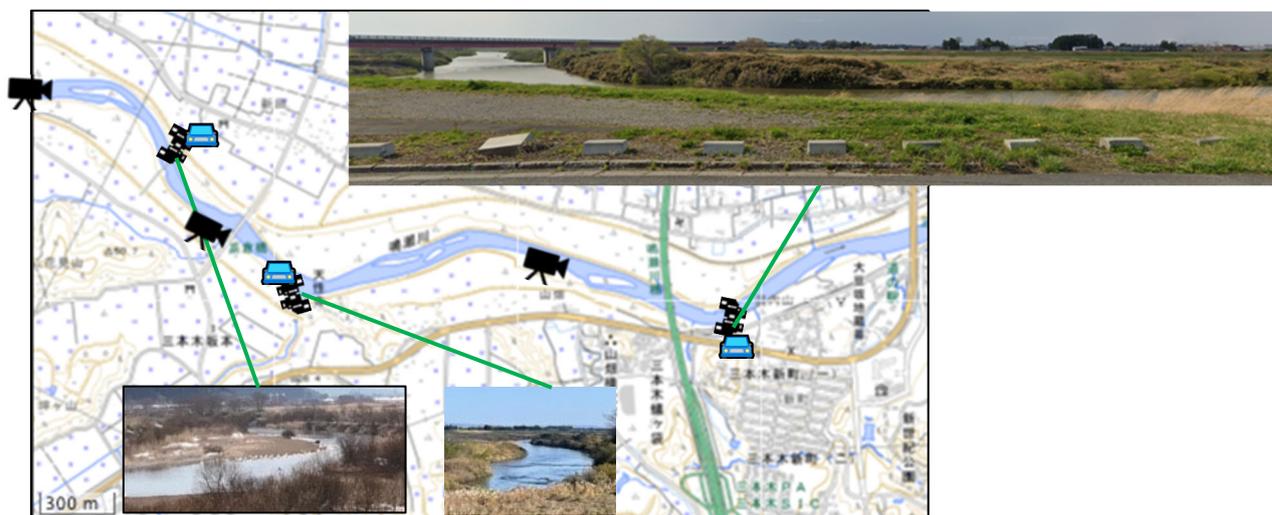
所在地 大崎市三本木(38.521334, 140.931422)

概要 高倉橋から東北道にかけての鳴瀬川に洲が点在する区間。東北道付近では2020-21 シーズンは当初多かったがその後少なくなった。上流の県道 158 号線高倉橋周辺でも数年前までは多数見られたことがあったが、最近は情報不足。【👁️🗨️ファミマ前、橋】

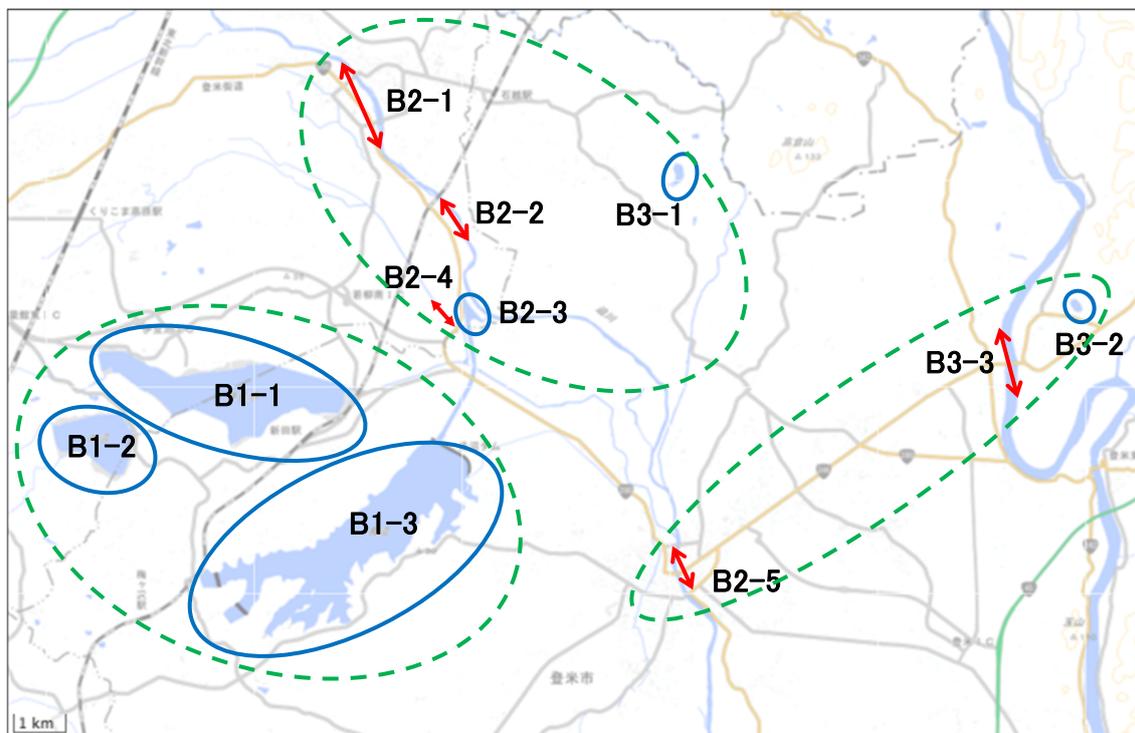
過去記録 2022 才 6 (2022.12.8 才 7 コ 155 平泉)

観察地点 東北道付近ではファミリーマート大崎三本木店前の川岸から(上流は橋の下を通して見て)カウントする。高倉橋周辺では上流側は左岸の水道橋付近堤防から上流でカーブしているところの洲が見え、下流側は高倉橋から右岸堤防道に入ると下流でカーブしているあたりまでが見える(その先は下流ファミマ前から見える範囲)。

調査順序(案) 直沢堤→鳴瀬川-東北道周辺



広域図 B1 県北平野部：迫川中部・北上川上部



B1-1 伊豆沼

B1-2 内沼

B1-3 長沼

B2-1 迫川-若柳

B2-2 迫川-若石大橋上流

B2-3 川南新砂原の湿地

B2-4 荒川-若柳川南

B2-5 迫川-佐沼(錦橋)

B3-1 海上連公園

B3-2 北上川-錦桜橋

B3-3 機織沼

[→全域図に戻る](#)

## B1-1 伊豆沼 B1-2 内沼

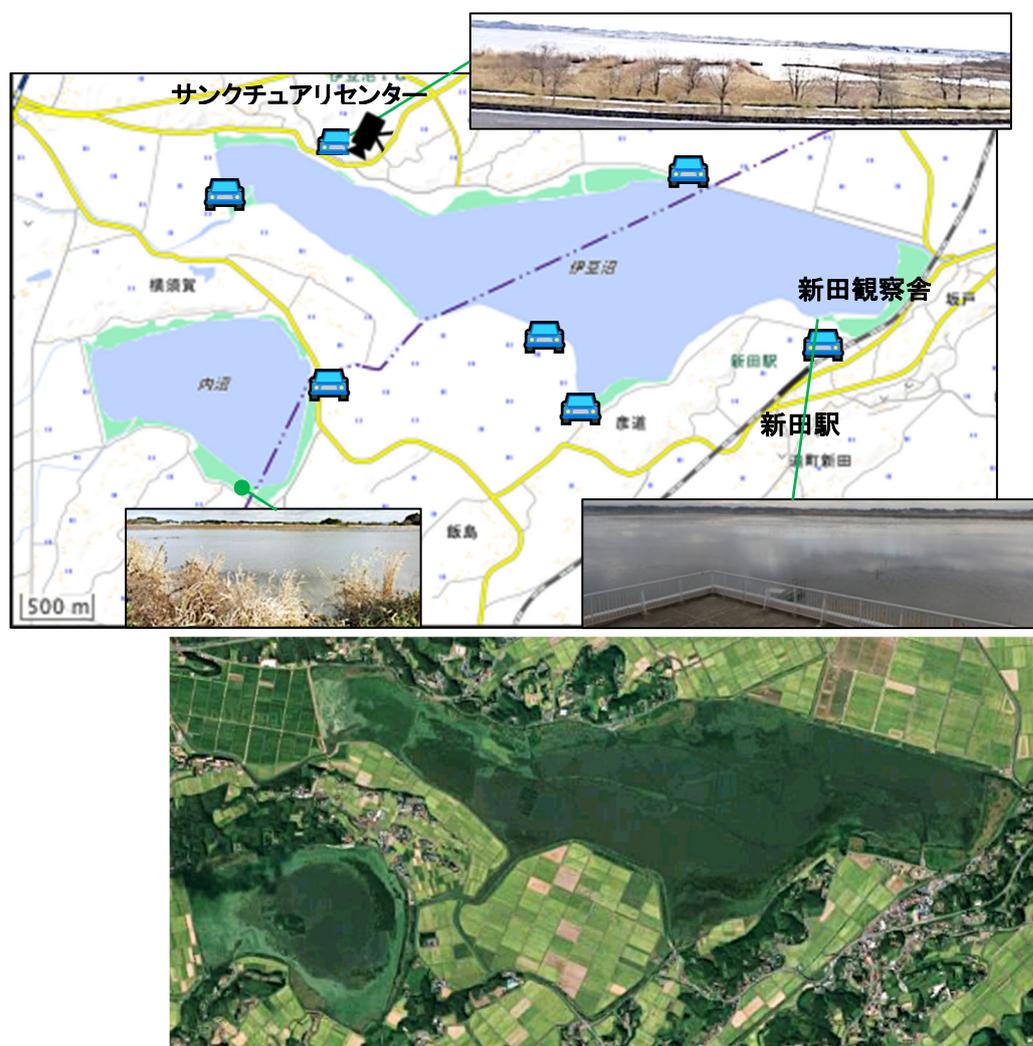
所在地 栗原市築館、登米市迫町(伊 38.7168002, 141.1056708 内 141.0755256, 38.7136197)

概要 ラムサール条約登録湿地で雁類の大規模ねぐら(カウント不要)、オオハクチョウの県内最大の越冬地域。沼内で採食するものが多く、早朝調査の必要性は比較的低い。【👁️👁️サンクチュアリセンター、新田観察舎、周回道路】

過去記録 2020(伊・内):オ 318コ9/2021:(伊)オ 149(内)オ 504コ4/(伊・内):オ 3089コ20 (2022.12.5(伊)オ 113(内)オ 114 平泉)

観察地点 伊豆沼はサンクチュアリセンターと新田の観察舎上から広範囲が見えるので、沼の周囲の道を巡り、西端や南岸中間の堤などから遠距離や死角になる部分や周辺の水田に出ているものを適宜補足すれば良い。内沼は東側の B&G 艇庫の上から全体がカウントできる。

調査順序(案) 伊豆沼→内沼→長沼



### B1-3 長沼

所在地 登米市迫町(38.6953103, 141.1333824)

概要 ダム化されて水位が上がっているが北岸沿いや南岸の入江が堤防で区切られた水域でオオハクチョウが見られる。沼内で採食するものが多く、早朝調査の必要性は比較的低い。雁類のねぐらでもあるがカウント不要。【👁️🗨️周回道路】

過去記録 2020:オ 10/2021:オ 440/2022 オ 263 (2022.12.8 オ 331 平泉)

観察地点 ダムサイトと南岸中央の岬の先端で広範囲に観察できる。南岸の入江は車で回って入っているものを数える必要がある。

調査順序(案) 伊豆沼→内沼→長沼



## B2-1 迫川-若柳

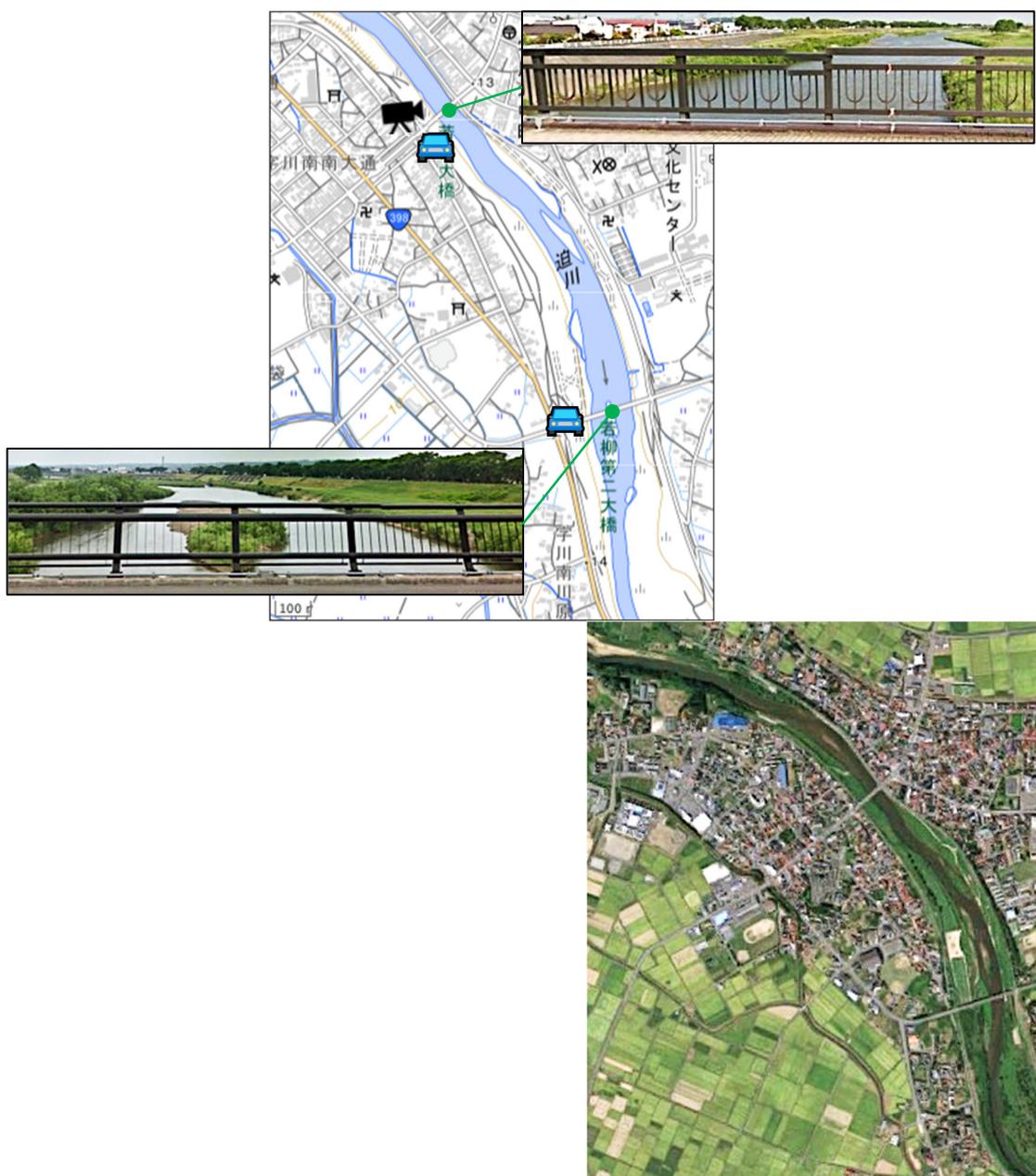
所在地 栗原市若柳川南、川北(38.7682052, 141.1334468)

概要 若柳市街地を流れる迫川。以前は給餌する人も多かった。【👁️橋上、堤防道路】

過去記録 2020:オ 74 / 2021:オ 15 コ 123 / 2022:オ 103 コ 541 (2022.12.3 オ 91  
コ 111 平泉)

観察地点 堤防道からカウント可能。左岸の方が川に近く見やすい。堤防道路に車を  
寄せられるところもあるが、図には河川公園と商店街の駐車場の位置を示した。

調査順序(案) 迫川-若柳→若石大橋上流→川南新砂原の湿地→荒川-若柳川南  
→海上連公園



## B2-2 迫川-若石大橋上流

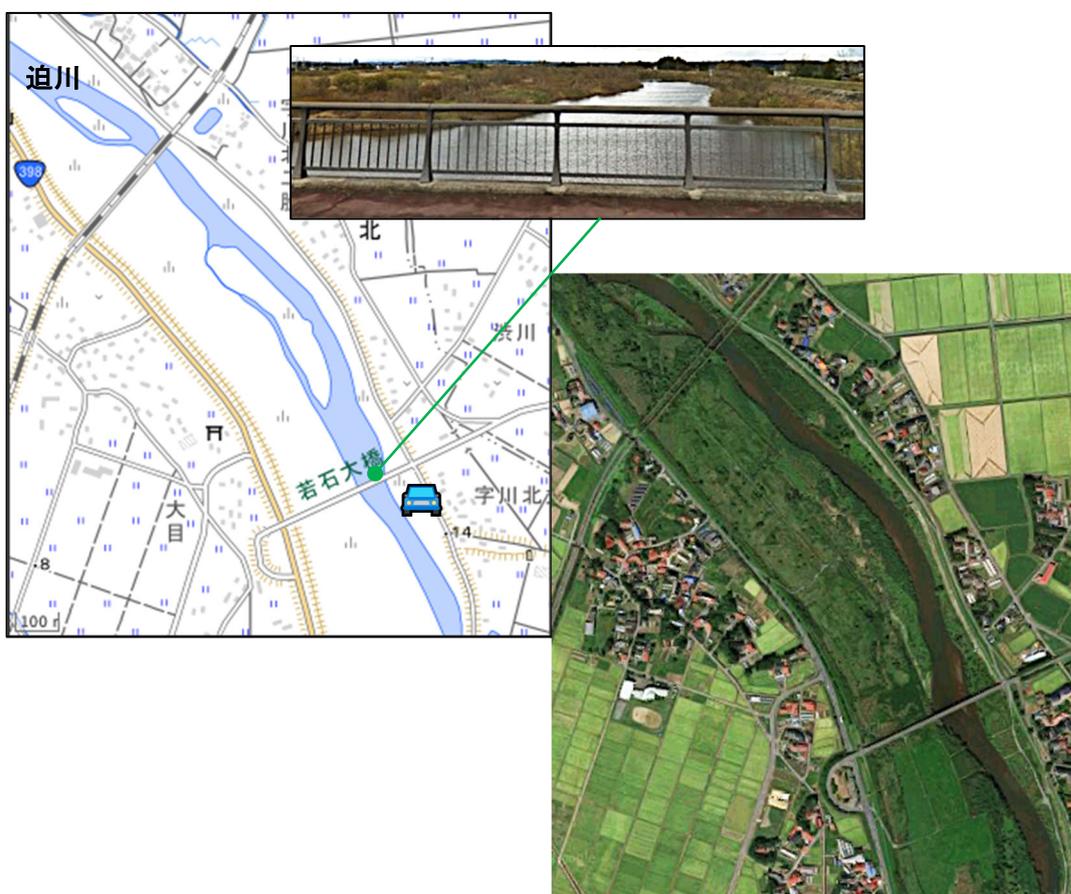
所在地 栗原市若柳川南下大目、川北六畝(38.7484373, 141.1507107)

概要 東北本線鉄橋と若石大橋を白鳥類がねぐらにしている。【👁️橋上】

過去記録 2020:才 18/2021:才 102コ 222/2022:才 52コ 231 (2022.12.3 才 49コ 130 平泉)

観察地点 橋上(上流側に歩道)

調査順序(案) 迫川-若柳→若石大橋上流→川南新砂原の湿地→荒川-若柳川南→海上連公園



### B2-3 川南新砂原の湿地

所在地 栗原市若柳川南新砂原(38.7326605, 141.1533175)

概要 長沼からの流出路が迫川に合流する部分の湿地。水生植物が繁茂し、オオハクチョウが採食に入っていることがある。【👁️🗨️橋上】

過去記録 2021:なし/2022:なし (2022.12.3 オ 72 平泉)

### B2-4 熊谷川-若柳川南

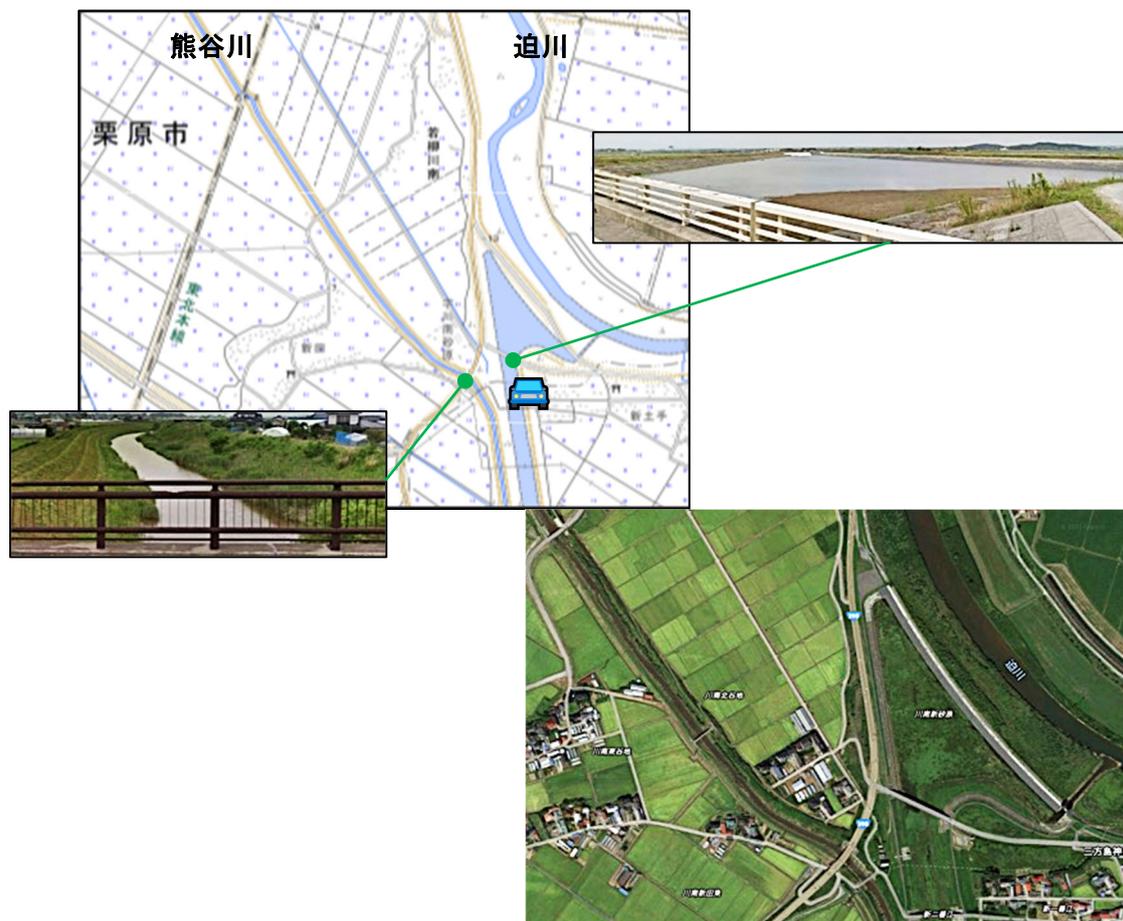
所在地 栗原市若柳川南北谷地(38.73221, 141.14836)

概要 伊豆沼の北側の水田地域を流れる小河川。少し下流で伊豆沼から流れ出る荒川に合流する。2021年の川南新砂原の湿地の調査の際に鳴き声がして多数のオオハクチョウが入っているのが見つかった。新砂原の湿地や伊豆沼と行き来しているものと思われる。【👁️🗨️橋上】

過去記録 2021:オ 140/2022:オ 115 (2022.12.3 オ 3 平泉)

観察地点 橋や堤防の上

調査順序(案) 迫川-若柳→若石大橋上流→川南新砂原の湿地→荒川-若柳川南→海上連公園



## B2-5 迫川-佐沼(錦橋)

所在地 登米市迫町佐沼(38.68892, 141.19761)

概要 錦橋下流左岸に出る洲付近などで主にオオハクチョウが見られる。【👁️🗨️橋上、堤防道路／Google マップ [2021.11.8 時点]水面白点】

過去記録 2020(迫町新大東倉):オ 352 コ 18／2021:オ 169 コ 14／2022:オ 391 コ 8 (2022.12.3 オ 93 コ 21 平泉)

観察地点 堤防道からカウント可能

調査順序(案) 迫川-佐沼→北上川-錦桜橋→機織沼



かいしょうれん  
B3-1 海上連公園

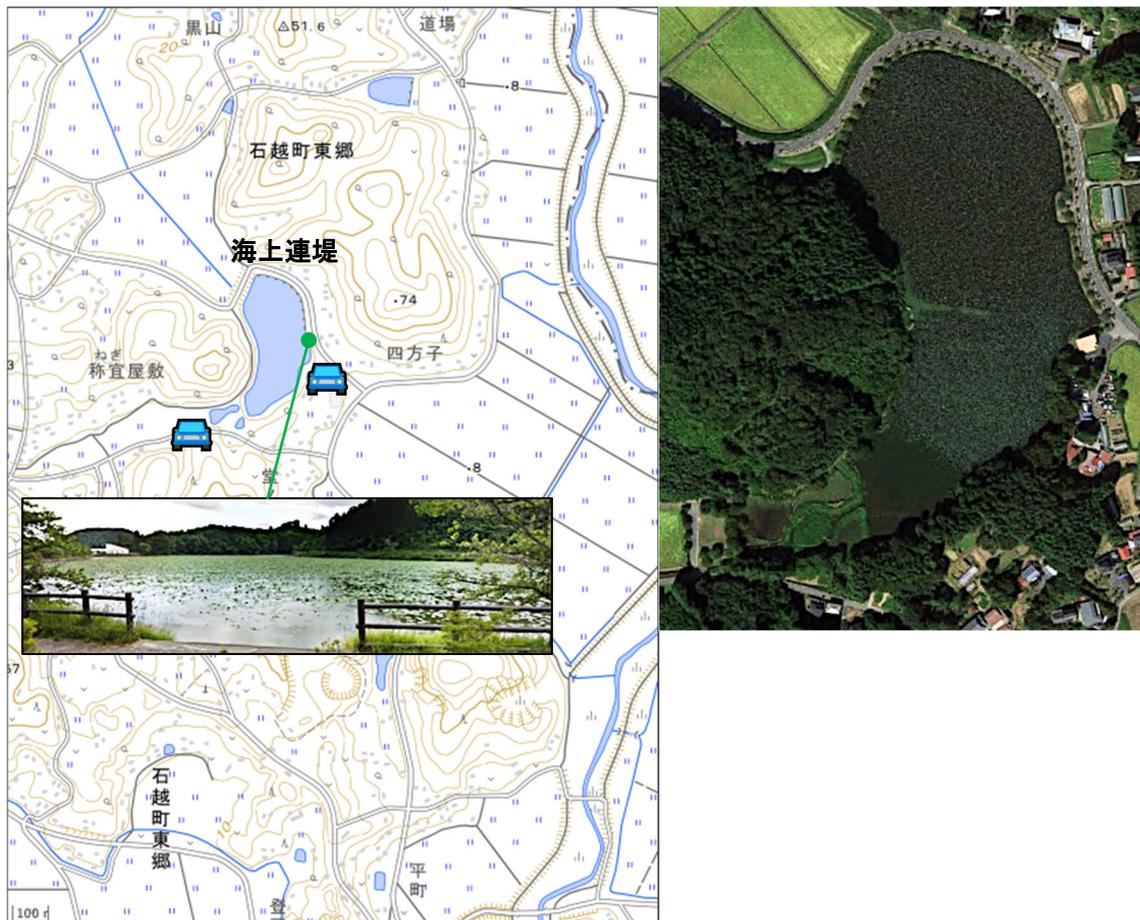
所在地 登米市石越町東郷(38.755333, 141.1978732)

概要 溜池に作られた親水公園。白鳥類は溜池に多数入るほか、南西の小池と遊歩道のあるビオトープ風のところに入っていたこともあった。【👁️👁️東側の道路】

過去記録 2020:オ 611コ 156/2021:オ 151コ 10/2021:オ 240コ 23 (2022.12.5オ 214コ 154 平泉)

観察地点 溜池を集落構造改善センターの裏や東岸の東屋付近からカウントする。南西側の小池にも入っているようなら移動して裏側からも数えた方が良い。

調査順序(案) 迫川-若柳→若石大橋上流→川南新砂原の湿地→荒川-若柳川南→海上連公園



### B3-2 機織沼

所在地 登米市東和町錦織沼山(38.7337866, 141.2817692)

概要 北上川東岸の溜池【👁️🗨️南側の国道 346 号】

### B3-3 北上川-錦桜橋

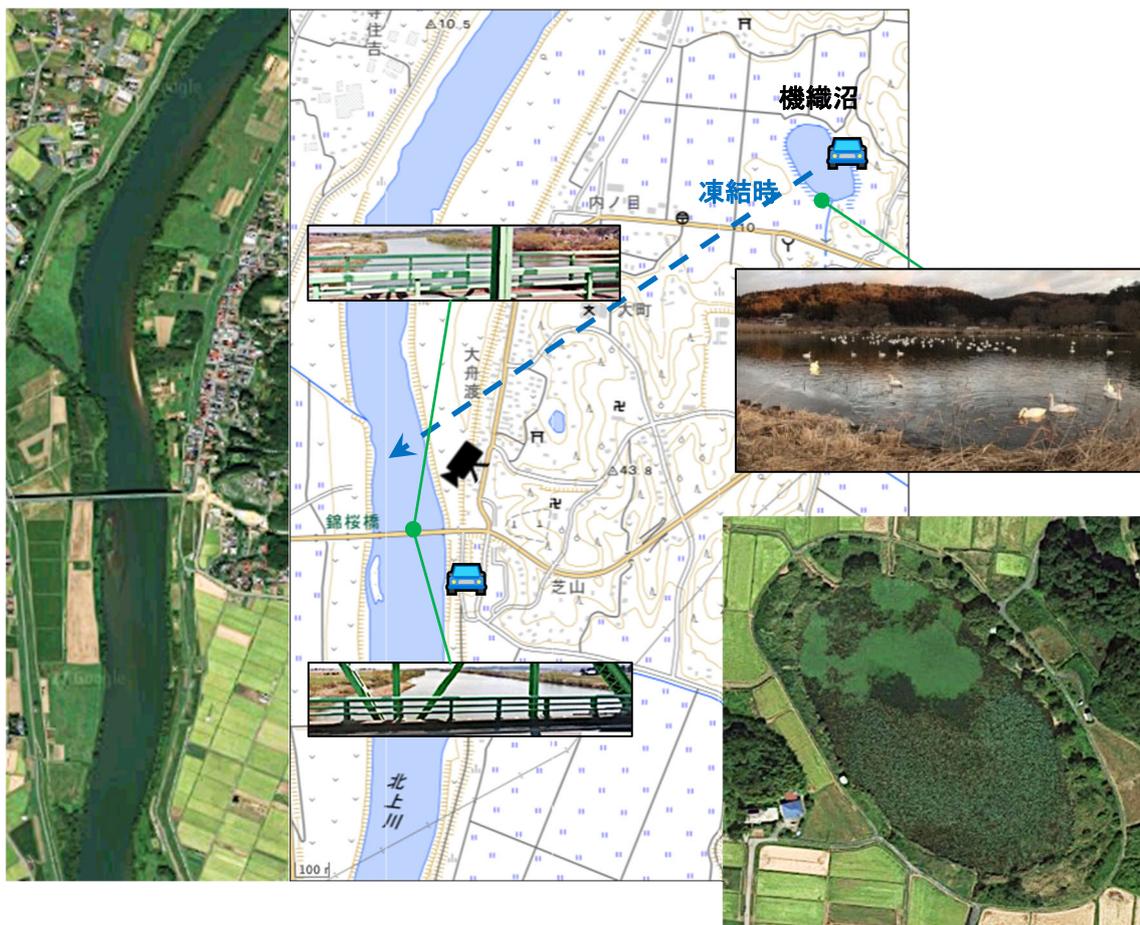
所在地 登米市中田町、登米市東和町(38.7238726, 141.2681465)

概要 機織沼が凍結した際に移動してくることが知られている。【👁️🗨️橋上／📺[北上川下流河川事務所](#)】

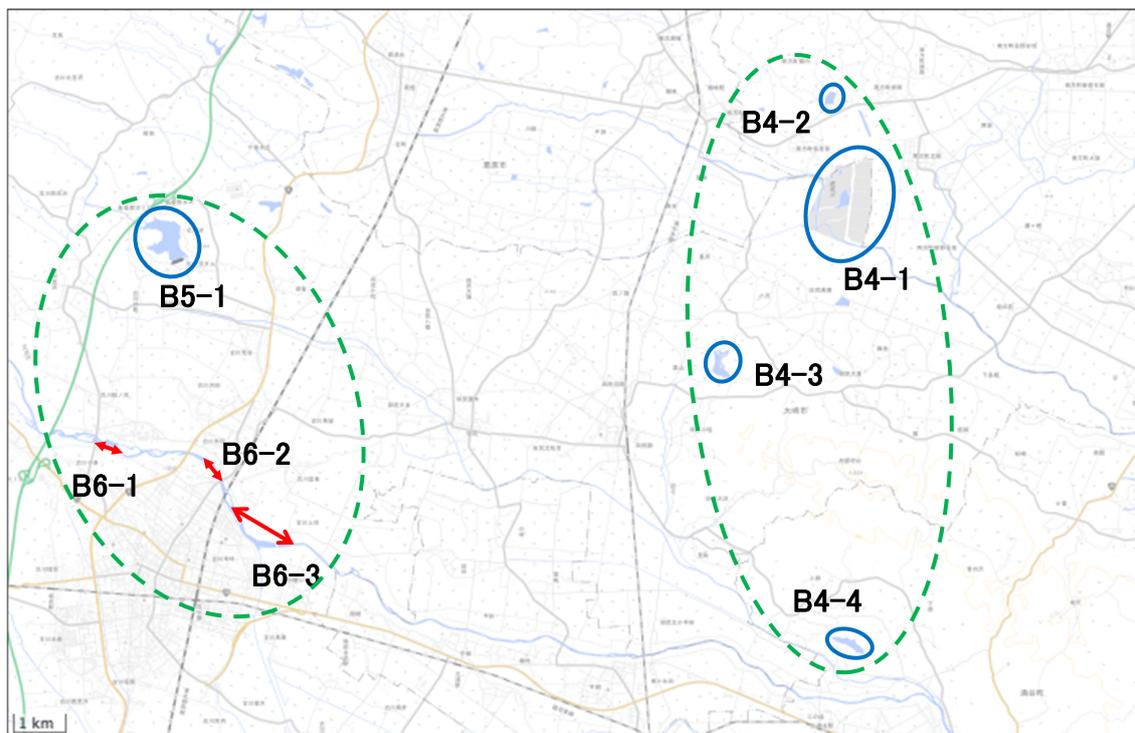
過去記録 2020:(沼)オ 165 コ 271 / 2021:(沼:凍結)なし(川)オ 209 コ 106 不明 98 / 2022:(沼)オ 129 コ 33(川)オ 339 コ 572 (2022.12.5(沼)オ 155 コ 259(川)コ 89 平泉)

観察地点 錦織沼は北側に迂回して北東側の東屋などのある公園区域に入り、付近の木道からカウントする(南側沼岸にも行けるが北東側の方が全体が一望できる)。北上川は左岸の橋のたもと付近からカウントする。

調査順序(案) 迫川-佐沼→北上川-錦桜橋→機織沼



広域図 B2 県北平野部：迫川下部・北上川中部



B4-1 燕栗沼

B4-2 新山堤

B4-3 切伏沼

B4-4 相野沼

B5-1 化女沼

B6-1 江合川-桜ノ目橋下流

B6-2 江合川-県道1号線江合橋

B6-3 江合川-新江合川分岐

[→全域図に戻る](#)

## B4-1 燕栗沼

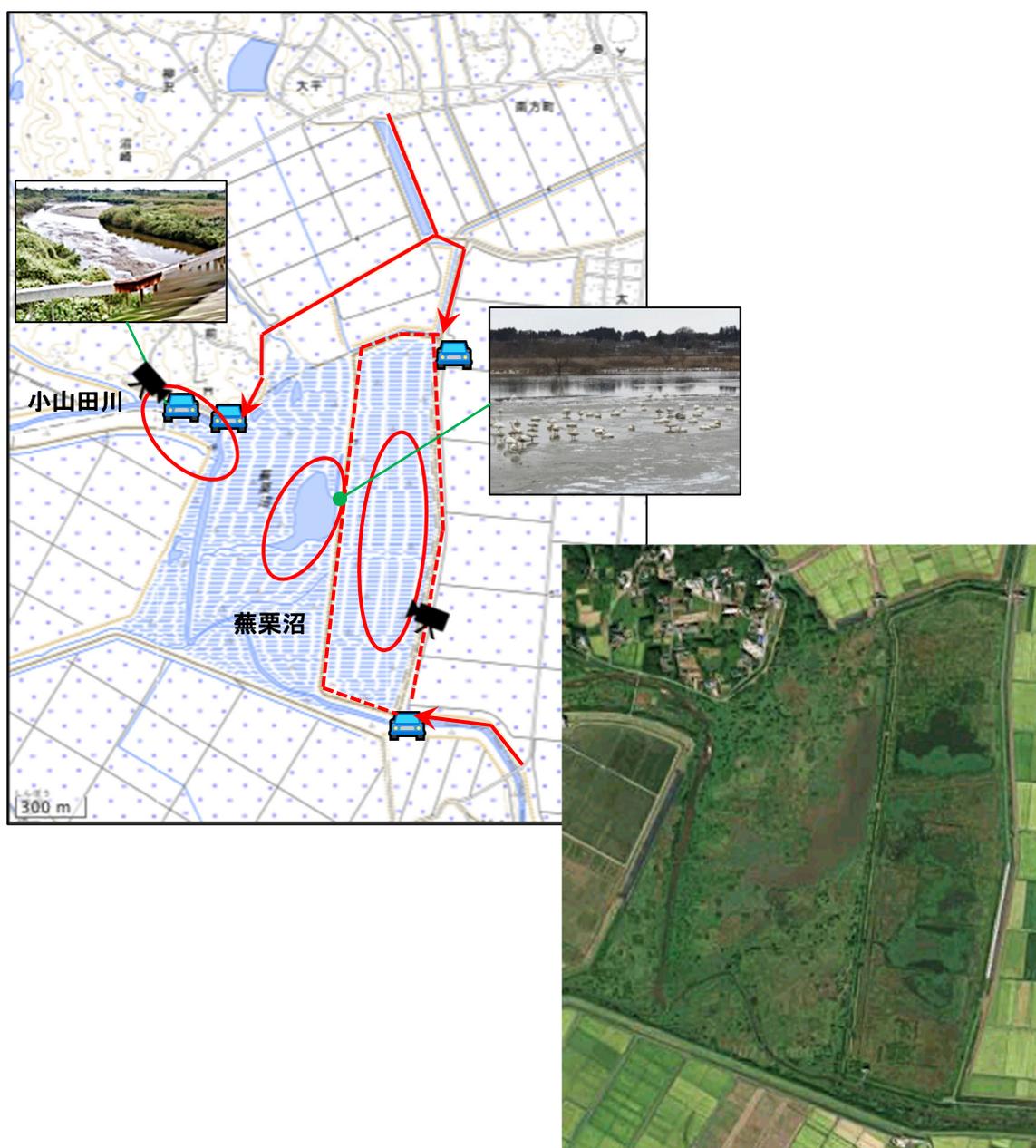
所在地 大崎市田尻燕栗大沼(38.6372309, 141.1007597)

概要 ラムサール条約登録湿地で雁類の大規模ねぐら(カウント不要)。主にオオハクチョウが沼や遊水地内の水域で採食し、早朝調査の必要性は比較的低い。小山田川の流入部にも群れが見られる。

過去記録 2020:オ 849/2021:オ 155/2022:オ 315コ8 (2022.12.5 オ 196 平泉)

観察地点 沼の東側の観察道と白鳥地区の東側の堤防からカウントする。小山田川流入部は橋や北岸などからカウントする。

調査順序(案) 相野沼→切伏沼→燕栗沼→新山堤



## B4-2 新山堤

**所在地** 登米市南方町間内(38.6537555, 141.1019362)

**概要** 蕪栗沼北方の溜池。主にオオハクチョウが沼内で採食し、早朝調査の必要性は比較的低い。南側の県道との間にある冬水たんぼに入っていることもある。【隣接道路】

**過去記録** 2021:オ 139 / 2022:オ 309 (2022.12.5 オ 37 平泉)

**観察地点** 南東角に駐車スペースがあり、その付近からカウントする。池の北側には抽水植物帯があり、水域が入り組んでいるので北側に回ってみる必要がある。

**調査順序(案)** 相野沼→切伏沼→蕪栗沼→新山堤



### B4-3 切伏沼

所在地 大崎市田尻大貫切伏(38.609289, 141.0782049)

概要 東部に公園施設がある溜池。白鳥類は南側の県道近くの冬水たんぼに入っているものも多い。

過去記録 2020:オ 24 コ 5 / 2021:オ 53 / 2022:オ 32 (2022.12.24 オ 56 コ 32 平泉)

観察地点 南側や西側の道沿いからカウントする。

調査順序(案) 相野沼→切伏沼→蕪栗沼→新山堤



#### B4-4 相野沼

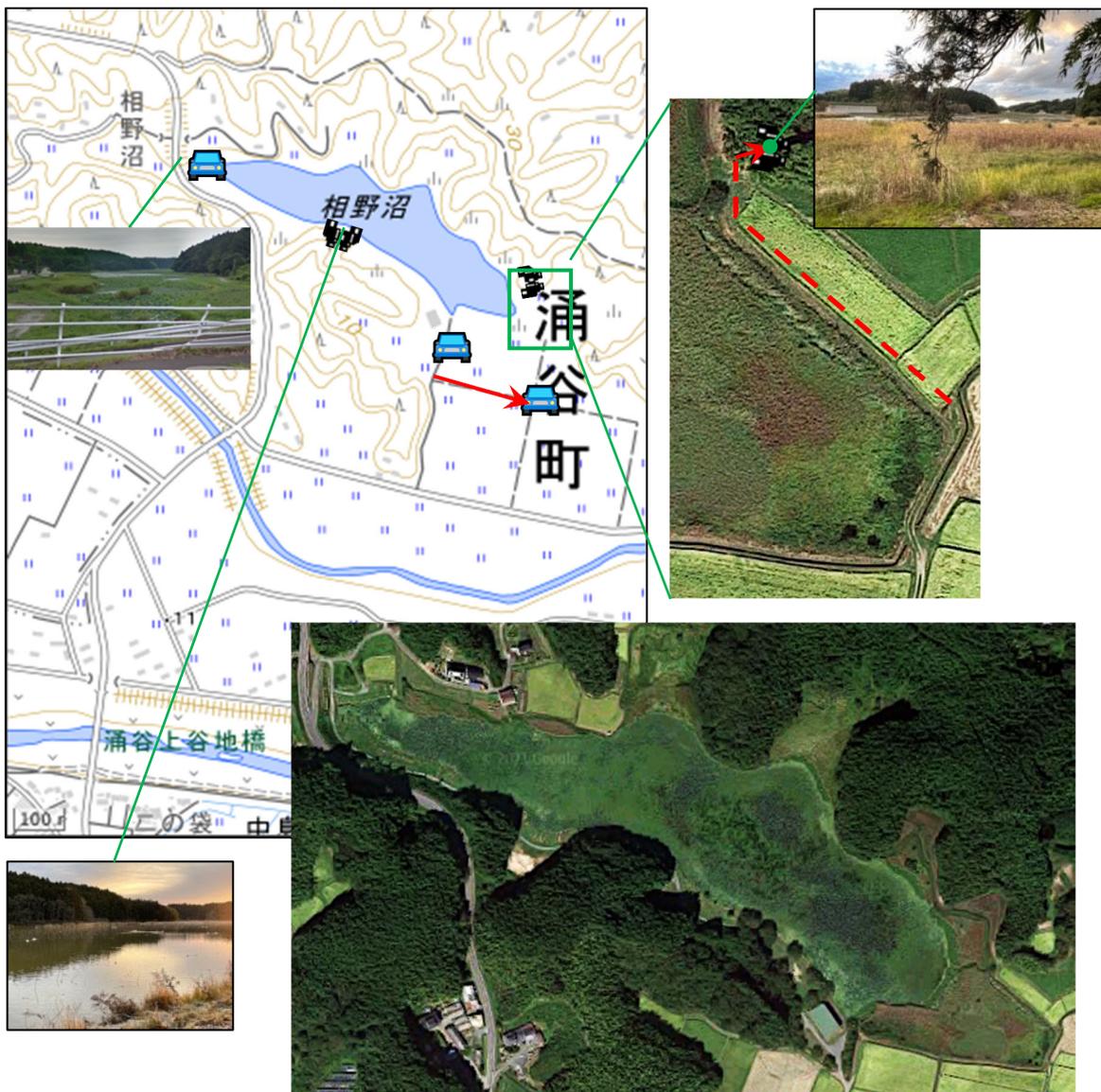
所在地 涌谷町上郡相野沼 (38.5632169, 141.1070526)

概要 水生植物の豊かな沼。昼間は水田に出るほか、少数は沼に残って水生植物を採食する。雁類の中規模のねぐらでもある。

過去記録 2020:オ 89 コ 10 / 2021:オ 45 / 2022 オ 54 (2022.12.8 オ 155 コ 54 平泉)

観察地点 雁類が飛ぶので早朝は沼岸に出ずに、沼が凍り東端に鳥が入っていないければ西側の斜面上を通る道路沿いから見ると良い。雁類を見る場合は東側の水田側から歩いていくと右側に上り道があるので少し坂を上ると沼が広範囲に見える。雁類が飛んだ後は沼の中央から見た方が距離は近い。

調査順序(案) 相野沼→切伏沼→蕪栗沼→新山堤 相野沼はガン類のねぐらなので夜明けに見る必要がある。



B5-1 <sup>けじょぬま</sup> 化女沼

**所在地** 大崎市古川小野遠沢、川熊長者原(38.62959, 140.96119)

**概要** ラムサール条約登録湿地。雁類の大規模ねぐら(カウント必要なし)。観光資料館の情報では白鳥類の飛び立ちは早くても9時以降。【  ダム堤体、東側駐車地点付近】

**過去記録** 2021:オ 49 / 2022:オ 109 (2022.12.8 オ 10 平泉)

**観察地点** ダム堤体付近からカウントしても良いが、東岸から沼岸に降りられれば全域を観察できる。

**調査順序(案)** 江合川-新江合川分岐→県道1号橋江合橋→桜ノ目橋下流(もしくは逆順)→化女沼 飛び立ち時間がかなり遅いとのことなので、古川の江合川3地点と組み合わせると良い。



### B6-1 江合川-桜ノ目橋下流

所在地 大崎市古川桜ノ目中川原、古川小泉(38.5965642, 140.9480982)

概要 東北道と国道4号線の間にある桜ノ目橋から下流の堰までの水面。【👁️🗨️右岸堤防道】

過去記録 2020:才 69 コ 36 / 2021:才 22 コ 14 / 2022:才 12 コ 29 (2022.12.6 才 18 コ 15 平泉)

観察地点 右岸は堰のたもとの高水敷に降りられるので水際でカウントする。見にくい部分があれば橋から見ることもできる。

調査順序(案) 江合川-新江合川分岐→県道1号橋江合橋→桜ノ目橋下流(もしくは逆順)→化女沼



## B6-2 江合川-県道1号橋江合橋

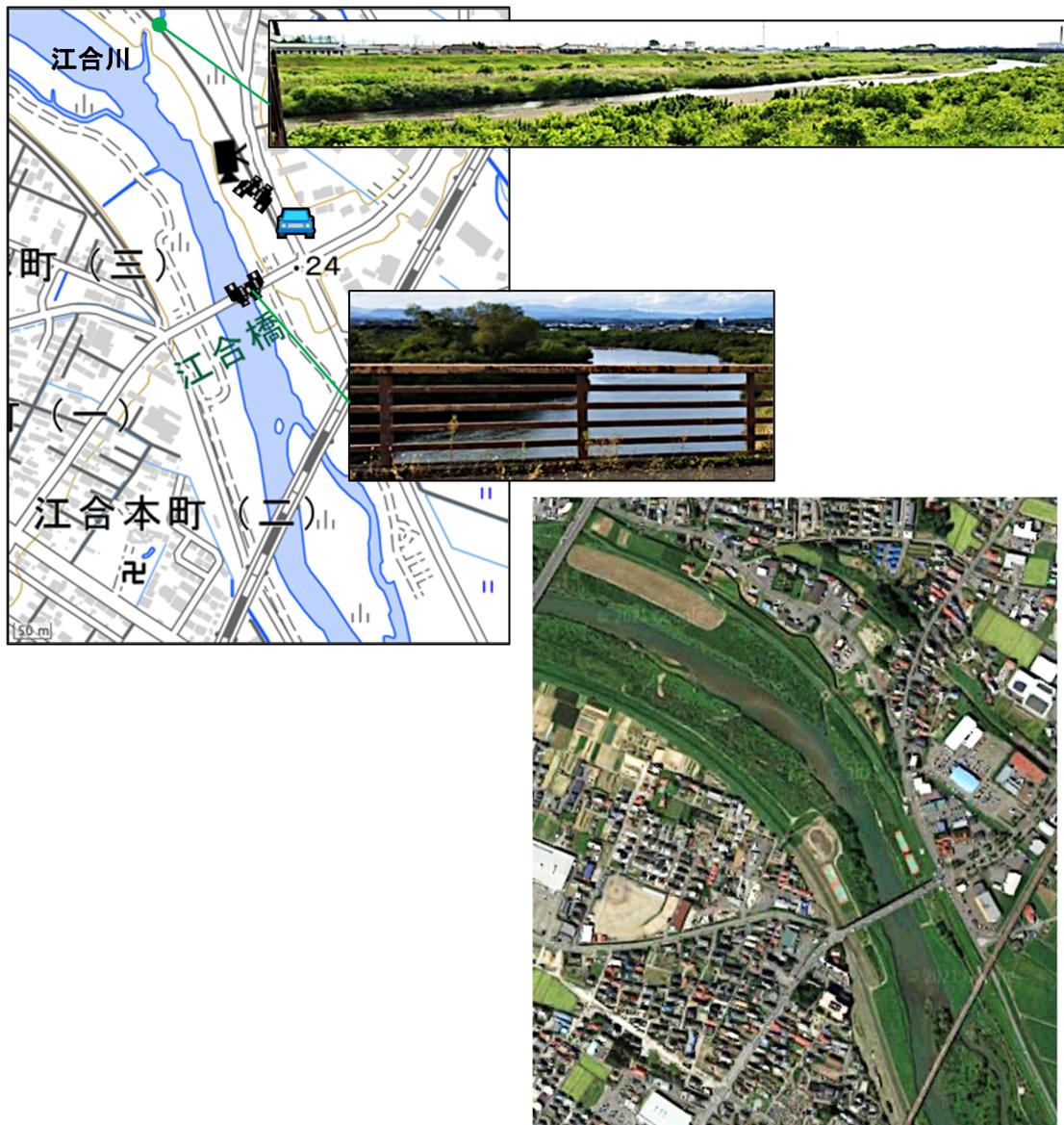
所在地 大崎市古川休塚南川原等(38.5931357, 140.9710607)

概要 白鳥類は橋の上流左岸で休んでいることが多い。【👁️🗨️橋、上流左岸堤防道】

過去記録 2020:オ 74 / 2021:オ 92 コ 151 / 2022:オ 372 コ 65 (2022.12.6 オ 135  
コ 10 平泉)

観察地点 橋上か左岸上流の堤防からカウントする。

調査順序(案) 江合川-新江合川分岐→県道1号橋江合橋→桜ノ目橋下流(もしくは逆順)→化女沼



### B6-3 江合川-新江合川分岐

**所在地** 大崎市古川湊尻、古川鶴ヶ塚新粟蒔(38.5799632, 140.9812102)

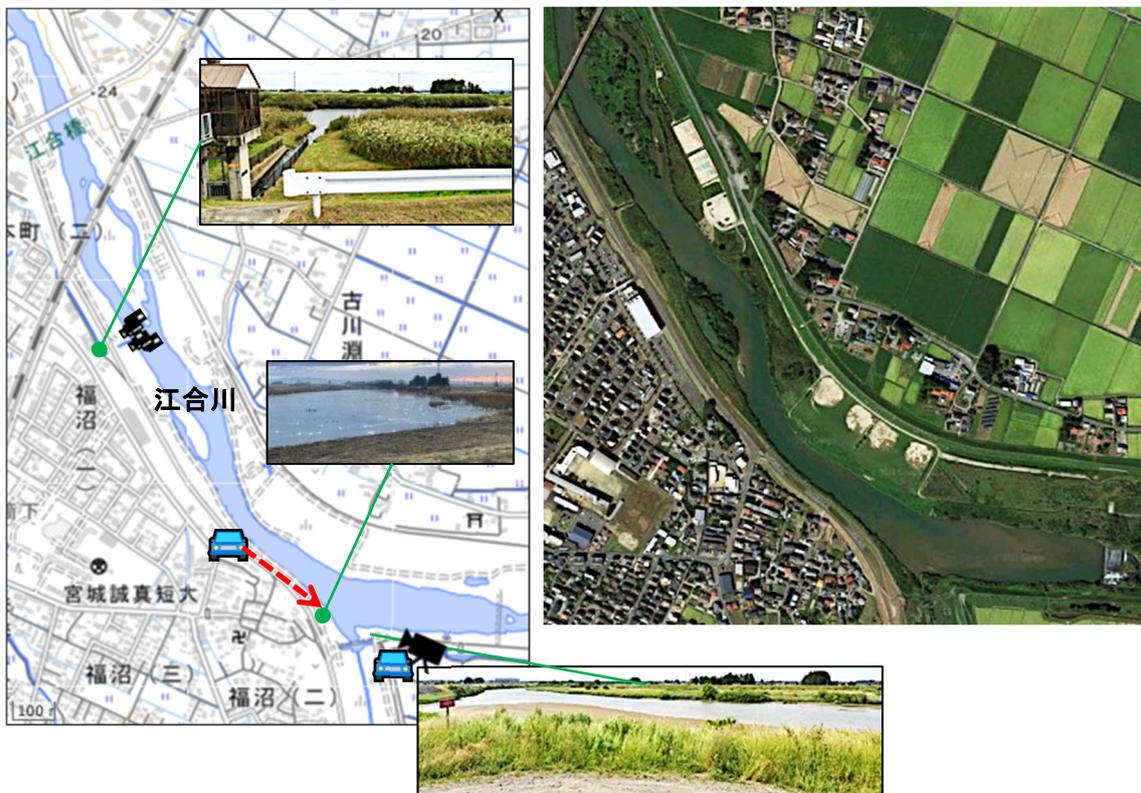
**概要** 新幹線鉄橋の下流で新江合川が分岐する付近。下流に堰があって水面が広がり多数の白鳥類が見られる。新幹線鉄橋下流の中洲(夏のサギコロニー)が切れるあたりの右岸水門の対岸もまとまった休息場所になることがあり、動き出すと下流に下っていく。数が多い割に休息する洲や浅瀬が乏しいせいか飛び始めは比較的早い。

【👁️🗨️右岸堤防道、新江合川分岐下流側たもと】

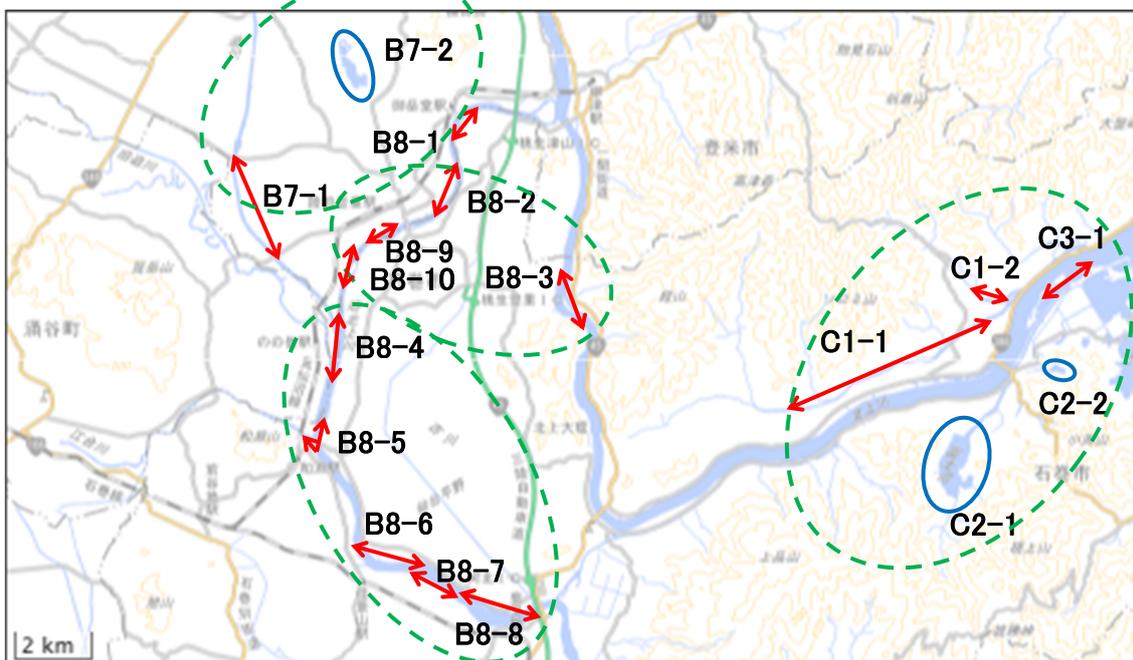
**過去記録** 2020:オ 78 コ 174 / 2021:オ 236 コ 248 / 2022:オ 512 コ 431 (2022.12.6 オ 196 コ 194 平泉)

**観察地点** 鉄橋の下流の水門のところは水際まで降りてみることもできるが、付近に駐車スペースはない。下流は右岸堤防道が川から離れるところで車止めのところに停めて歩くことになる。車で行ける場所としては新江合川左岸の細い堤防道(舗装)で分岐部のたもとまで行けて広範囲が見られるが、移動が2km以上あるのでそれほどお勧めできない。

**調査順序(案)** 江合川-新江合川分岐→県道1号橋江合橋→桜ノ目橋下流(もしくは逆順)→化女沼



広域図 C 県北平野部：迫川下部・北上川中部／県北沿岸部：北上川下部



B7-1 迫川 ニツ屋橋～十五貫橋

B7-2 平筒沼

B8-1 旧北上川-御岳堂

B8-2 旧北上川-豊里大橋上流

B8-3 北上川-桃生町檜崎地区

B8-4 旧北上川-迫川・旧迫川流入付近

B8-5 旧北上川-江合川合流部(和渚)

B8-6 旧北上川-佳景山

B8-7 旧北上川-小船越付近

B8-8 旧北上川-三陸道新天王橋上流  
(鹿又)

B8-9 旧北上川-豊里大橋下流

B8-10 旧北上川-植立山公園付近

C1-1 皿貝川

C1-2 大沢川

C2-1 富士沼

C2-2 釜谷堤

C3-1 北上川河口

[→全域図に戻る](#)

## B7-1 迫川-二ツ屋橋～十五貫橋

所在地 (38.5748091, 141.2119185)

概要 白鳥類も多いが、雁類の大規模ねぐら(最多時マガン1万、シジュウカラガン 2千程度)にもなっている(12月までの調査では今季は少ない)。シジュウカラガンは中間の2箇所の中洲周辺にいることが多い。

過去記録 2020:オ 244 コ 694 / 2021:オ 85 コ 202 / 2022:オ 66 コ 314 (2022.12.9オ 87 コ 184 平泉)

観察地点 ニツ屋橋では本流を左岸橋のたもと、左岸側の水路とワンドを橋上からカウントする(歩道は下流側なので橋のそばが見にくい)。右岸の駐車ポイントは早朝はガンが飛び立つことがあるので注意すること。その後左岸の堤防道(幅は十分ある)に入って群れの見えるところから適宜飛ばさないようにカウントすることになる。十五貫橋は歩道がないので橋からの観察はしにくい。2橋中間部下流に二ツ屋橋や左岸から見えない部分もあるが、右岸堤防は道が細く下流側は未舗装。雁類は飛び立ちを数えようとすると後で巡回する調査地点から白鳥類が飛んでしまうので水面にいるものを十羽単位で数えるなど手間をかけずに概数を把握する。

調査順序(案) 迫川-二ツ屋橋～十五貫橋→平筒沼→旧北上川-御岳堂



びょうどうぬま  
B7-2 平筒沼

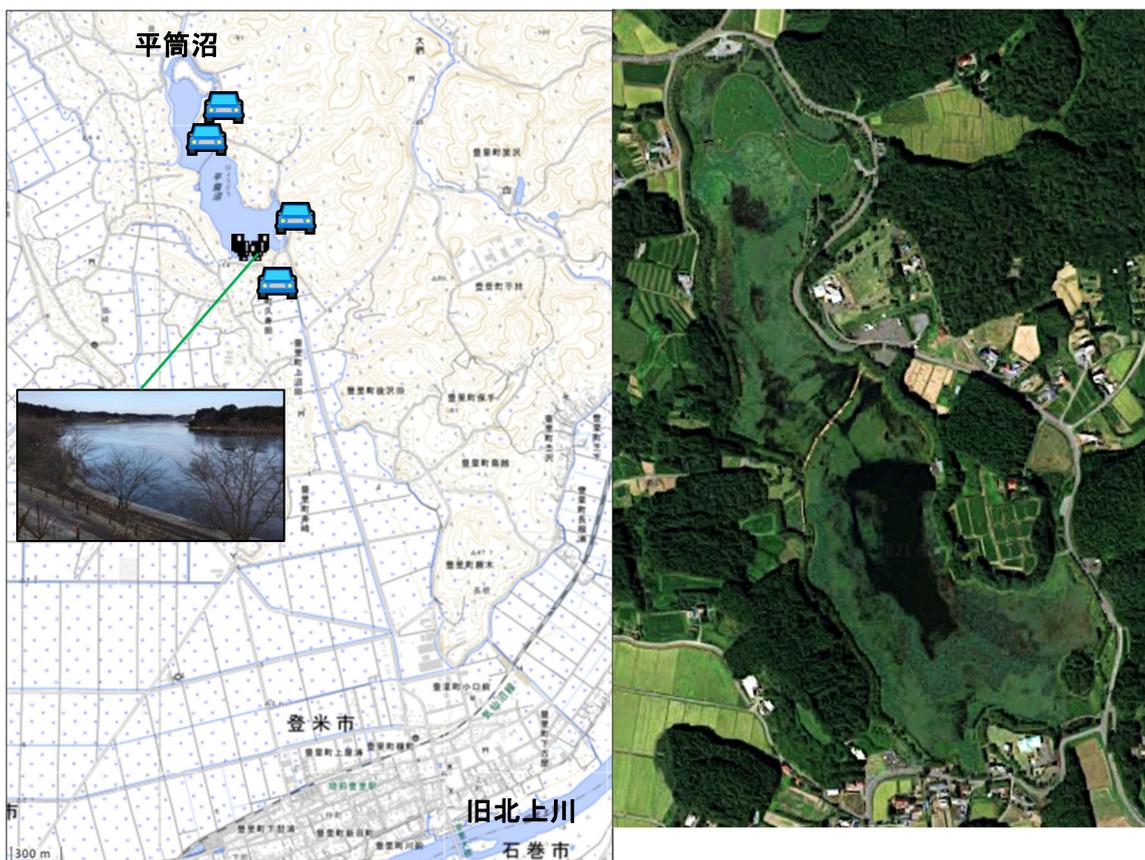
**所在地** 登米市豊里町、米山町(38.6149989, 141.2355851)

**概要** 北上川と迫川の間、丘陵地に囲まれた沼。白鳥類は給餌依存の個体が多く東岸の駐車場付近などで見られる。亜種ヒシクイがねぐら利用することがあるが、県ガンカモ生息調査では早朝調査しているの宮城ハクチョウ調査で記録する必要性は低く、調査順序も後にしたので雁類を記録する必要はない。【👁️🗨️中央広場、東側道路】

**過去記録** 2020:オ 64 コ 7 / 2021:オ 45 コ 6 / 2022:オ 222 コ 90 (2022.12.9 なし平泉)

**観察地点** 南端高台の農村文化自然学習館(早朝は車では入れない)からは広い範囲が観察でき、東岸には車を置ける場所が複数あるので高台から見えにくい部分を補足すると良い。

**調査順序(案)** 迫川-二ツ屋橋～十五貫橋→平筒沼→旧北上川-御岳堂



### B8-1 旧北上川-御岳堂

所在地 登米市豊里町白鳥前・芝下、石巻市桃生町倉埵 (38.6013218,141.2664685)

概要 北上川から西に分かれた旧北上川が南に転じる付近で、中洲を中心に多数の白鳥類がねぐらにしている。【👁️北側県道、右岸堤防道】

過去記録 2020:オ 53 コ 383 / 2021:オ 28 コ 340 / 2021:コ 78 (2022.12.5 オ 149 コ 187 平泉)

観察地点 中洲の上流側は北側の県道から牧草地越しに見ることができる。下流側は右岸堤防道から見ることになるが、川岸に木が茂っていて良い視界が得られる場所が少なく、駐車できる場所も限られているので見やすい場所まで少し歩く必要があるかもしれない。また北側の県道から見える範囲より上流側に群れがいることもあり(2022.10.に 50±飛立ち後オ 62 コ 7)、その場合は上流の河川歴史公園のところで川を渡って三陸道の下流側左岸から見ると良い。

調査順序(案) 迫川-二ツ屋橋～十五貫橋→平筒沼→旧北上川-御岳堂(迫川の雁類を重視した順だが、三陸道桃生津山 IC→御岳堂上流側の状況確認→右岸側から中洲付近カウント→迫川-二ツ屋橋→平筒沼の方が良いかもしれない)。



## B8-2 旧北上川-豊里大橋上流

**所在地** 登米市豊里町加々巻、石巻市桃生町牛田 (38.5845359, 141.2652282)

**概要** 記録数は少ないが浅瀬や洲があるわけではなく、これまではあまり早い時間帯に見ていないので御岳堂から流れ下ってきたものを数えている部分があるのかもしれない。【👁️🗨️左岸県道 61 号】

**過去記録** 2021:才 38 コ 82 / 2022:才 10 コ 120 (2022.12.9 才 7 平泉)

**観察地点** 左岸で県道が川沿いを通っているところでカウントする。上流から流れ下ってきたものをダブルカウントしないように早い時間帯に見た方が良いかもしれない。

**調査順序(案)** 旧北上川-植立山公園付近→豊里大橋下流→豊里大橋上流→北上川-桃生町榎崎地区



### B8-3 北上川-桃生町檜崎地区

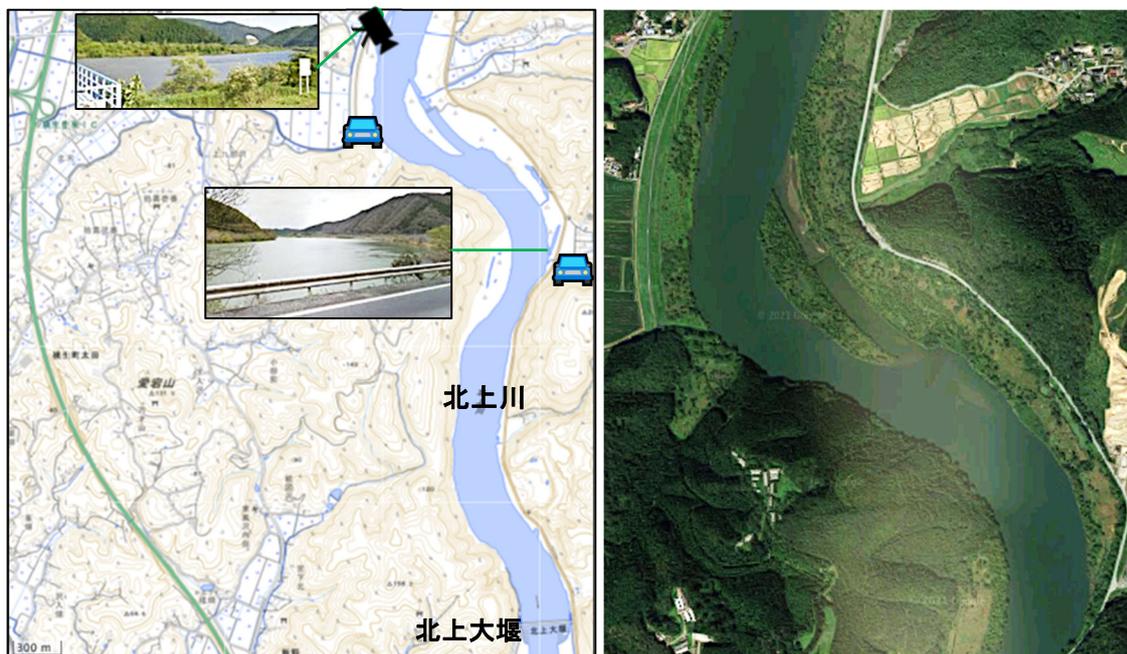
所在地 石巻市桃生町檜崎等(38.5594756, 141.3002777)

概要 北上大堰上流の三日月型の中島がある区間。長区間にわたって両岸に丘陵が迫っている中でこの付近は西側に谷があり、広い水田地域に抜けている。大堰上流の湛水域には(ねぐらは不明で檜崎から降ってきたものかもしれないが)パラパラと分散して白鳥類が見られ(2022 才 50 コ 489)、別地区として数える必要があるか判断するためにも補足的に見ておく必要がある。【👁️🗨️左岸国道45号線、右岸上流堤防】

過去記録 2020:才 36 コ 23/2021:才 11 コ 420/2022:才 10 コ 120 (2022.12.9 才 36 コ 208 平泉)

観察地点 東岸の堤防からカウントするが下流部にいるものはかなり遠い。下流側に多く入っている場合は下流側左岸の国道45号線(歩道がないので車に注意)から遠望するとよいが橋が遠く移動距離はかなり長い。北上大堰の上流の水面に散在する白鳥類は駐車場所がない国道(歩道なし)から川沿いの樹木越しに見る形になり調査しにくい。

調査順序(案) 旧北上川-植立山公園付近→豊里大橋下流→豊里大橋上流→北上川-桃生町檜崎地区



#### B8-4 旧北上川-迫川・旧迫川流入付近

**所在地** 石巻市桃生町新田、登米市豊里町剣先等(38.5466583, 141.23211)

**概要** 両支川流入付近は洲や浅瀬が続き、多数の白鳥類がねぐらにしている。左岸農地沿いから見ることになるが見易くなく、農用細道で駐車スペースもわずか。

**過去記録** 2020:オ 108 コ 467 / 2021:オ 54 コ 426 / 2022:オ 54 コ 426 (2022.12.10 オ 606 コ 262 平泉)

**観察地点** 南側に示した駐車地点は入りやすく車も停めやすい。積雪時にはここを見るだけにした方がよい。道からは旧迫川河口付近から下流側が見え、畑脇を降りていった古い栈橋の先まで進むと上流側がよく見えるので上流側の観察地点を見にいか決めるとよい(スコープは使えない)。旧北上川-江合川合流部(和渕)からも旧迫川流入方向はかなり見え、可視範囲が重なるのでどこまでカウントするか範囲がわかるようにしておく必要がある。北側に示した駐車地点は駐車スペースがなく他車の通行の邪魔になるので運転者を残しておく必要がある。付近からは両支流の流入付近が比較的広く見え、水際にも行けるが視界はあまり開けない。

**調査順序(案)** 旧北上川-佳景山→天王橋上流→小船越→江合川合流部→迫川・旧迫川流入



## B8-5 旧北上川-江合川合流部(和渚)

所在地 石巻市和渚(38.5302317, 141.2246417)

概要 江合川が旧北上川に合流する地点。白鳥類は主に江合川最下部の洲付近で見られるが、2022.12.10 早朝には江合川には全く見られず旧北上川の上流にまとまった群れがいて、その後江合川合流部の洲周辺に降ってきていた。【👁️🗨️橋とその上流側両岸】

過去記録 2020:なし/2021:オ 13 コ 322/2022:オ 29 コ 470 (2022.12.10 オ 5 コ 133 平泉)

観察地点 神取橋歩道からも見やすいが、車は橋の右岸上流側から河川敷の公園駐車場(WC 有)に降りて止められ、江合川も旧北上川も公園内から見る事ができる。江合川側は白鳥類のいる場所によっては公園への降り口の堤防上から見た方が良い時もあるかもしれない。旧北上川上流側は迫川・旧迫川流入地点と記録範囲が重ならないようにしておく必要がある。

調査順序(案) 旧北上川-佳景山→天王橋上流→小船越→江合川合流部→迫川・旧迫川流入



## B8-6 旧北上川-<sup>かけやま</sup>佳景山

**所在地** 石巻市鹿又秋葉前、桃生町高須賀萩臥等 (38.500337, 141.244133)

**概要** 南に流れる旧北上川が東に流れを変える付近。左岸に洲がある。多数の白鳥類がねぐらにしているほか、ここ数年は亜種ヒシクイの群れがねぐらにしている。コハクチョウや亜種ヒシクイは洲を中心とした左岸沿いに広がっている。上流右岸遠方にもオオヒシクイや白鳥類が見られるが、分けて記録しておいて後で左岸上流の高須賀地区(左岸を上流に向かい再び川沿いに出た付近)から数え直すほうが良いかもしれない。

**過去記録** 2020:オ 8 コ 273 / 2021:オ 117 コ 124 / 2022:オ 56 コ 428 (2022.12.10 オ 326 コ 435 平泉)

**観察地点** 右岸の水門付近は広い範囲が観察でき駐車も問題ないのでここからカウントする。駅の西側から堤防道に入れば良いが、出るときはすぐ右側から曲がってくる車があるので注意が必要。亜種ヒシクイは薄明るくなると飛んでしまうことが多いので早めに到着してシルエットがわかる段階で概数を把握しておいた方が良い。

**調査順序(案)** 旧北上川-佳景山→天王橋上流→小船越→江合川合流部→迫川・旧迫川流入



## B8-7 旧北上川-小船越付近

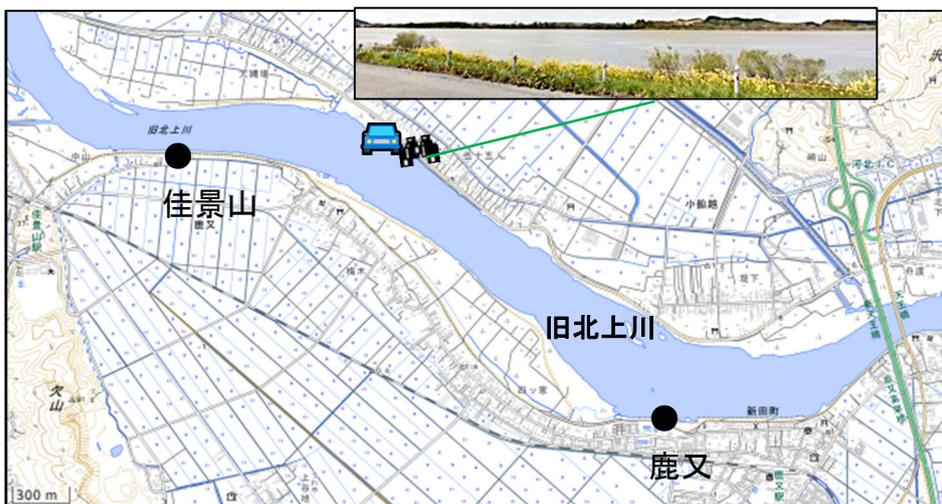
**所在地** 石巻市小船越大縄場、石巻市鹿又梅木川原(38.4989393, 141.259542)

**概要** 上流の佳景山と下流の鹿又からでは死角になる中間の右岸寄りにいる白鳥類を中心にカウントする地点。左岸寄りには両側の地点でどこまでを数えたかしっかり把握しておく必要がある。【👁️🗨️左岸県道】

**過去記録** 2020:コ 546 / 2021:オ 2コ 119 / 2022:コ 386 (2022.12.10コ 193 平泉)

**観察地点** 左岸堤防上の県道 196 号は駐車禁止ではないようだが歩道がなく車が飛ばしてくるので停めづらい。下流側が遠くはなるが、上流端の公園に車を置いて下流側に少し歩いたところからカウントするのが良いかもしれない。

**調査順序(案)** 旧北上川-佳景山→天王橋上流→小船越→江合川合流部→迫川・旧迫川流入



## B8-8 旧北上川-三陸道新天王橋上流(鹿又)

所在地 石巻市鹿又新内田、桃生町新田等(38.4899459, 141.2779098)

概要 三陸道の上流側を数える地点。広い水面が一望できるが、対岸の洲のあたりに固まっていると数えにくい。【👁️🗨️橋、左岸県道(木が邪魔)】

過去記録 2020:才 96 コ 372 / 2021:才 41 コ 250 / 2022:才 306 コ 384 (2022.12.10 才 66 コ 139 平泉)

観察地点 県道 191 号線の曲がり角のところに車が置けるので堤防に上がって取水場のところでカウントする。対岸の洲付近は裏側にいるものが見えないので、後で左岸の小船越側からも見て補足すると良い。

調査順序(案) 旧北上川-佳景山→天王橋上流→小船越→江合川合流部→迫川・旧迫川流入



## B8-9 旧北上川-豊里大橋下流

所在地 登米市豊里町川前(38.576362, 141.247375)

概要 豊里大橋の下流で川幅が広くなり浅瀬や中洲がある付近。左岸は河川公園などになっている。【👁️🗨️橋、左岸堤防道】

過去記録 2022:コ70 (2021.11.25:オ1コ103/2022.12.9オ4コ51 平泉)

観察地点 左岸堤防道から水際に行けるところがあり、車も道際に置ける。上流の公園から見ることもできる。

調査順序(案) 旧北上川-植立山公園付近→豊里大橋下流→豊里大橋上流→北上川-桃生町榎崎地区



## B8-10 旧北上川-桃生植立山公園付近

**所在地** 登米市豊里町七ツ塚、寺崎植立(38.570732, 141.235487)

**概要** 桃生植立山公園の下流で川幅が広くなり浅瀬や中洲がある付近。左岸は豊里水辺の公園などになっている。【👁️🗨️左岸堤防道】

**過去記録** 2022:才 94 コ 22 (2021.11.25:才 18 コ 19/2022.12.9 才 24 平泉)

**観察地点** 左岸上流側に水際に降りられるあり、車も止められる。下流側左岸堤防道からも草木の隙間から水面が見られるが車は止めにくい。

**調査順序(案)** 旧北上川-植立山公園付近→豊里大橋下流→豊里大橋上流→北上川-桃生町榎崎地区



### C1-1 皿貝川

所在地 石巻市皿貝～北上町(38.54827, 141.39353)

概要 北上川最下流部の左岸水田域の丘陵沿いを流れる小河川。上流の背割堤が終わる下流をコハクチョウがねぐらにしているほか、その下流側にも点々と小群が入っており、そちらはオオハクチョウが多い。【👁️🗨️川沿い】

過去記録 2020:オ 186 コ 632 / 2021:オ 385 コ 306 / 2022:オ 2916 コ 369  
(2022.12.12 オ 207 コ 61 平泉)

観察地点 上記のコハクチョウの多いところ以外は適宜駐車できるところでその前後を数えていくことになる。

調査順序(案) 皿貝川→大沢川



## C1-2 大沢川

所在地 石巻市北上町(38.56156, 141.4202923)

概要 皿貝川の北上川に合流地点で西側の谷から合流する小河川。合流部手前の橋の上流側に川幅が広がっている部分があり、ここに白鳥類が入る。堤防工事や道路の通行止めが続いていたが概ね終わったようだ。積雪がなければ右岸側の堤防のほうを観察しやすい(少し降りにくいかもしれない)。【👁️🗨️川沿い】

過去記録 2021:なし/2022:オ 113コ10 (2021.12.3:オ 82コ73/2022.12.12 オ 16コ14 平泉)

観察地点 橋の南側や北側の道路に車が置いて水面が良く見える場所がある。

調査順序(案) 皿貝川→大沢川



## C2-1 富士沼

所在地 石巻市針岡(38.5241699, 141.4082246)

概要 新北上大橋の上流右岸の大規模な沼。以前は南端の堤が津波で壊れて隣接地が湿地状になっていて多くの白鳥類が利用していたが、現在は復旧されて湿地は消失した。【👁️🗨️西岸道路】

過去記録 2020:なし/2021:オ 15 コ 253/2022:オ 32 コ 515 (2022.12.12 オ 8 コ 2 平泉)

観察地点 北西端の堤体上や南端からカウントする。

調査順序(案) 富士沼→釜谷堤→北上川河口



## C2-2 釜谷堤

所在地 石巻市釜谷(38.5479524, 141.4323688)

概要 新北上大橋の下流側右岸の谷奥の溜池。常に多数が入るわけではないが時々多数が利用していることがある。

過去記録 2021:なし/2022:オ1コ34 (2022.12.12コ242 平泉)

観察地点 西側の堤からカウントする。

調査順序(案) 富士沼→釜谷堤→北上川河口



### C3-1 北上川河口

所在地 石巻市釜谷(38.565528, 141.442766)

概要 北上川河口付近の中洲のヨシ原とその下流側右岸の寄洲に囲まれた水面。

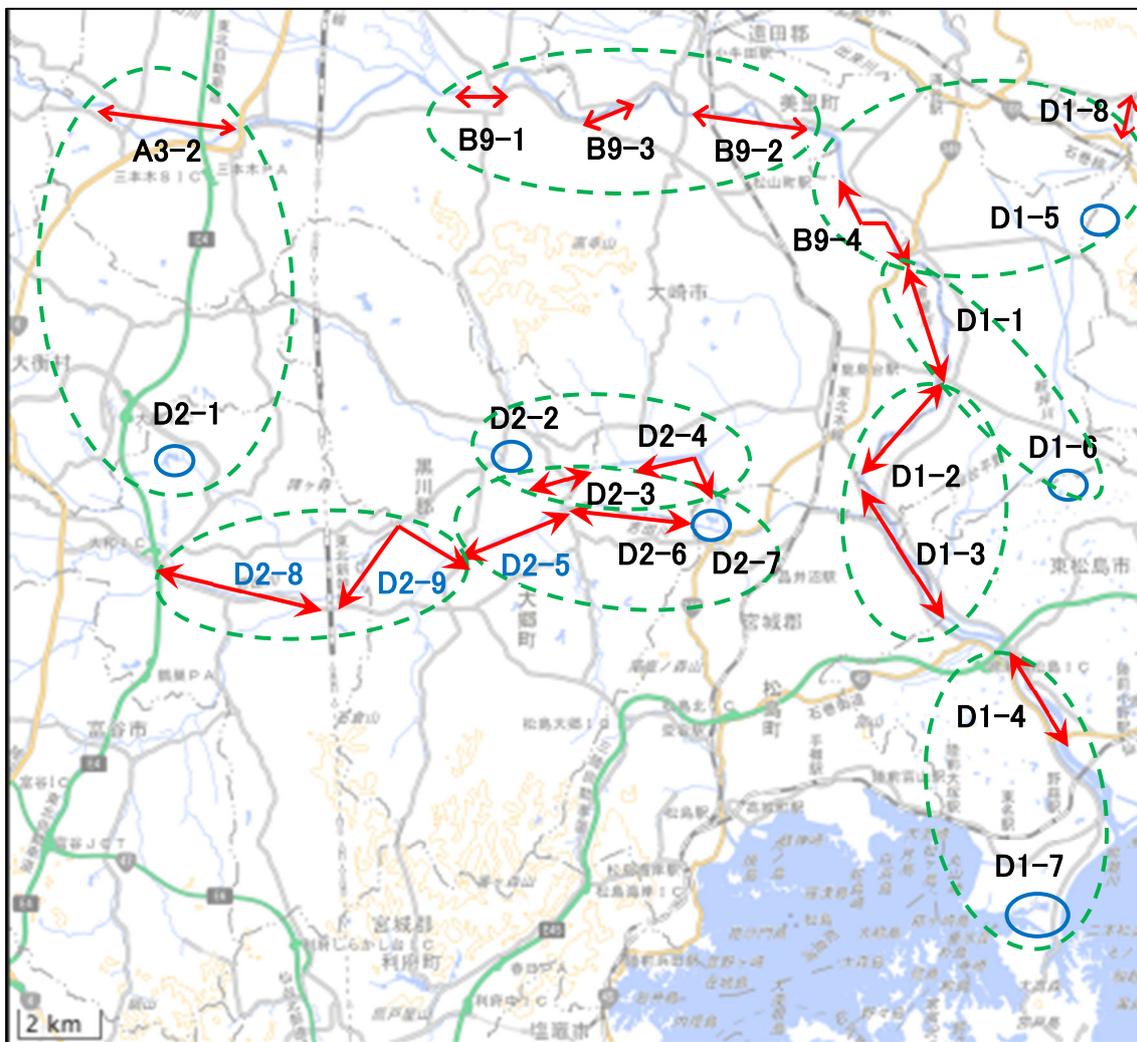
過去記録 2022:才 47コ 477 (2022.1.4:才 19コ 349/2022.12.12 才 41コ 182 平泉)

観察地点 長面排水機場かその上流側の水門付近の堤防からカウントする。

調査順序(案) 富士沼→釜谷堤→北上川河口



広域図 D 仙台圏北部（含隣接県北地区）：鳴瀬川中下部・吉田川一帯



A3-2 鳴瀬川-高倉橋～東北道周辺

D1-8 江合川・出来川合流付近

B9-1 鳴瀬川-志田橋

B9-2 鳴瀬川-東北本線鉄橋付近

B9-3 鳴瀬川-野田橋上流水道橋付近

B9-4 鳴瀬川-感恩橋上流

D1-1 鳴瀬川-木間塚橋上流

D1-2 鳴瀬川-木間塚橋下流

D1-3 鳴瀬川-三陸道上流

D1-4 鳴瀬川-鳴瀬大橋

D1-5 大沢堤

D1-6 角柄堤

D1-7 洲崎湿地

D2-1 直沢堤

D2-2 大松沢

D2-3 鶴田川-県道 146 号下鶴田橋

D2-4 鶴田川-鶴田大橋～下志田橋

D2-5 吉田川-大郷大橋～粕川大橋

D2-6 吉田川-大郷大橋下流

D2-7 志田谷地排水機場の池

D2-8 吉田川・東北新幹線～落合橋

D2-9 吉田川・粕川大橋～東北新幹線

## B9-1 鳴瀬川-志田橋

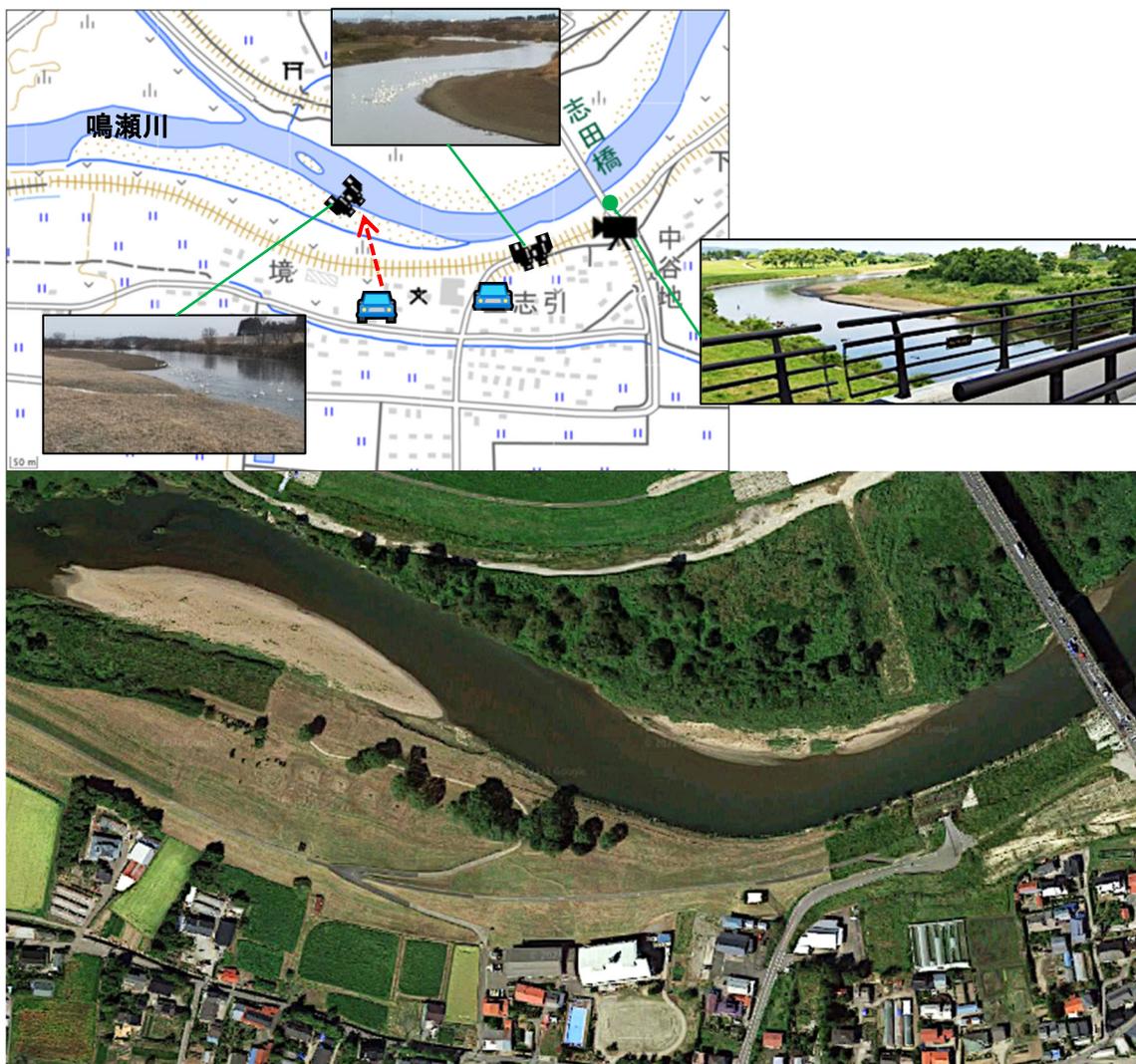
**所在地** 大崎市松山下伊場野、古川下中目小袋等(38.5313512, 141.0037819)

**概要** 白鳥類は志田橋上流の洲をねぐらにしており、休息しやすいのか河川としては比較的飛び立つのが遅く、気温が低いと多くが背眠していて種の判別に困ることがある。【👁️🗨️志田橋】

**過去記録** 2020:オ 70 コ 140 / 2021:オ 15 コ 336 / 2022:オ 226 コ 364 (2022.12.8 オ 12 コ 192 平泉)

**観察地点** 橋寄りの地点は旧道を車止めまで入り堤防に上がったところで、目の前の洲にいるものをカウントする。下流の親水公園の洲にいるものも数えられればそれで良いが、見にくければ下伊場野小学校西側に車を停めて親水公園内からカウントする。

**調査順序(案)** 鳴瀬川-東北線鉄橋付近下流→鳴瀬川-野田橋上流水道橋付近→鳴瀬川-志田橋



## B9-2 鳴瀬川-東北線鉄橋下流

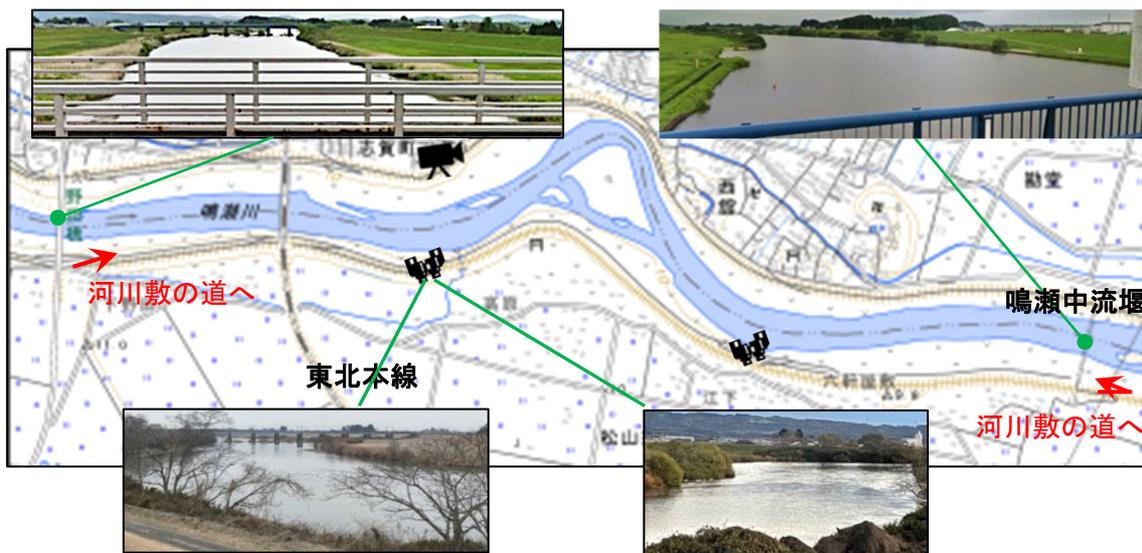
所在地 大崎市松山、美里町西館、志賀町等(38.528903, 141.073712)

概要 上流側はJR東北線鉄橋付近、大きく蛇行して中島がある部分があり、下流は鳴瀬中流堰までを見る。マガンとシジュウカラガンもねぐらにすることがある。堤防上は左岸はサイクリング道、右岸は河川管理用道路で入れない。【👁️🗨️野田橋、鳴瀬中流堰】

過去記録 2022:オ 10 コ 368 (2022.12.8 コ 159 平泉)

観察地点 右岸側は河川敷内に走れる道があるので、適宜堤防に登ってカウントする形になるが、概ね2箇所からで全体が把握できる。中島蛇行部は完全には見えないだろうが、上流と下流から奥の方まで見える地点でカウントする。河川敷の道はどこでも概ね駐車可能だが、2022 調査時は積雪が深く走行不能寸前だった。

調査順序(案) 鳴瀬川-東北線鉄橋下流→鳴瀬川-野田橋上流水道橋付近→鳴瀬川-志田橋



### B9-3 鳴瀬川-野田橋上流水道橋付近

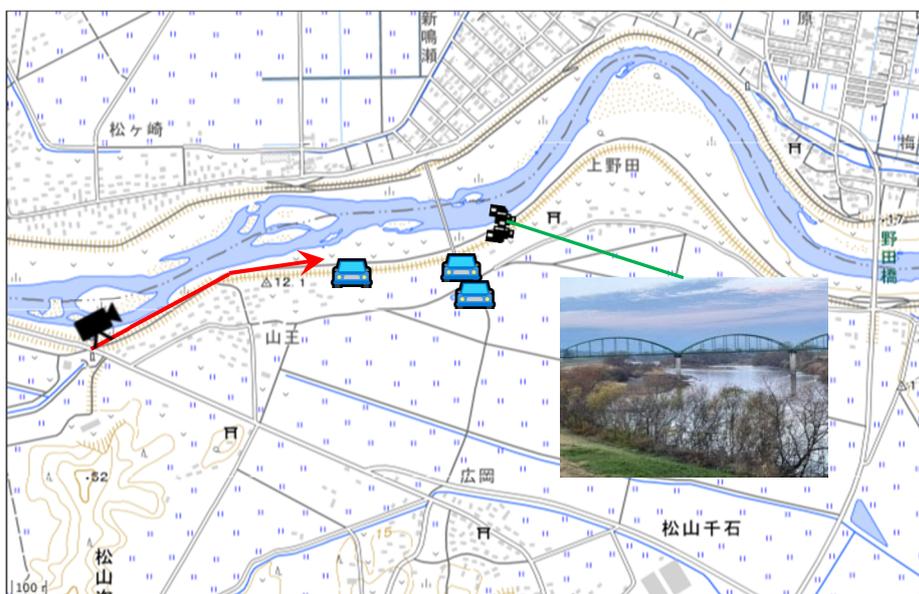
所在地 大崎市松山千石、松山次橋、美里町青生等(38.529029, 141.043990)

概要 水道橋付近から上流右岸の鈴根五郎排水機場付近までの間の洲が点在する区間。

過去記録 2022:コ473 (2021.12.10:オ10コ221/2022.12.8コ7 平泉)

観察地点 上流側右岸の排水機場から堤防道に入ると水道橋の手前で道幅が広がっていて車を止められる。上流側については水道橋をくぐるところに車を停めて、中洲の左岸側が見える場所まで歩くと良い。2022 調査時は雪のため堤防道に車で入れず南側の道路の水道橋脇から深い雪を掻いて堤防に上がって観察した。

調査順序(案) 鳴瀬川-東北線鉄橋下流→鳴瀬川-野田橋上流水道橋付近→鳴瀬川-志田橋



#### B9-4 鳴瀬川-感恩橋上流

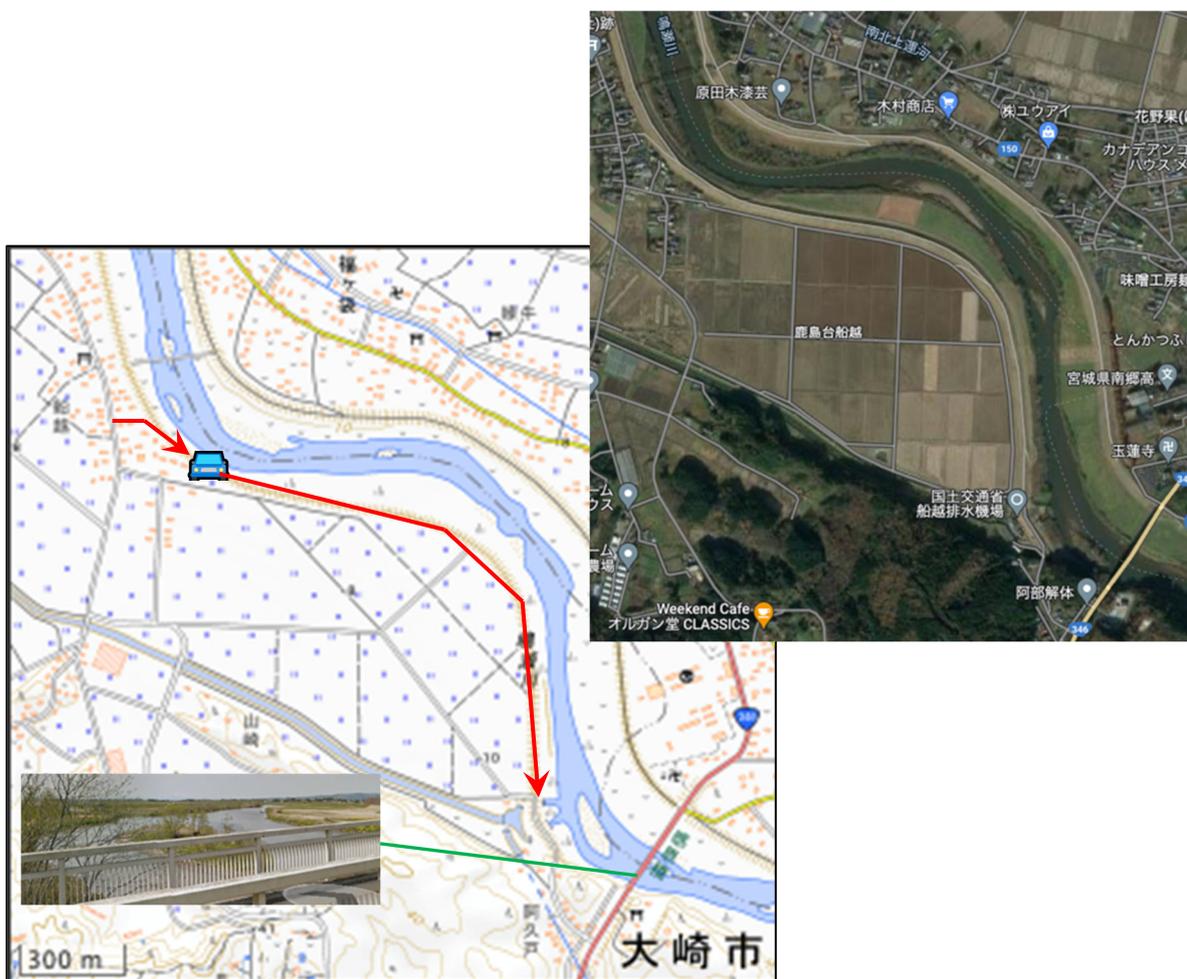
所在地 大崎市鹿島台船越、美里町福ヶ袋・大柳天神原等(38.507749, 141.101686)

概要 感恩橋上流の水道橋付近までの間の洲が点在する区間。白鳥類のほか、厳寒期には雁類がねぐらをとることもあるようだ。【👁️🗨️感恩橋】

過去記録 新規追加水域 (2022.1.27:オ2コ843/2022.12.7コ118 平泉)

観察地点 水道橋の下流右岸から堤防道に上がれる、そこから水道橋付近を含む上流側と下流側のカーブ付近の洲付近の白鳥類がカウントできる。その下流も中洲が点在していて白鳥類が利用しているので、感恩付付近まで堤防道を移動して適宜カウントする。堤防道は舗装されていて早朝凍結していそうなので注意が必要。

調査順序(案) 鳴瀬川-感恩橋上流→大沢堤→江合川・出来川合流付近



### D1-1 鳴瀬川-木間塚橋上流

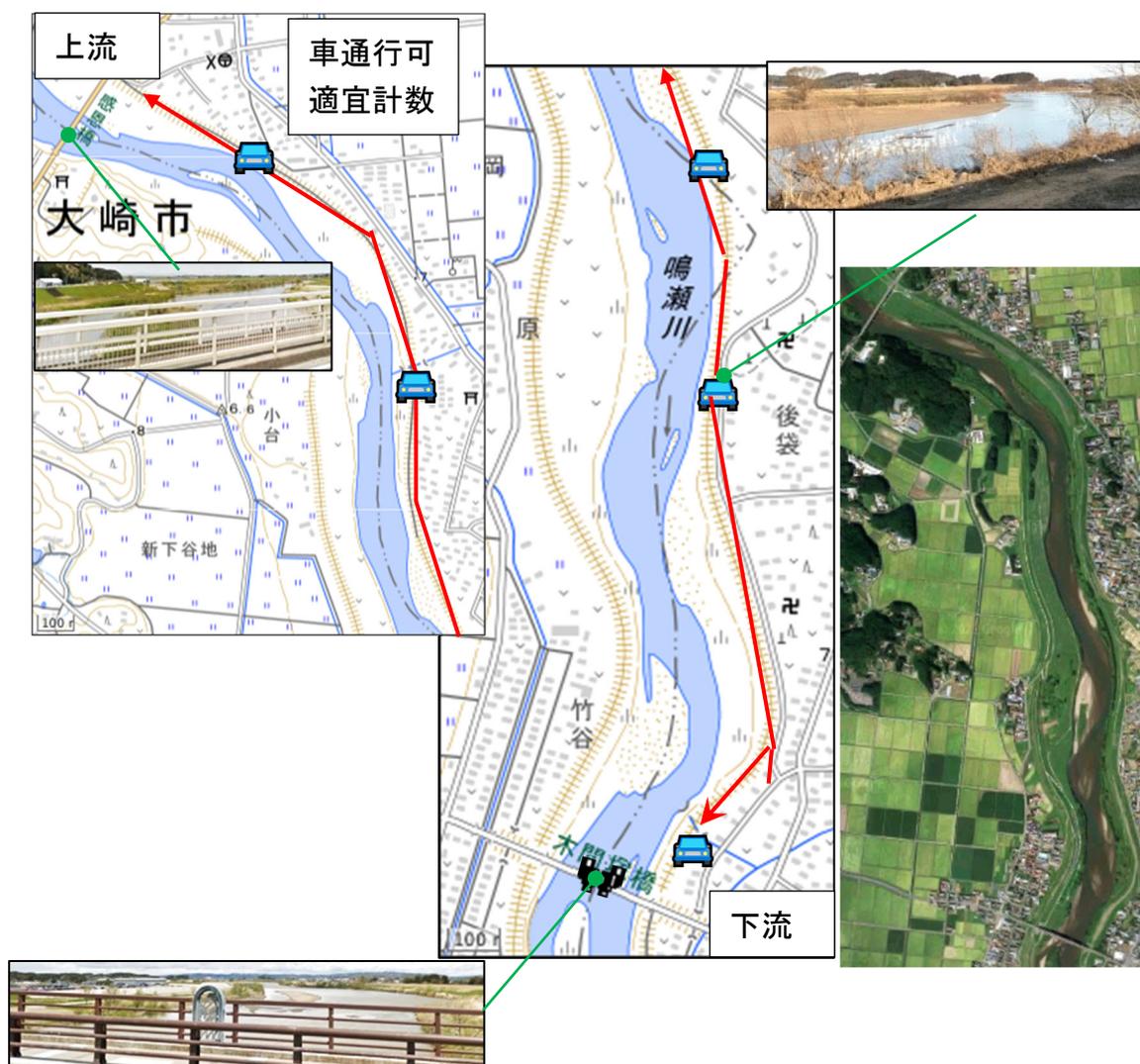
所在地 大崎市・美里町(38.4559294, 140.9203082)

概要 県内最大級のコハクチョウ越冬地。上流側の感恩橋までの洲を中心にあちこちに休んでいる群れが見られる。オオハクチョウは木間塚橋近くの右岸側などのほか、右岸河川敷の草地で採食していることがある。【👁️🗨️両橋】。

過去記録 2020:オ 139コ 1668 / 2021:オ 158コ 3149 / 2022:オ 841コ 5031  
(2022.12.7 オ 94コ 1687 平泉)

観察地点 上流側は川岸の樹木が邪魔になるが、左岸堤防を車で移動しながら見やすい場所で適宜カウントする。風が弱く高倍率のスコープが使えれば橋の上からかなり奥まで見ることができるが、凍っていて危ないかもしれないので注意。

調査順序(案) 角柄堤→鳴瀬川-木間塚橋上流



## D1-2 鳴瀬川-木間塚橋下流

所在地 大崎市・美里町(38.4684226, 141.1260408)

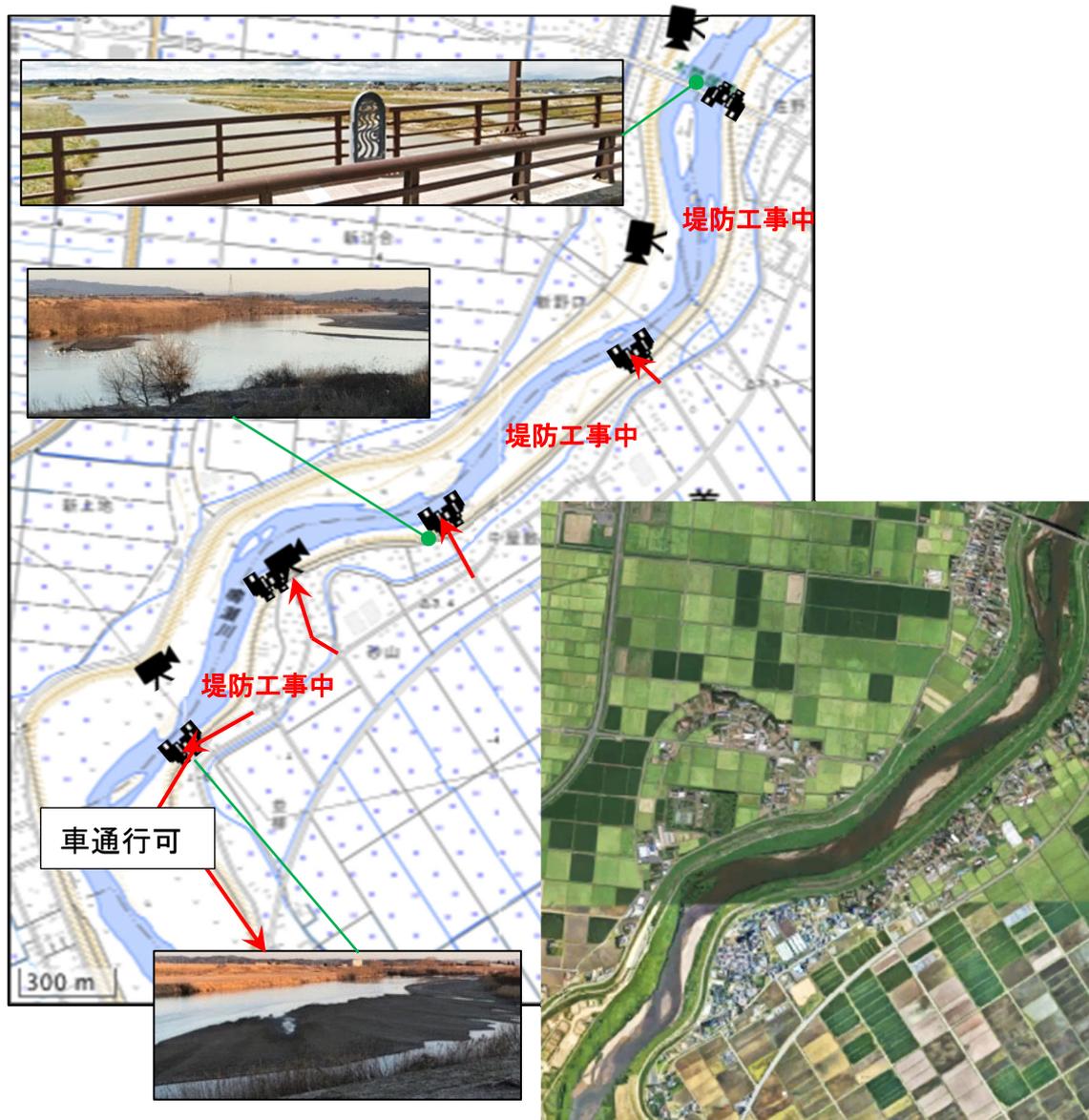
概要 木間塚橋上流と同様に洲を中心にあちこちに休んでいる群れが見られ、殆どがコハクチョウ。下流側は、高圧線が渡っている付近から見える、流れが南西から南南東に変わるまでを範囲とする。今季は工事で堤防上は通行不可(高圧線以南通行可)。

【👁️🗨️木間塚橋】

過去記録 2020:オ 27 コ 952 / 2021:オ 5 コ 768 / 2022:コ 1476 (2022.12.7 オ 39 コ 651 平泉)

観察地点 車で左岸側集落内の道路を移動して川沿いに出られるところから堤防に歩いて上がってカウントする。

調査順序(案) 鳴瀬川-木間塚橋下流→三陸道上流(または逆コース)



### D1-3 鳴瀬川-三陸道上流

所在地 美里町・松島町・東松島町 (38.4305856, 141.1219285)

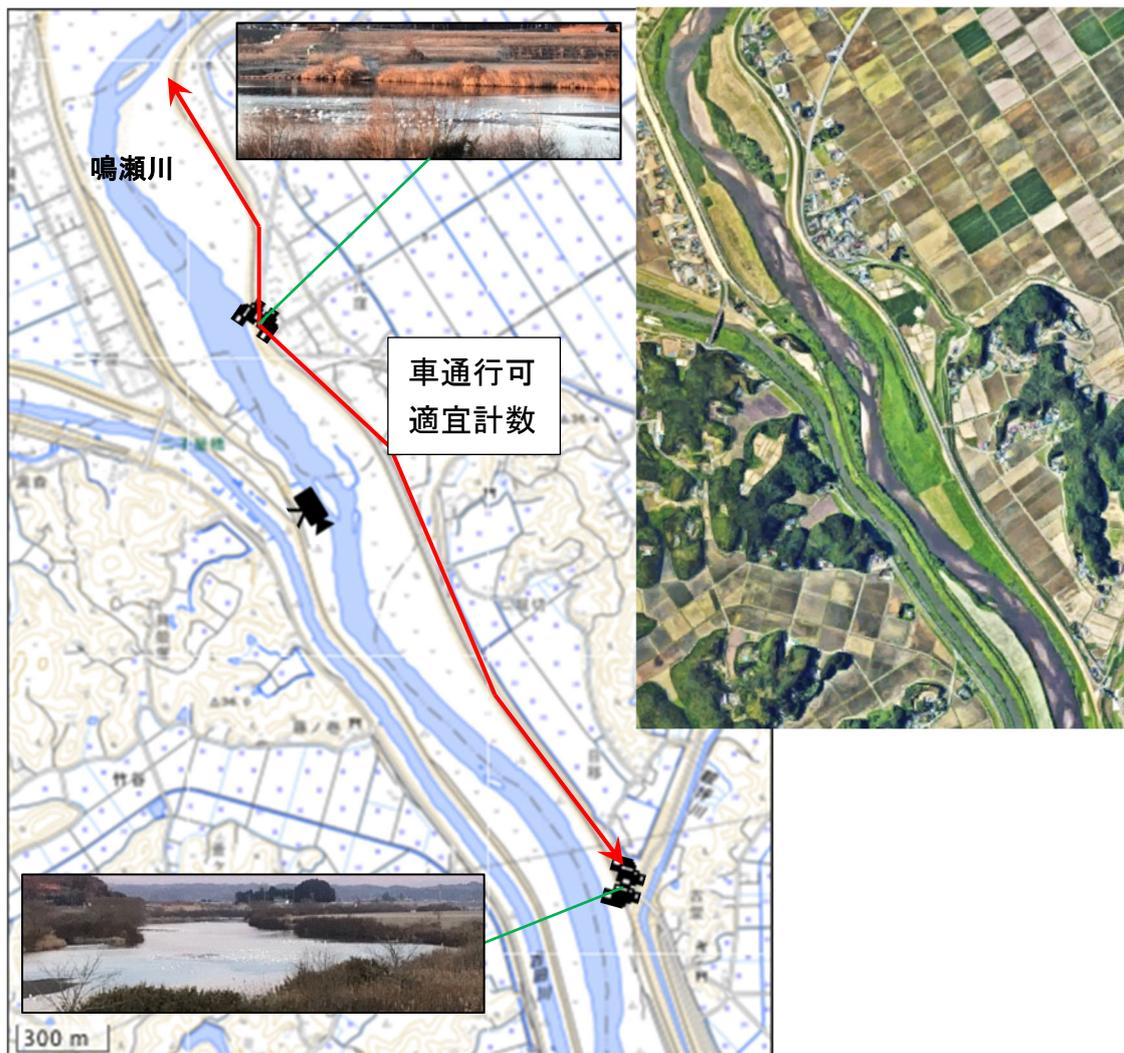
概要 木間塚橋下流の範囲の下端(流れが南南東に変わったところ)から、下流は鞍坪川が合流する付近で観察できる範囲までを対象とする(その下流側にも多少はいるが水面あまり見えない)。ここも洲を中心にあちこちに休んでいる群れが見られ、殆どがコハクチョウ。【👁️🗨️下流側(堤防嵩上げ前)】

過去記録 2020:コ 1680/2021:コ 640/2022:コ 2398 (2022.12.7 オ 49コ 455 平泉)

観察地点 上流端と下流端付近にはまとまった数が入ることが多い。その間は河川敷が広く見にくいが車で左岸堤防を移動して両端の記録に補足可能な場合は適宜カウントする。

調査順序(案) 鳴瀬川-木間塚橋下流→三陸道上流(または逆コース)

下流側や洲崎湿地と組み合わせる案もあったが、総数も群れが休んでいる場所も多い区間で、今後堤防に車で入れる保証もないので下流側とは別にした。



#### D1-4 鳴瀬川-鳴瀬大橋

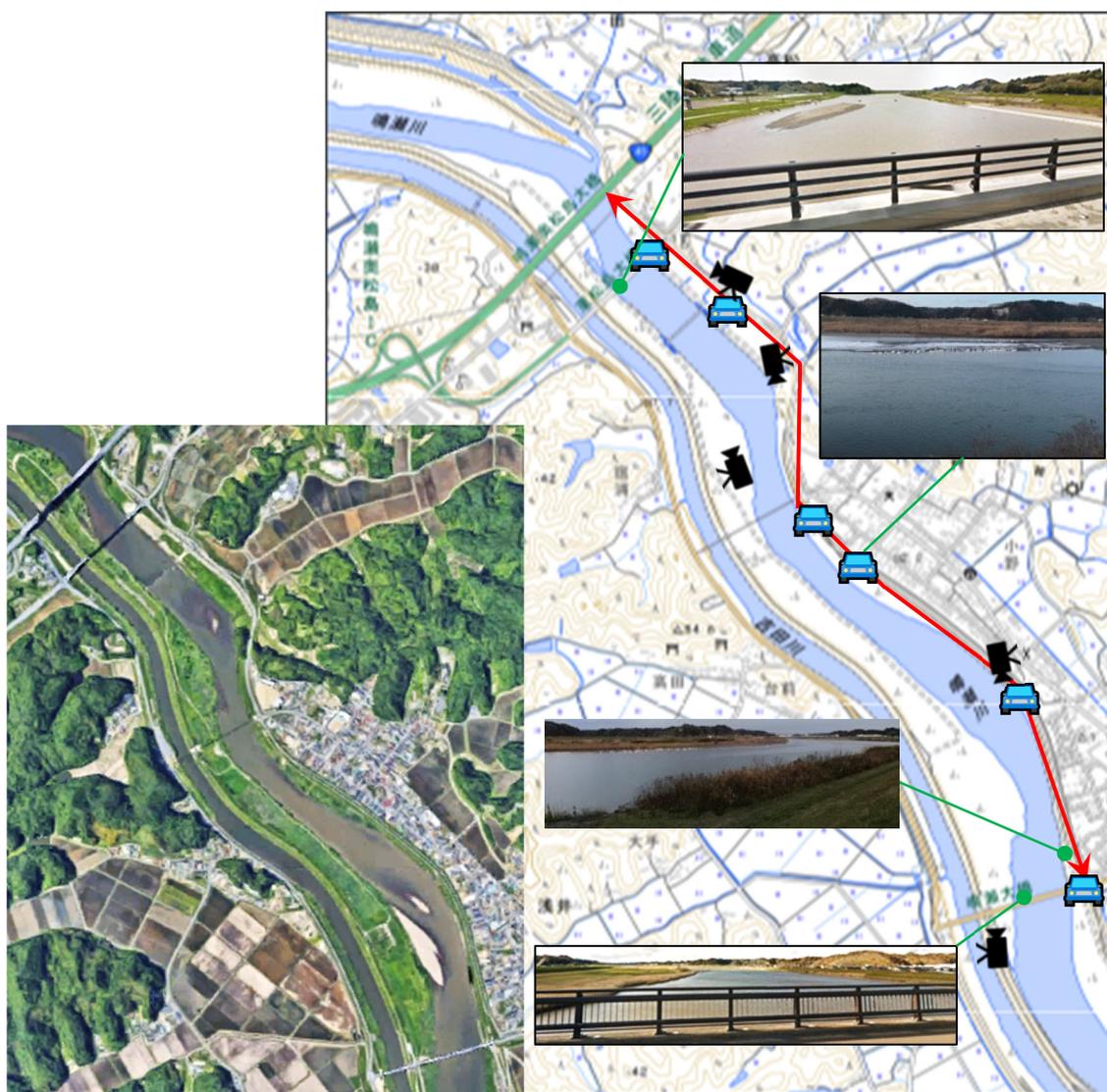
所在地 東松島市(38.399987,141.158024)

概要 鳴瀬大橋から三陸堂までの区間。上流側と違ってオオハクチョウも見られるが、最近はあまり数が多くない。【  橋、下流側:左岸道路/ 北上川下流河川事務所小野橋上流・鳴瀬大橋上流、[国土交通省川の防災情報](#)】

過去記録 2020:オ 21 コ 13/2021:オ 6/2022:オ 7 コ 31 (2022.12.7 オ 16 コ 64 平泉)

観察地点 左岸堤防上の一般道から見ることになるが早朝も通行車両があり、車が置ける場所でカウントすることになる。上流から来ると川が見えない堤防脇を通ることになり、鳴瀬大橋のところでターンして堤防上を戻らないといけないので注意が必要。

調査順序(案) 鳴瀬大橋上流→洲崎湿地 または逆コース



## D1-5 大沢堤

**所在地** 石巻市北村(38.5066384, 141.1682793)

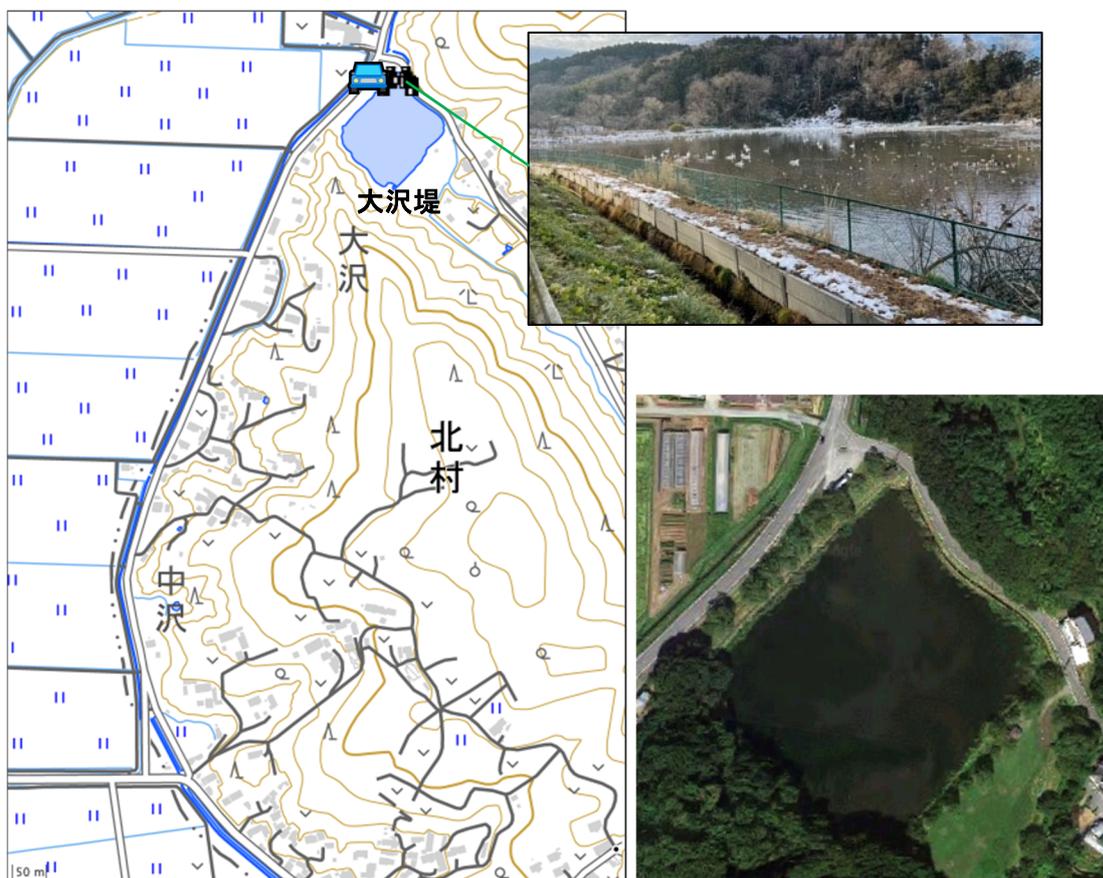
**概要** 日本白鳥の会の重要越冬地 100 選選定地。給餌倉庫があり米袋が入っていて最近も給餌している可能性がある。コハクチョウが多いが旧給餌場近くなどにオオハクチョウも見られる。

**過去記録** 2020:オ 27 コ 230 / 2021 オ 45 コ 294 / 2022:オ 99 コ 6 (2022.12.10 オ 131 コ 90 平泉) \*2022 はコハクチョウ飛び立ち後だったのかもしれない

**観察地点** 北西側の給餌倉庫付近からが全体を把握しやすい。

**調査順序(案)** 鳴瀬川感恩橋上流→大沢堤→江合川・出来川合流付近

これまで旧北上川や鳴瀬川の白鳥類が非常に多い地点を終わらせた後で移動してきて見ていたため開始前び飛び立ったものが少なくなかった可能性があったが、この組み合わせだと少し早い時間帯に見られるかもしれない。



D1-6 つのがら  
角柄堤(白鳥の里)

所在地 東松島市大塩角柄(38.4509195,141.1640365)

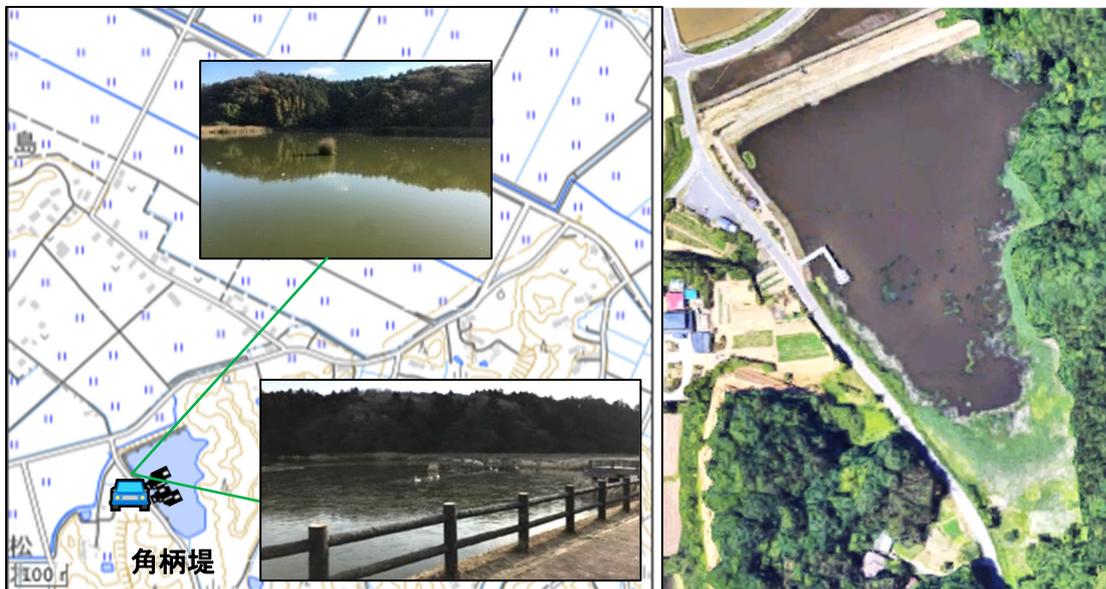
概要 日本白鳥の会の重要越冬地 100 選選定地。かつての給餌施設あり。数年前にはねぐらにするコハクチョウもいたが、最近はおオハクチョウ中心に少数が見られる。

【👁️🗨️東岸道路】

過去記録 2021:オ 10 コ 1 / 2022:オ 45 コ 15 (2022.12.7 オ 1 コ 1 平泉)

観察地点 駐車場(WC 有)近くの栈橋から観察できる。

調査順序(案) 角柄堤→鳴瀬川-木間塚橋上流→大沢堤→江合川・出来川合流付近 (または逆コース)



## D1-7 洲崎湿地

所在地 東松島市野蒜洲崎 (38.3606876, 141.1533244)

概要 主にコハクチョウが二つの池をめぐらし、北西側の水田に出る。2021年の調査時には鳴瀬川河口に近い水田に飛来するのを観察したので、調査時間帯が遅くなって水域にいる数が少ない場合はそれらの水田も見る必要がある。【👁️🗨️東池の東西端】

過去記録 2021:オ 5 コ 241 / 2022:オ 135 コ 133 (2022.12.7 コ 15 平泉)

観察地点 東側の池は西側から見ても良いが南側にできた施設のある高台から(少し降って)見たほうが死角が少ないかもしれない(トイレあり)。西側の池には北側から入って海産物加工場の脇を通って入ることができる。

調査順序(案) 鳴瀬大橋上流→洲崎湿地(または逆コース)



## D1-8 江合川・出来川合流付近

所在地 石巻市前谷地(38.527905, 141.177771)

概要 江合川に出来川が合流する下手に洲ができていて、コハクチョウのまとまった群れがねぐらにしており、下流側でもオオハクチョウの家族などが点々と見られる。【👁️🗨️ 右岸道路】

過去記録 2022:オ 15コ 142 (2021.12.29:オ 30コ 175/2022.12.10 なし 平泉)

観察地点 川沿いの道は細くて車を停めにくいので、下流側で河川敷に入っていく道のところに車を置いて歩くことになる。コハクチョウの休む洲の付近は川岸の樹木越しに観察できる。

調査順序(案) 角柄堤→鳴瀬川-木間塚橋上流→大沢堤→江合川・出来川合流付近 (または逆コース)



D2-1 <sup>すぐさわつつみ</sup>直沢堤

**所在地** 大和町落合松坂直沢 (38.4559294, 140.9203082)

**概要** 県のガンカモ生息調査では何度もオオハクチョウ全国上位の記録数となっていたが、いないことになっているコハクチョウの方が数が多い。【👁️🗺️北岸道路】

**過去記録** 2020:オ 249 コ 676 / 2021:オ 101 コ 229 / 2022:オ 97 コ 90 (2022.12.13 オ 119 コ 236 平泉)

**観察地点** 1ヶ所では全体が見えないのでうまく区域を分けて見る必要があり、南西部はフェンス越しに数えるしかない。旧餌付け場がある東部にはオオハクチョウが多い。

**調査順序(案)** 直沢堤→鳴瀬川-高倉橋下流・東北道周辺

直沢堤は他の地点と少し離れているが、高速ICが近いので大衡ICから1区間使って三本木スマートICで降りると鳴瀬川-高倉橋下流・東北道周辺の付近に出られる。



## D2-2 大松沢の溜池

所在地 大郷町大松沢 (38.4557438, 141.0126269)

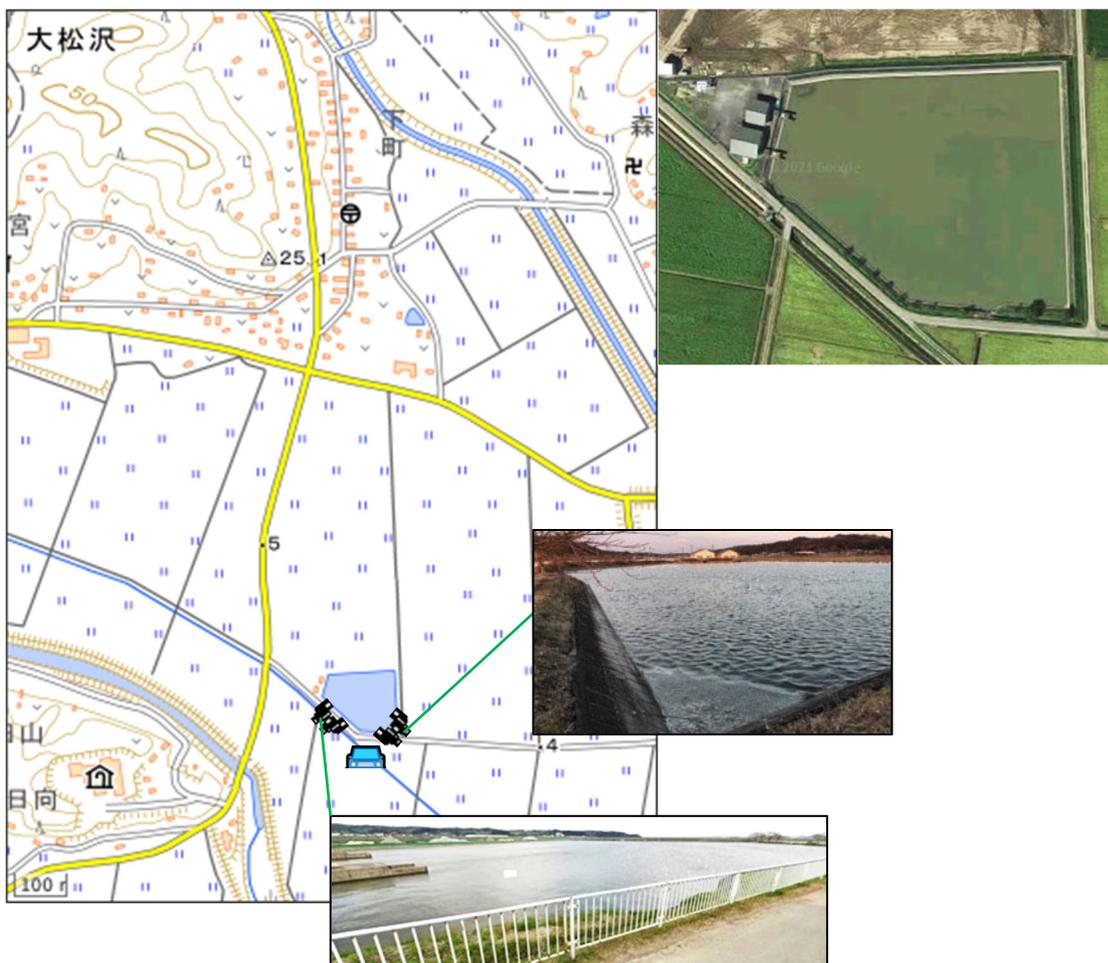
概要 比較的最近できた溜池だがコハクチョウ中心に多くの白鳥類がねぐらにしている。【👁️🗨️南側道路】

過去記録 2020:オ 11 コ 399 / 2021:オ 45 コ 294 / 2022:オ 11 コ 539 (2022.12.14 オ 20 コ 119 平泉)

観察地点 フェンスは低いので南側のどこからでも観察できる。木がやや邪魔なので南西側が良いが、道幅が狭いので車に注意が必要。南東角のフェンス出入口に鍵がかかっていなければ中に入れる。道幅が狭くて駐車場所が難しく、使用頻度の低い農道に頭を入れておくしかないかもしれない。

調査順序(案) 大松沢の溜池→鶴田川-鶴田大橋～下志田橋

鶴田川・吉田川一帯には多数のねぐらがあり、複数の班で分担して観察する必要がある(川のねぐらの方が飛び立ちは早いようだ)。早く終わった班は連絡を取ってまだ残っている地点を見るようにすると良いだろう。



### D2-3 鶴田川-下鶴田橋

所在地 (38.4499548, 141.0244095)

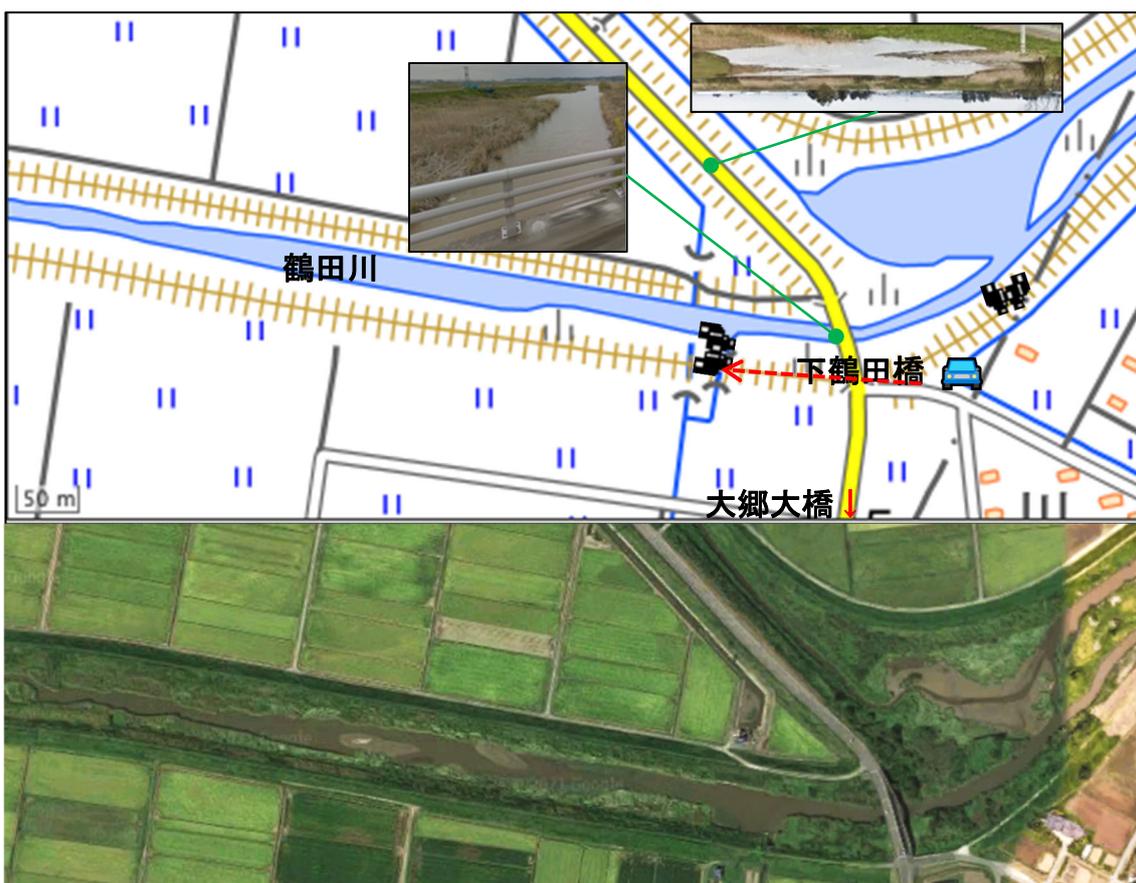
概要 県道 146 号の橋からも群れが見える。下流側にハオオハクチョウが多く、奥にコハクチョウの集団がいることが多い。橋の下流の新堀川合流部にも入ることがあるようなので見ておいた方が良さそう。【👁️👁️橋上】

過去記録 2020:オ 80 コ 132 / 2021:オ 86 コ 258 / 2022:オ 155 コ 663 (2022.12.14 オ 61 コ 43 平泉)

観察地点 車は上流右岸の堤防に頭を入れられるが、交通量もあってバックで出にくいので下流側の道に入って止める方が良い。上流側は少し入ったところの水門に上がると見やすい。

調査順序(案) 鶴田川下鶴田橋→大郷大橋上流(+橋上から下流方向を補足)→大郷大橋下流→排水機場 または逆ルート

鶴田川・吉田川一帯には多数のねぐらがあり、複数の班で分担して観察する必要がある(川のねぐらの方が飛び立ちは早いようだ)。早く終わった班は連絡を取ってまだ残っている地点を見るようにすると良いだろう。



#### D2-4 鶴田川-鶴田大橋～下志田橋

所在地 大崎市鹿島台大迫下志田 (38.4557236, 141.0582919)

概要 広永川がほぼ正面から合流して流路が大きくカーブする前後で流路が広がっており、そこを鶴田大橋からカーブ手前の中洲にかけてにコハクチョウ中心に多数の白鳥類がねぐらとしている。【👁️🗨️両橋】

過去記録 2020:オ 179コ 406 / 2021:オ 48コ 880 / 2022:オ 1875コ 1378  
(2022.12.14 オ 46コ 749 平泉)

観察地点 鶴田大橋から入ると白鳥類を飛ばすことがあるので(特に最近)、可能なら手前側から見た方がよい(早い時間帯ならゆっくり進めばよい)。下志田橋から入る分には川幅があるので泳いで移動する程度で済む。鶴田大橋の600mほど上流の砂崎橋下流側にも数十羽程度が入ることがあるようなので、鶴田大橋から確認するとよい。

調査順序(案) 大松沢の溜池→鶴田川-鶴田大橋～下志田橋



D2-5 吉田川-大郷大橋～粕川大橋（旧称:吉田川-大郷大橋上流）

所在地 大郷町粕川三十丁(38.4438717, 141.041132)

概要 県道 146 号の大郷大橋の上流側。以前は大郷大橋付近で見られるハクチョウ類も多かったが、河川改修が進んだこともあって最近は大郷大橋付近では見られなくなり、先から粕川大橋付近までにまとまった群れがいくつもねぐらにしている。

【👁️🗺️橋上/📹[国土交通省川の防災情報](#)】

過去記録 2020:コ 529/2021:オ 6 コ 752/2022:オ 28 コ 504

観察地点 左岸堤防から環申する。何箇所かに大きな群れが入っていて、川は少し蛇行しているので、大きな群れが見える場所で適宜カウントする必要がある。

調査順序(案) 鶴田川下鶴田橋→大郷大橋上流→大郷大橋下流→排水機場 または逆ルート



## D2-6 吉田川-大郷大橋下流

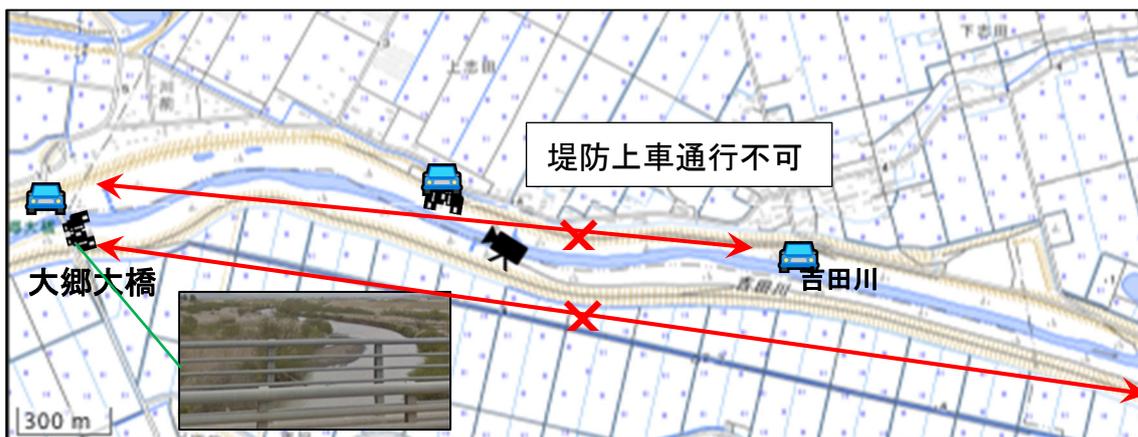
所在地 大郷町山崎・大崎市鹿島台大迫上志田(38.4436675, 141.0215731)

概要 県道 146 号線の橋下流。上流側と比べて川幅は狭く樹木で水面が見にくかった、改修工事中で川幅が広げられ樹木も撤去されて見やすくなった(地図や空中写真は現時点では役に立たない)。【👁️🗨️橋上、右岸堤防道】

過去記録 2020:オ 145 コ 526 / 2021:オ 55 コ 274 / 2022:オ 16 コ 312 (2022.12.14 オ 219 コ 180 平泉)

観察地点 観察地点 今シーズンも堤防は工事中で入れないが見通しが良くなったので大橋と下流 2 地点からカウントすれば良くなった。中間の地点は堤防脇に車を停めて歩いて堤防に上ることになる(上り道はあるが多分車止め設置)。

調査順序(案) 鶴田川下鶴田橋→大郷大橋上流(+橋上から下流方向を補足)→大郷大橋下流→排水機場 または逆ルート



## D2-7 志田谷地排水機場の池

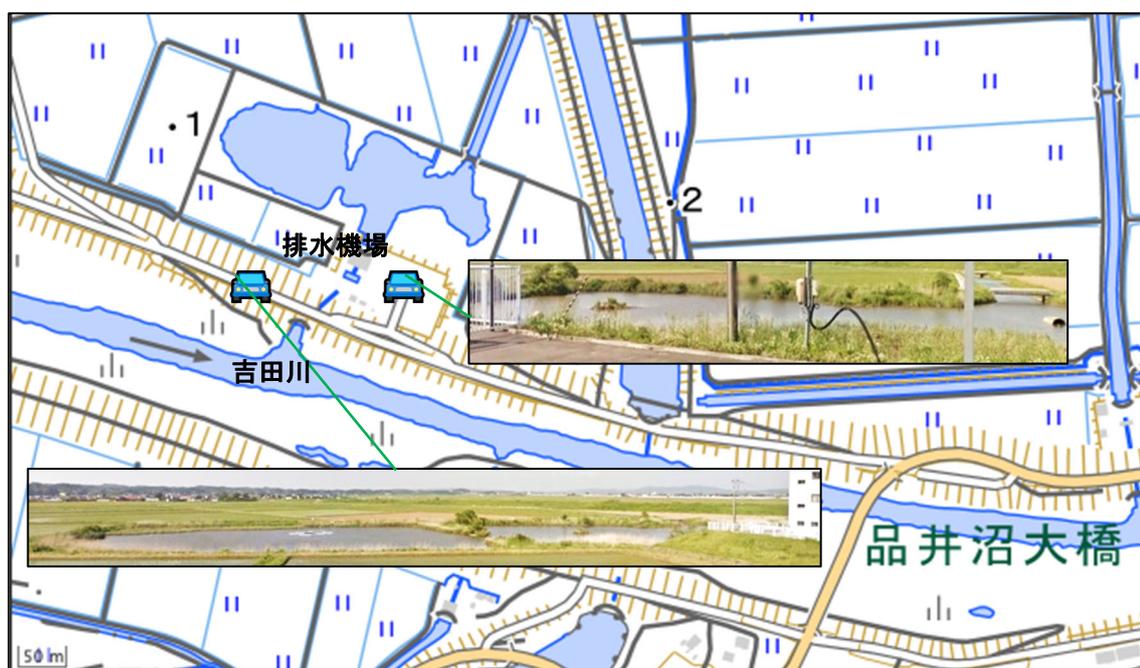
所在地 松島町幡谷 (38.4423458, 141.0657806)

概要 排水機場に隣接する池。これまでのところは大松沢の溜池ほど密な群れが入っているのは見ていない。【👁️🚗 駐車地点】

過去記録 2020:才 60 コ 92 / 2021:なし / 2022:コ 3 (2022.12.14 才 35 コ 74 平泉)

観察地点 東側の排水機場の門のところ(西側は見にくい)か吉田川堤防排水機場西側(東側は見にくい)からカウントする。

調査順序(案) 鶴田川下鶴田橋→大郷大橋上流(+橋上から下流方向を補足)→大郷大橋下流→排水機場 または逆ルート



D2-8 吉田川・東北新幹線～落合橋 (旧称:吉田川-悟溪寺橋付近)

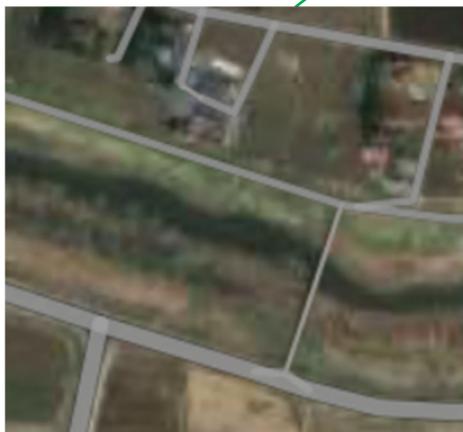
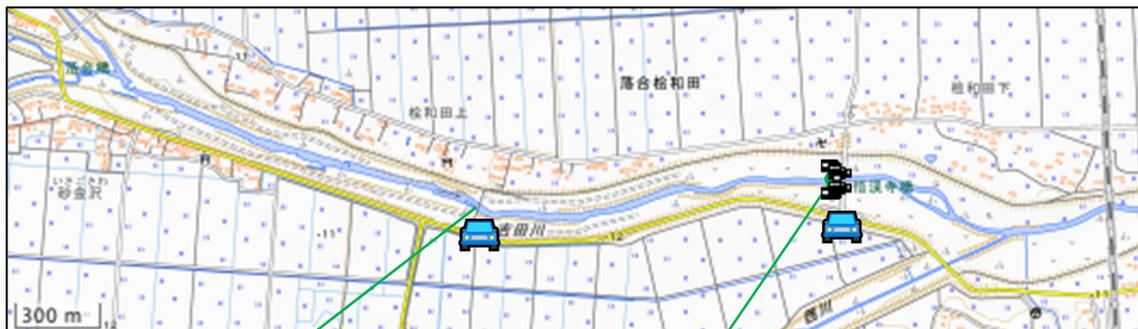
所在地 大和町鶴巣大平川向・落合松和田万五郎一番(38.427273, 140.952511)

概要 吉田川【橋上】と八幡堂歩道橋の上流側(河川改修工事が進行中)

過去記録 悟溪寺橋:2023.12.27:コハクチョウ 99/2024.1.9(8:05):オオハクチョウ 6  
コハクチョウ 60

観察地点 橋の上から観察する。車は両橋の左岸(南岸)の県道から上がって橋へ入る付近に置く。

調査順序(案) 直沢堤→吉田川・東北新幹線～落合橋→吉田川・粕川大橋～東北新幹線



**D2-9 吉田川・粕川大橋～東北新幹線**（旧称:吉田川-三ヶ内排水機場上流）

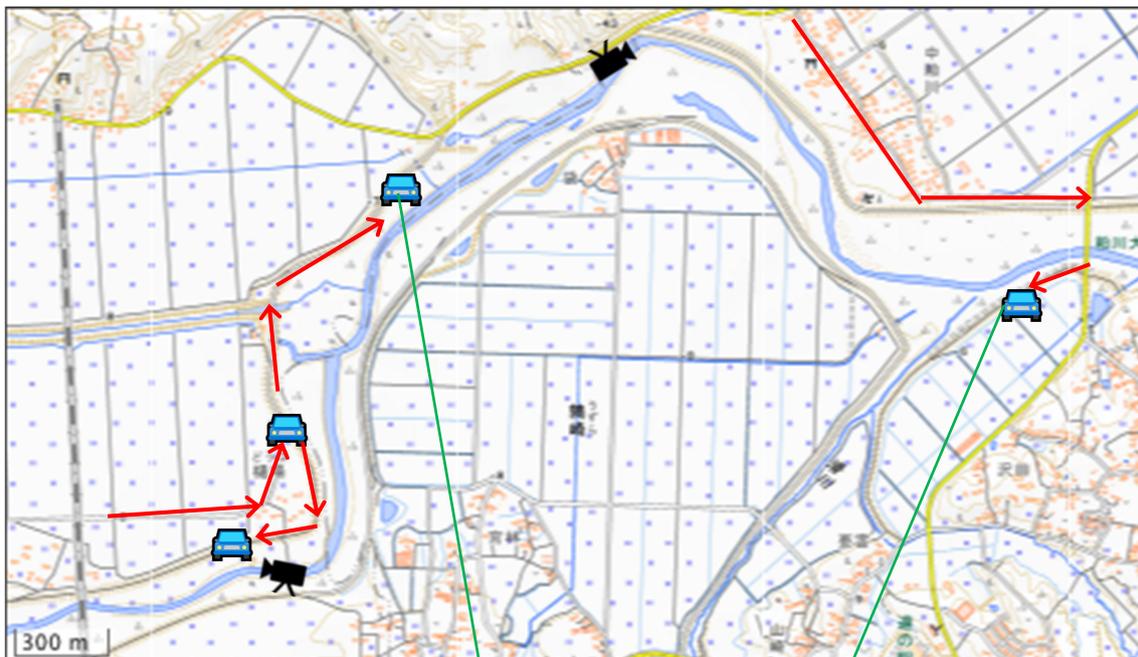
**所在地** 大和町落合三ヶ内・大郷町土橋北田(38.436560, 140.973826)

**概要** 吉田川粕川大橋上流や三ヶ内排水機場下流ほか点々と群れが見られる【👁️🗨️  
左岸堤防】

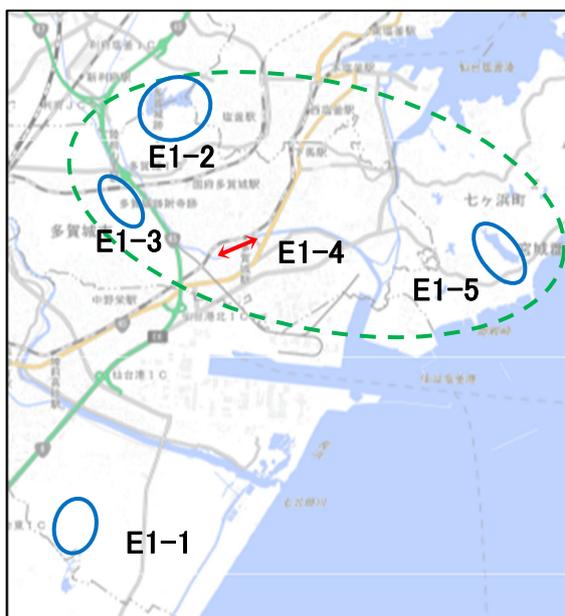
**過去記録** 2024.1.9(8:15):コハクチョウ 248(堤防を挟んだ農地にも別群あり)

**観察地点** 車は粕川大橋上流の水位観測所や堤防上の道幅の広くしてあるところに  
置ける。以前は川が堤防から見え難かったが、河川改修で広い範囲が見渡せるよう  
になった。改修でハクチョウ類の多く入る場所が少し変わったようで、風が強いと堤防で  
風裏になるところに移動する可能性もあるので、適宜鳥のいるところへ移動して数える  
必要がある。

**調査順序(案)** 直沢堤→吉田川・悟溪寺橋付近→三ヶ内排水機場上流



広域図 E1 仙台圏中部（沿岸）



- E1-1 大沼
- E1-2 加瀬沼
- E1-3 砂押川遊水地
- E1-4 砂押川-多賀城駅前周辺
- E1-5 阿川沼

[→全域図に戻る](#)

## E1-1 大沼

**所在地** 仙台市若林区荒井大沼 (38.2372601, 140.9698439)

**概要** 仙台市の沿岸部にある農業用溜池。オオハクチョウ、コハクチョウ共に見られるがコハクチョウの方が数は多い。南端と北端、次いで西岸にまとまった数が見られることが多い。オオハクチョウは北東側の陸上に上がっていることもある。ガン類も毎年少数入るが2020-21シーズンは寒波後に多数がねぐらにしていた。【👁️🗨️沼周回】

**過去記録** 2020:オ 41 コ 558 / 2021:オ 154 コ 898 / 2022:オ 104 コ 562

(2022.12.21 オ 113 コ 443 平泉)

**観察地点** 西岸を除き車で周囲を廻れて駐車できる場所もあるのでその日の白鳥類の分布から適宜見やすい場所から数えることができる。南側からはほぼ全体が見えるが死角になる場所もあるので、通常は北西の橋と南東側で見るのが良いだろう。

**調査順序(案)** 近年は少数が北西側の赤沼に入ることがある(2022 コ 14)ので、補足的にそちらも見ておいた方が良い。



## E1-2 加瀬沼

**所在地** 利府町、多賀城市、塩釜市(38.3130329, 140.9893491)

**概要** 餌を持って訪れる人がいるためオオハクチョウが入るが、外部から飛来するものもあり、ねぐらとしてはそれほど好適ではないようだ。最近2年間は寒波で南下したマガンが凍らずに残った開水面の縁にねぐらをとっていた。

**過去記録** 2020:オ 26 / 2021:オ 27 / 2022:オ 123 コ 44 (2022.12.15 オ 35 コ 3 平泉)

**観察地点** 早朝は公園の門が閉じているので北側を回って堤の北側の方に駐車する必要がある。白鳥類は給餌を待っているので堤から数えれば良い。

**調査順序(案)** 加瀬沼→砂押川遊水地→砂押川-多賀城駅周辺→阿川沼

ガン類のねぐら利用の可能性があるので加瀬沼は早い時間帯に見るように計画する必要がある。



### E1-3 砂押川遊水地

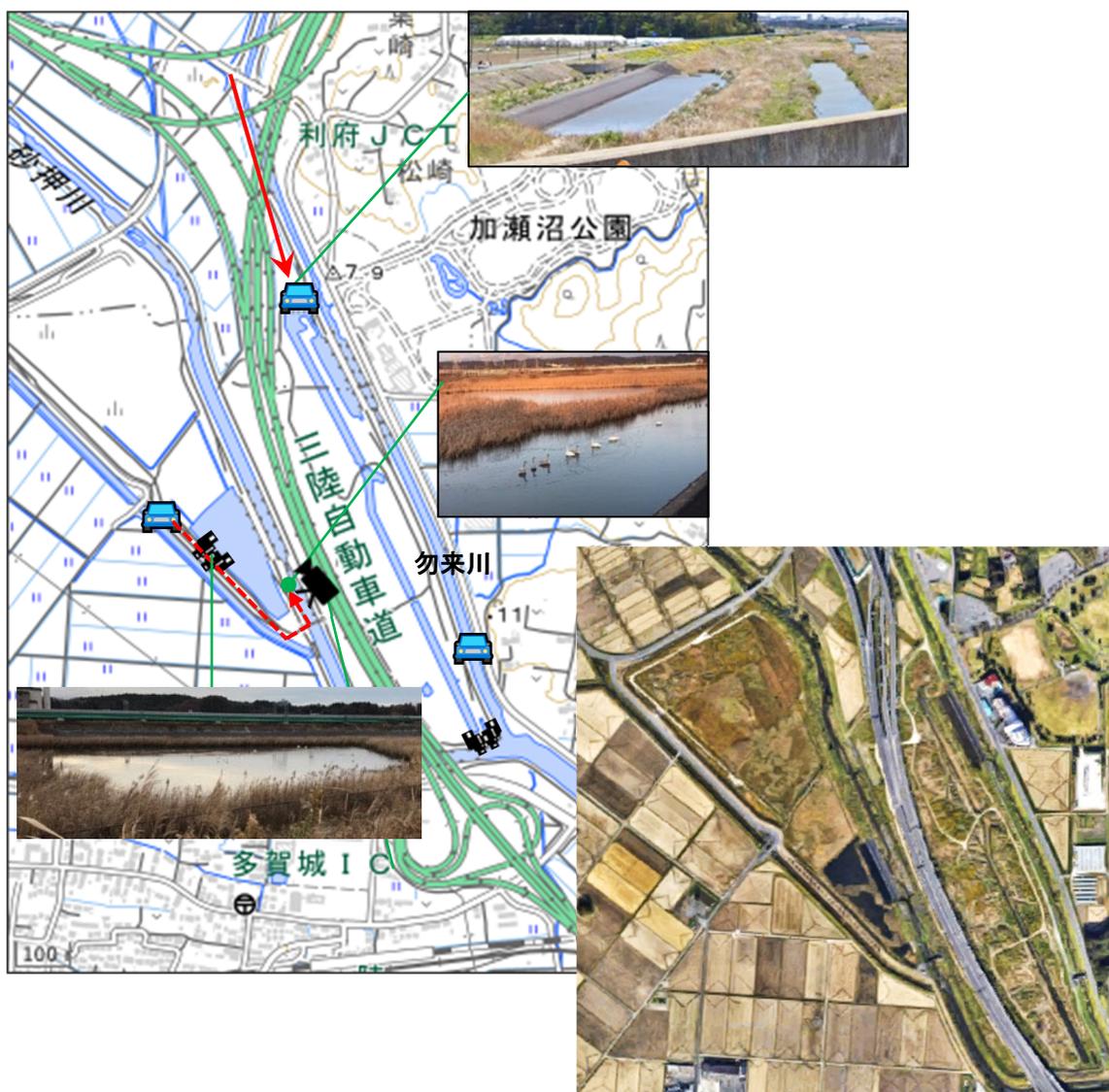
所在地 多賀城市市川原谷地(38.3063018, 140.9765175)

概要 三陸自動車道の西側にある遊水地で、南端のまとまった水域で白鳥類が見られる。自動車道の東側には勿来川遊水地があり、2020-21 シーズンには細長い水路状の水域でオオハクチョウが何家族も見られ、両者で一体となった地域と考えられるので時間に余裕があれば補足記録をとってみても良いだろう(北側からも勿来側沿いに車で入れる)。【👁️🗨️三陸道】

過去記録 2021:才 14/2022:才 13 (2022.12.15 才 39 平泉)

観察地点 南からの道が遊水地ぞいにカーブするところに車を停めて堤防に上がると水面が見える。水面の西側にも川に沿って細長い水面があるので裏側まで歩くと良い。

調査順序(案) 加瀬沼→砂押川遊水地→砂押川-多賀城駅周辺→阿川沼



#### E1-4 砂押川-多賀城駅前周辺

所在地 多賀城市八幡、東田中、中央など(38.29092, 141.00624)

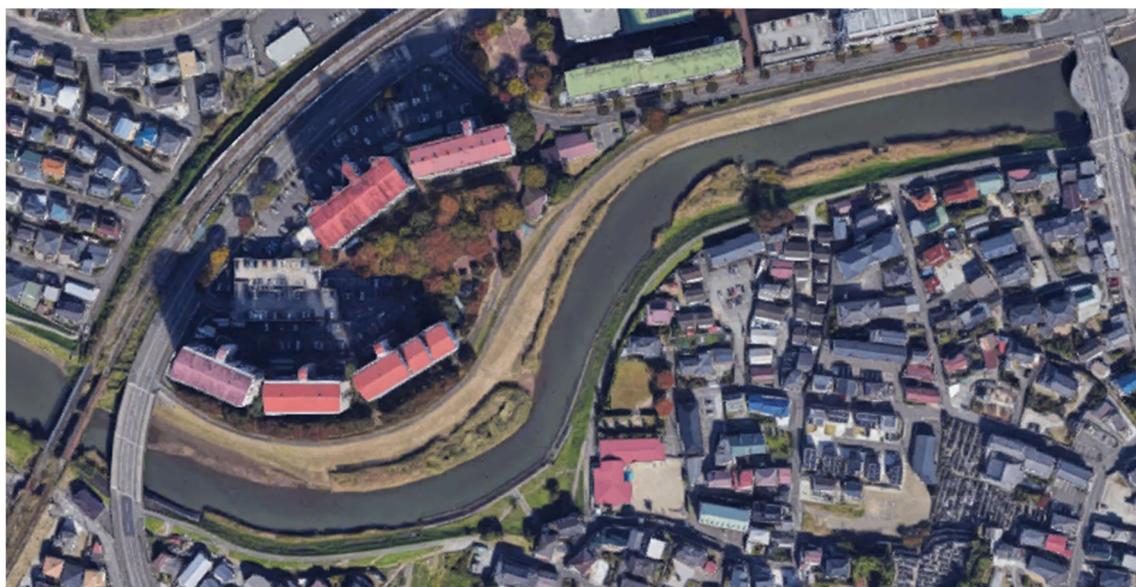
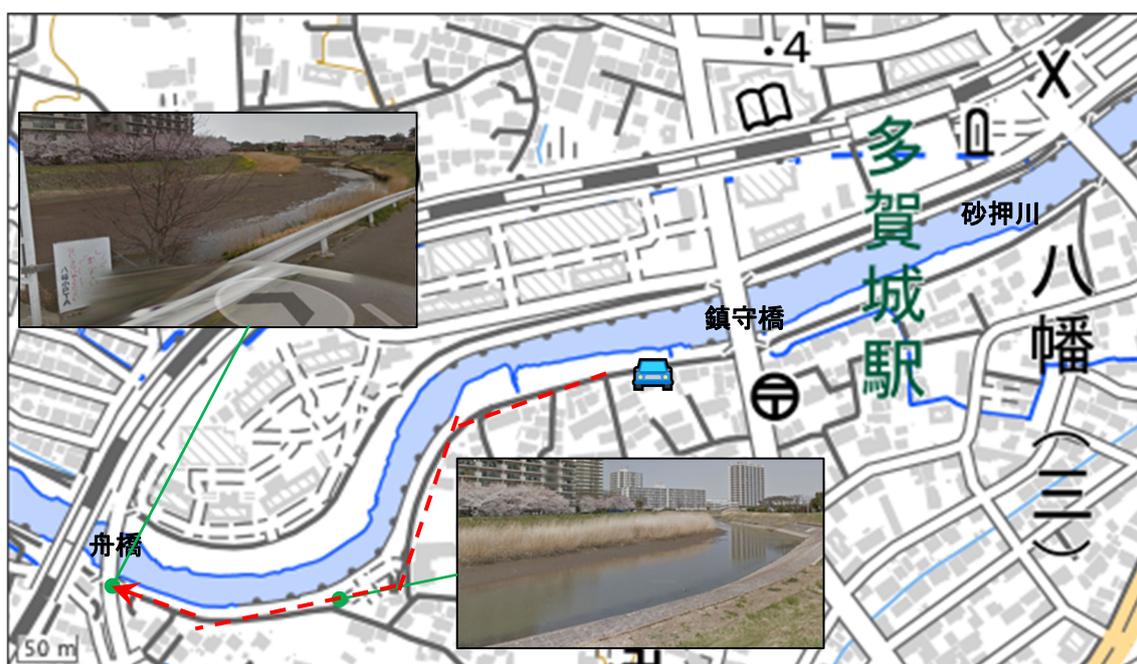
概要 多賀城駅前を流れる人工化された河川。舟橋下流のマンスションの立ち並ぶ付近でオオハクチョウが見られるようだ(今季は橋の上流側に集まっていることがあった)。餌を巻く人に依存しているものと考えられ、オナガガモやオオバンも群れていた。

【👁️🗨️橋上、堤防道】

過去記録 2020:オ 30/2021:オ 38/2022:オ 26 (2022.12.15 オ 11 平泉)

観察地点 堤防から容易にカウントできる。駐車スペースを知らないので鎮守橋そばに駐車するようにしてあるが、舟橋付近に置けるのならそのほうが良い。

調査順序(案) 加瀬沼→砂押川遊水地→砂押川-多賀城駅周辺→阿川沼



## E1-5 阿川沼

所在地 セツ浜町菖蒲田浜(38.2902772, 141.0568749)

概要 主に北部の抽水植物の多い区域でオオハクチョウが見られる。近所の方が餌をあげているようだ。

過去記録 2020:オ 12/2021:オ 32/2022:オ 38 (2022.12.15 オ 22 平泉)

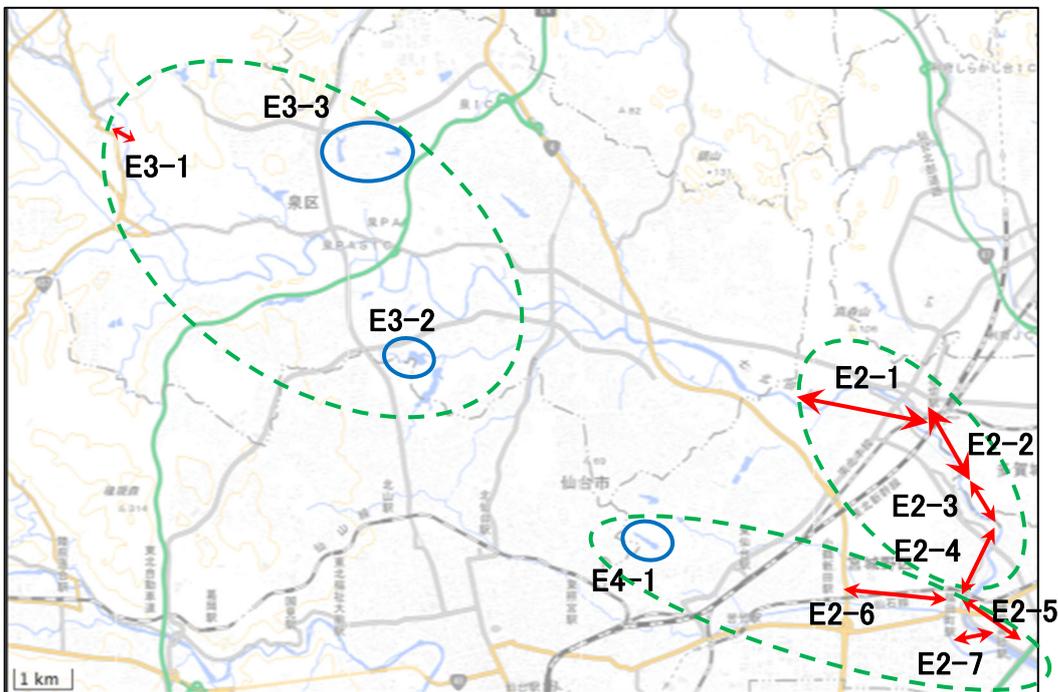
観察地点 最近少し様子が変わって北西角の給餌に来る人がいるところから見やすくなった。死角もあるので南側からも見ると良い。

調査順序(案) 加瀬沼→砂押川遊水地→砂押川-多賀城駅周辺→阿川沼

阿川沼は少し離れていて市街地を通るので移動に時間がかかるかもしれない。



広域図 E2 仙台圏中部（内陸）



E2-1 七北田川-今市橋上流水管橋～  
新幹線橋

E2-2 七北田川-新幹線橋～田子橋

E2-3 七北田川-田子橋～宮城野大橋

E2-4 七北田川-宮城野大橋～福田大橋

E2-5 七北田川-福田大橋～高砂大橋

E2-6 梅田川-R45～R4 号バイパス

E2-7 梅田川-七北田川合流～福田新橋

E3-1 七北田川新堰(根白石)

E3-2 丸田沢溜池

E3-3 銅谷堤(及び荒砥沢溜池)

E4-1 与兵衛沼

[→全域図に戻る](#)

## E2-1 七北田川-今市橋上流水管橋～新幹線橋

所在地 仙台市宮城野区岩切(38.30423, 140.93765)

概要 洲が多くある区間だが、ひと冬安定して定着しているという印象はあまりなく、付近の水田の食物を食べ終わると別のところに移動するといった生活なのかもしれない。【👁️🚗各橋上、新幹線上流右岸】

過去記録 2021:才 108コ11 / 2022:才 126コ34 (2022.12.16 才8 平泉)

観察地点 今市橋上流や岩切河川敷緑地公園付近などでねぐらをとる白鳥類が見られる。岩切大橋より下流側も道は狭いが右岸堤防を車で移動できる。

調査順序(案) 七北田川-今市橋上流水管橋～新幹線橋→～田子橋→～宮城野大橋→～福田大橋



## E2-2 七北田川-新幹線橋～田子橋

所在地 仙台市宮城野区岩切、田子、多賀城市新田など(38.28903, 140.96089)

概要 上流部に中野堰があり洲も多いが、最近2年間の調査では白鳥類は確認されていない。【👁️🗨️中野堰、田子橋】

過去記録 2021:なし/2022:なし (2021.12.7 才12/2022.12.16 なし 平泉)

観察地点 白鳥類は田子橋付近でよく見られるほか、中野堰付近などでも左岸の堤防から観察できる。田子橋の左岸堤防に駐車可能。

調査順序(案) 七北田川-今市橋上流水管橋～新幹線橋→～田子橋→～宮城野大橋→～福田大橋



### E2-3 七北田川-田子橋～宮城野大橋

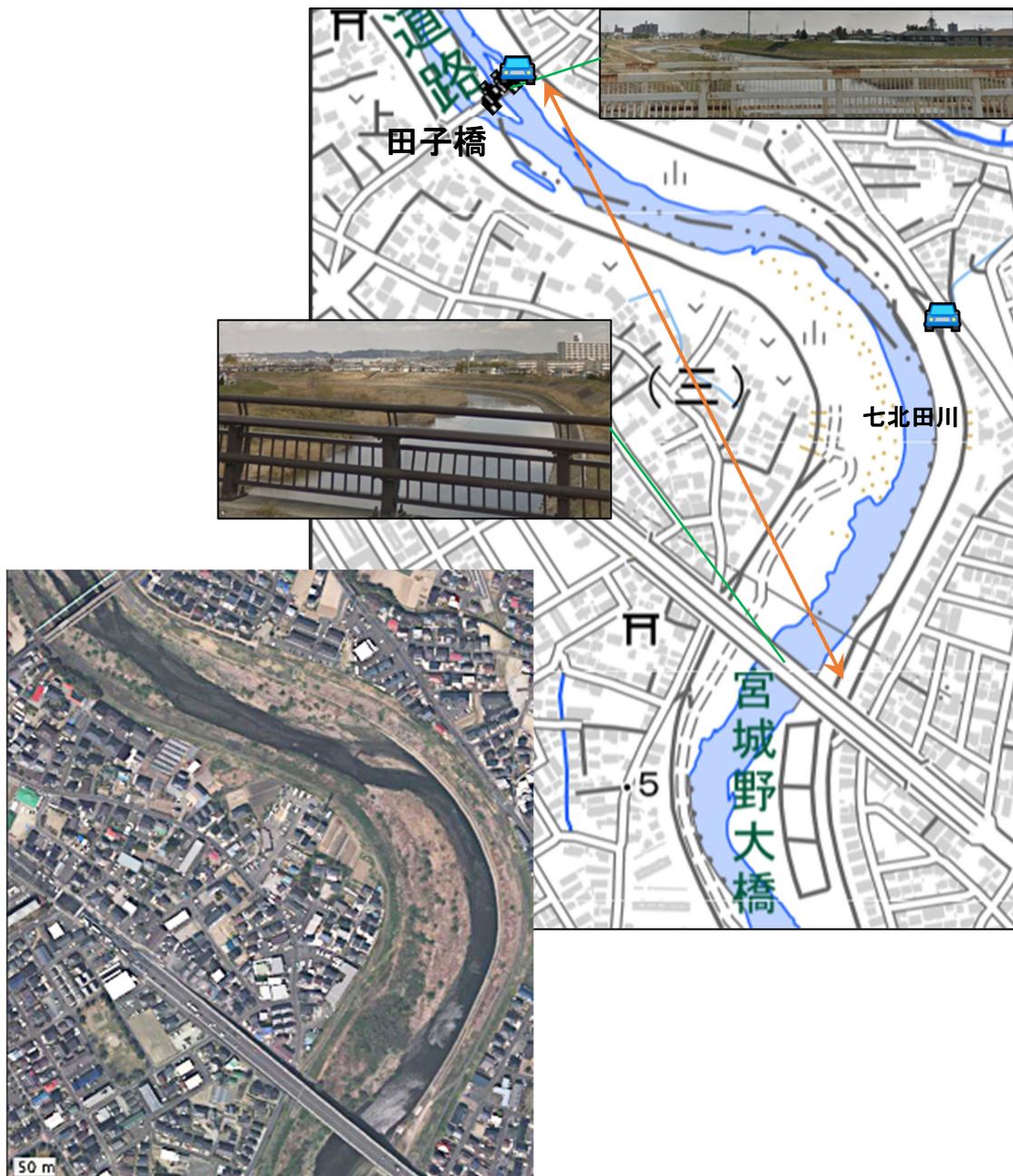
所在地 仙台市宮城野区田子、多賀城市新田、福室など(38.28392, 140.96782)

概要 この区間も洲が広く出ていて休息に適しているようだ。【👁️🗨️両橋】

過去記録 2021:才 91 / 2022:才 353 コ 3 (2022.12.16 才 39 コ 3 平泉)

観察地点 田子橋の左岸堤防に駐車可能。左岸の中間あたりは車が置けて広範囲がみられる。

調査順序(案) 七北田川-今市橋上流水管橋～新幹線橋→～田子橋→～宮城野大橋→～福田大橋



## E2-4 七北田川-宮城野大橋～福田大橋

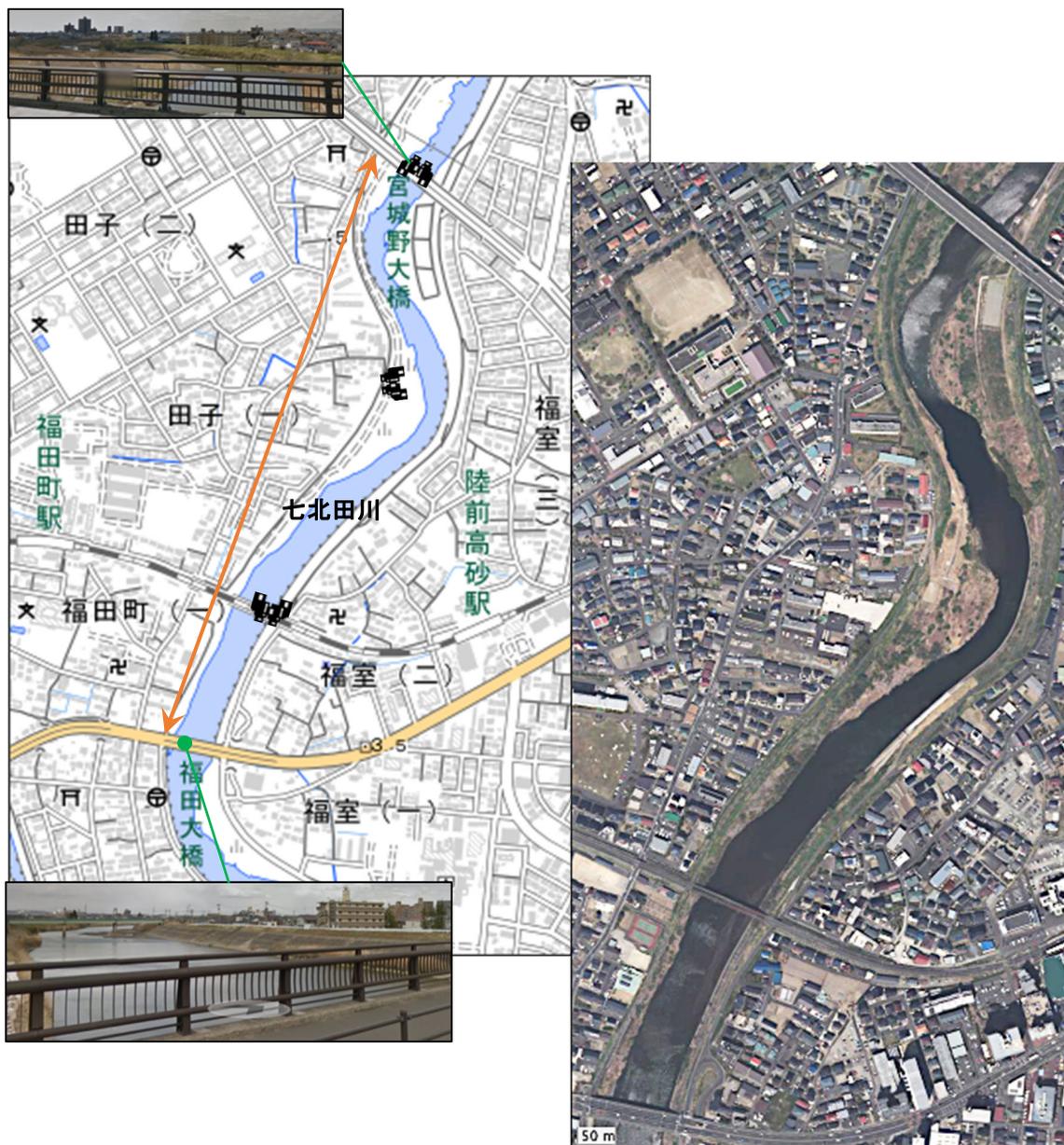
所在地 仙台市宮城野区福田町、田子、福室(38.27683, 140.96629)

概要 この区間も洲が出ていて宮城野大橋上流側ほどではないが白鳥類が利用しているのが確認されている。【  両橋、仙石線下流左岸堤防道】

過去記録 2021:なし/2022:コ 37 (2022.12.16 オ 57 コ 19 平泉)

観察地点 橋を渡るときに白鳥類の有無を確認できるほか、仙石線付近の左岸からも上流側を見ることができる。宮城野大橋と仙石線の中間の右岸側から堤防に着ける道がある。

調査順序(案) 七北田川-今市橋上流水管橋～新幹線橋→～田子橋→～宮城野大橋→～福田大橋



## E2-5 七北田川-福田大橋～高砂大橋

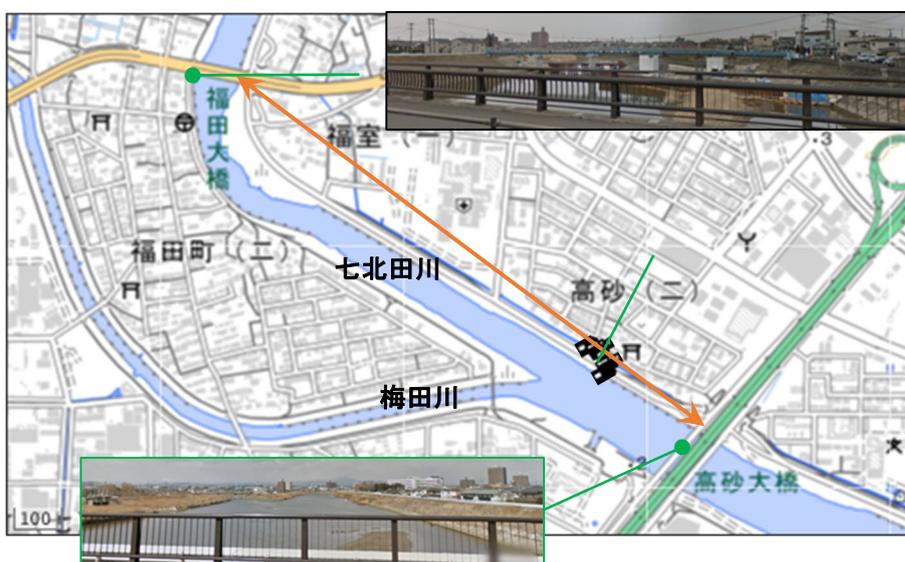
所在地 仙台市宮城野区福田町、鶴巻、福室、高砂(38.26757, 140.96635)

概要 福田大橋下流や梅田側合流部に洲があり、そこを中心に白鳥類が見られることが多い。【👁️🗨️福田大橋、両岸堤防道】

過去記録 2021:才12/2022:なし (2022.12.16 才26 平泉)

観察地点 この区間は左岸堤防が県道になっていて白鳥類の確認は容易だが、車は置きやすくない。

調査順序(案) 与兵衛沼→梅田川- R45～R4 号バイパス→七北田川合流～福田新橋→七北田川-福田大橋～高砂大橋



## E2-6 梅田川-R45～R4号バイパス

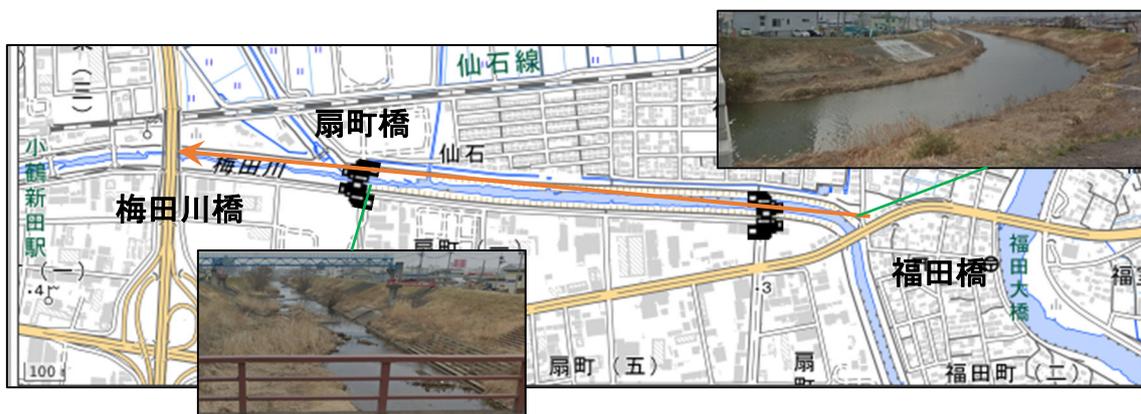
所在地 仙台市宮城野区扇町、仙石(38.27207, 140.95556)

概要 2021年調査では比較的多くのオオハクチョウが記録された。【👁️扇町橋、福田橋北東】

過去記録 2021:オ 45 / 2022:なし (2022.12.16 オ 29 平泉)

観察地点 白鳥類の有無は45号線付近や上流寄りの扇町橋で確認でき、兩岸の堤防脇の道路に車を置いて堤防に上がって観察することもできる。

調査順序(案) 与兵衛沼→梅田川-R45～R4号バイパス→七北田川合流～福田新橋→七北田川-福田大橋～高砂大橋



## E2-7 梅田川-七北田川合流～福田新橋

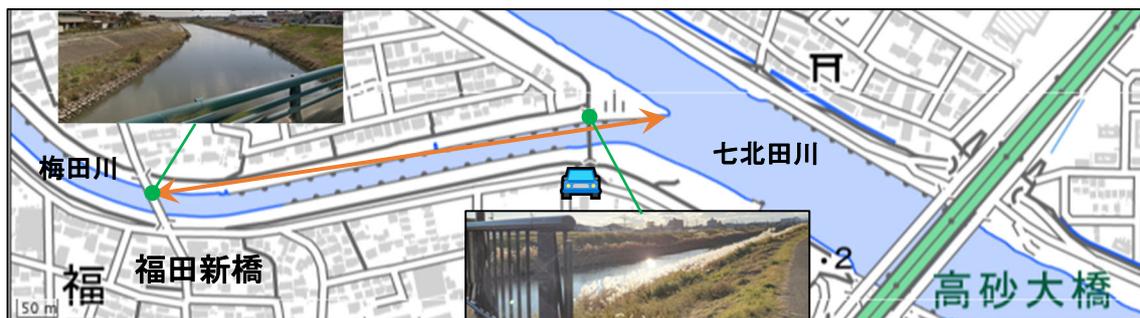
所在地 仙台市宮城野区福田町、鶴巻(38.26549, 140.96438)

概要 餌を撒く人がいるのかこの区間を遊泳したり上流側のファミマ前に集まっているのが見られる。【👁️福田新橋】

過去記録 2021:オ 39/2022:なし (2022.12.16 なし 平泉)

観察地点 両端の橋から白鳥類の有無は容易に確認できる。

調査順序(案) 与兵衛沼→梅田川- R45～R4 号バイパス→七北田川合流～福田新橋  
橋→七北田川-福田大橋～高砂大橋



### E3-1 七北田川新堰(根白石)

所在地 仙台市泉区根白石町東(38.34364, 140.80097)

概要 根白石の水田地域で採食している白鳥類の一部が郵便局の裏手の堰上流の水面をねぐらにしている。【👁️🗨️堰下流左岸】

最近白鳥を見にきた人が車で塀を壊すなどのトラブルがあったそうなので地元の方への対応に注意する必要があるかもしれない。

過去記録 2021:オ 259 コ 39 / 2022:オ 78 コ 4 (2022.11.28 オ 8 / 12.18 なし 平泉  
トラブルと関連あるのか? 今季少ない)

観察地点 郵便局の手前でカーブしているところから舗装道で川岸まで入れるが、最道幅が広がったのでトラブル防止のため手前で停めたほうが良さそうだ。西側から上流の橋のところに通じる道もあるが細いのであまりお勧めしない。白鳥類は橋の上手にまで入っていることもあり、その場合は橋の上から数えると良い。

調査順序(案) 七北田川新堰→銅谷堤→荒砥沢堤→丸田沢溜池 または逆ルート



## E3-2 丸田沢溜池

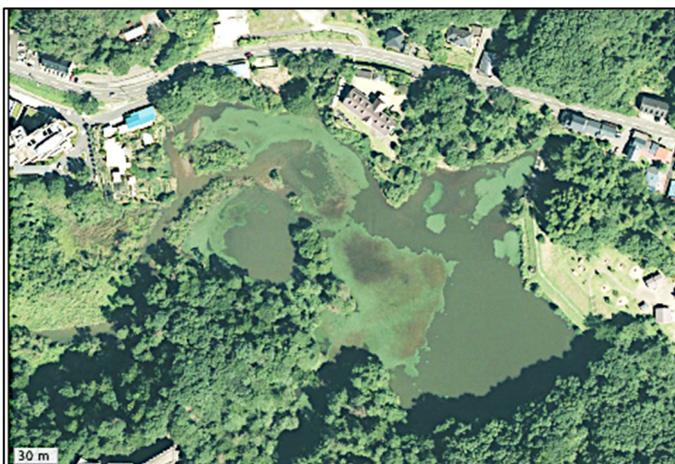
所在地 仙台市泉区上谷刈(38.3098811, 140.857729)

概要 根白石の水田で採食する白鳥類の一部がねぐらにしている。根白石の新堰と前後してシジュウカラガンが見られたことがあり、根白石の水田との行き来が裏付けられた。

過去記録 2021:オ 53 コ 7 / 2022:オ 104 コ 10 (2022.12.18 オ 13 コ 8 平泉)

観察地点 北側から降りていけるとところに車を置いて餌撒き場に降りていくことができ、東側の水面が観察できる。そこから細い道を抜けると、少し入り組んでいて全部は把握しにくいものの西部の水面を見ることができる。

調査順序(案) 七北田川新堰→銅谷堤→荒砥沢堤→丸田沢溜池 または逆ルート



### E3-3 銅谷堤(及び荒砥沢溜池)

所在地 仙台市泉区根白石:泉パークタウン西側(銅谷堤:38.351721, 140.813464/  
荒砥沢堤:38.352562, 140.818852)

概要 根白石の水田で採食する白鳥類の一部がねぐらにすることがある、七北田川新堰から丘ひとつ超えたところにある溜池。利用頻度はそれほど高くないようだが、今季は新堰が少ないようで見えておく可能性がある。東側の荒砥沢堤は銅谷堤に白鳥類が認められなかった日に群れが見られたことがあり(2021.12.15 オ 29 コ 6 平泉)、現状ではどのくらい利用しているか不明だが補足的に見ておいたほうが良い。

過去記録 新規追加水域 (2022.12.18 オ 134 コ 23 平泉)

観察地点 銅谷堤は堤脇のフェンス前まで車で行けるが(ストリートビューは設置前のものらしい)、フェンス手前からは池西側の一部は見えない。荒砥沢堤は手前に車止めがあるが歩いていけば堤上から観察できる。

調査順序(案) 七北田川新堰→銅谷堤→荒砥沢堤→丸田沢溜池 または逆ルート



## E4-1 与兵衛沼

所在地 仙台市宮城野区蟹沢 (38.2815389, 140.9022111)

概要 住宅地に囲まれて残された公園内の樹林に囲まれた溜池。餌を撒く人がいる。

主に七北田川沿いの耕地に採食に出ているようだ。【👁️🗨️東側道路】

過去記録 新規追加水域 (2022.1.21 才 32 / 2022.12.18 才 26 平泉)

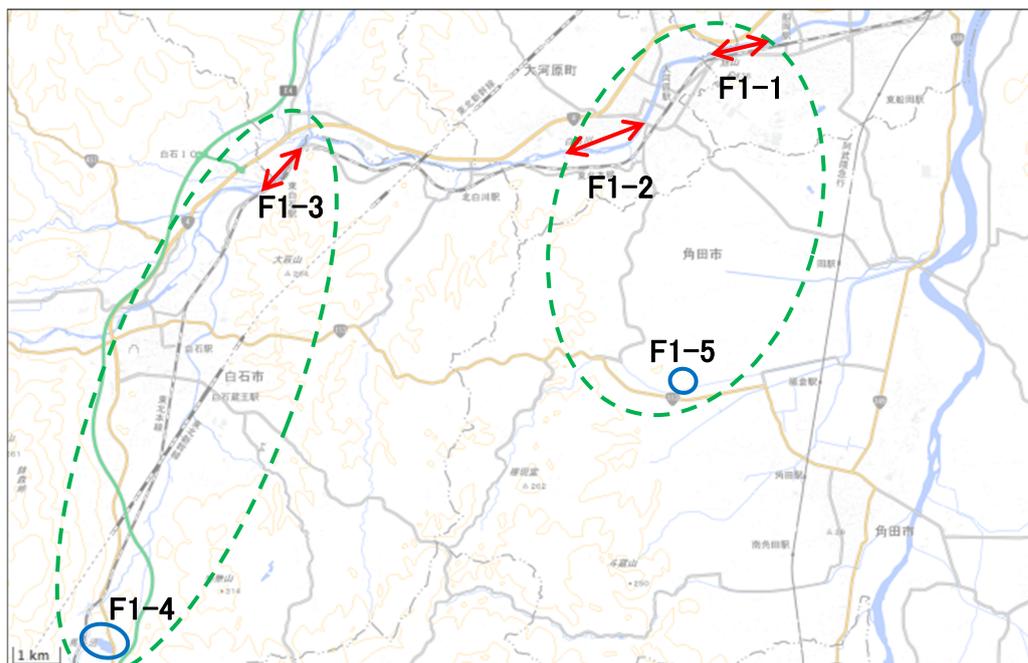
観察地点 東側の堤のところから観察でき、その南側に駐車場がある。

調査順序(案) 与兵衛沼→梅田川- R45~R4 号バイパス→七北田川合流~福田新橋→七北田川-福田大橋~高砂大橋

※北側の大堤公園でや北東の鶴ヶ谷中央公園でも数羽~数家族が見られることがあるが与兵衛沼が最も安定していて数も多いようだ。



広域図 F1 県南地区：白石川等



F1-1 白石川-千桜橋前

F1-2 白石川-大河原橋上流

F1-3 白石川-蔵王町宮

F1-4 馬牛沼

F1-5 手代木沼

[→全域図に戻る](#)

### F1-1 白石川-柴田町(千桜橋前)

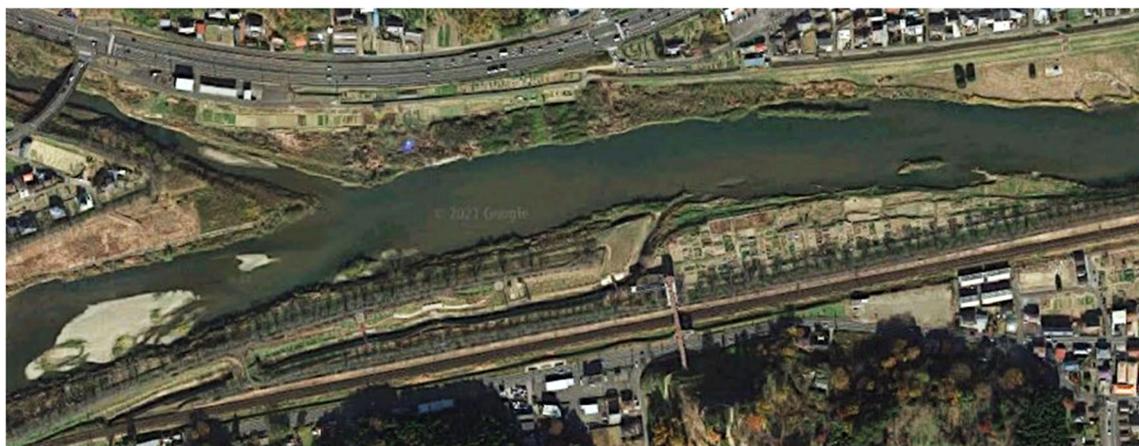
所在地 柴田町船岡川端(38.059107, 140.7569498)

概要 年や時期によりねぐらが多少変わるが、白石川千桜公園一帯では上流側の洲や左岸の荒川合流部、下流側左岸などでオオハクチョウ、コハクチョウが共に見られる。【👁️🗨️ しばた千桜橋,船岡城址ほか 📹 [柴田町観光物産協会](#)】

過去記録 2020:オ 75 コ 24 / 2021:オ 81 コ 106 / 2022:オ 66 コ 34 (2022.12.2 オ 13 平泉)

観察地点 船岡城址公園と千桜公園を結ぶしばた千桜橋の上から広範囲が観察できる。

調査順序(案) 白石川-千桜橋前→大河原橋上流→手代木沼 または逆ルート



## F1-2 白石川-大河原町(大河原橋上流)

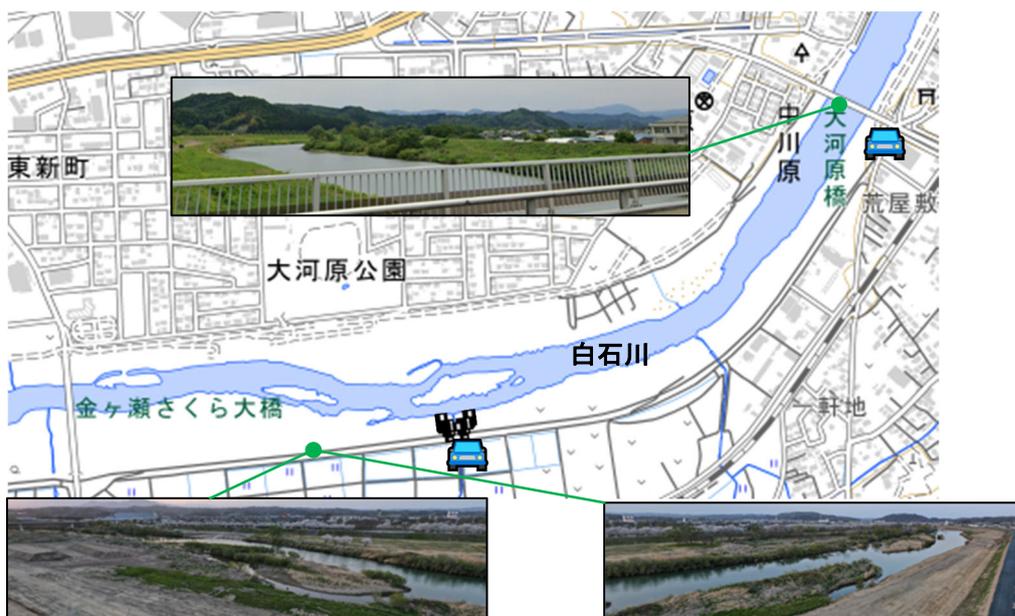
所在地 大河原町中川原、大谷川端(38.0413003, 140.7313128)

概要 東アジア・オーストラリア地域渡り性水鳥重要生息地。年や時期によりねぐらが多少変わり、あちこちに群れが入っていて状況に応じて調査する必要がある。【👁️🗨️ 両端橋、河川公園・右岸堤防(ドローン)／Google マップ [2021.11.8 時点]水面白点】

過去記録 2020:オ 47 コ 145／2021:オ 162 コ 336／2022:オ 25 コ 143 (2022.12.26 オ 50 コ 80 平泉)

観察地点 下流側は大河原橋右岸、上流側は右岸水門付近で脇の道から堤防に上がると広い視界が得られる。下流側二つ先の末広橋の下流でも見たことがあるが(2021.11.21 オ 11 コ 64／2022.12.2 コ 8 平泉)、大河原橋からでも存在の有無は確認できるので白鳥類が入っていれば末広橋付近から見れば良い。

調査順序(案) 白石川-千桜橋前→大河原橋上流→手代木沼 または逆ルート



### F1-3 白石川-蔵王町(宮)

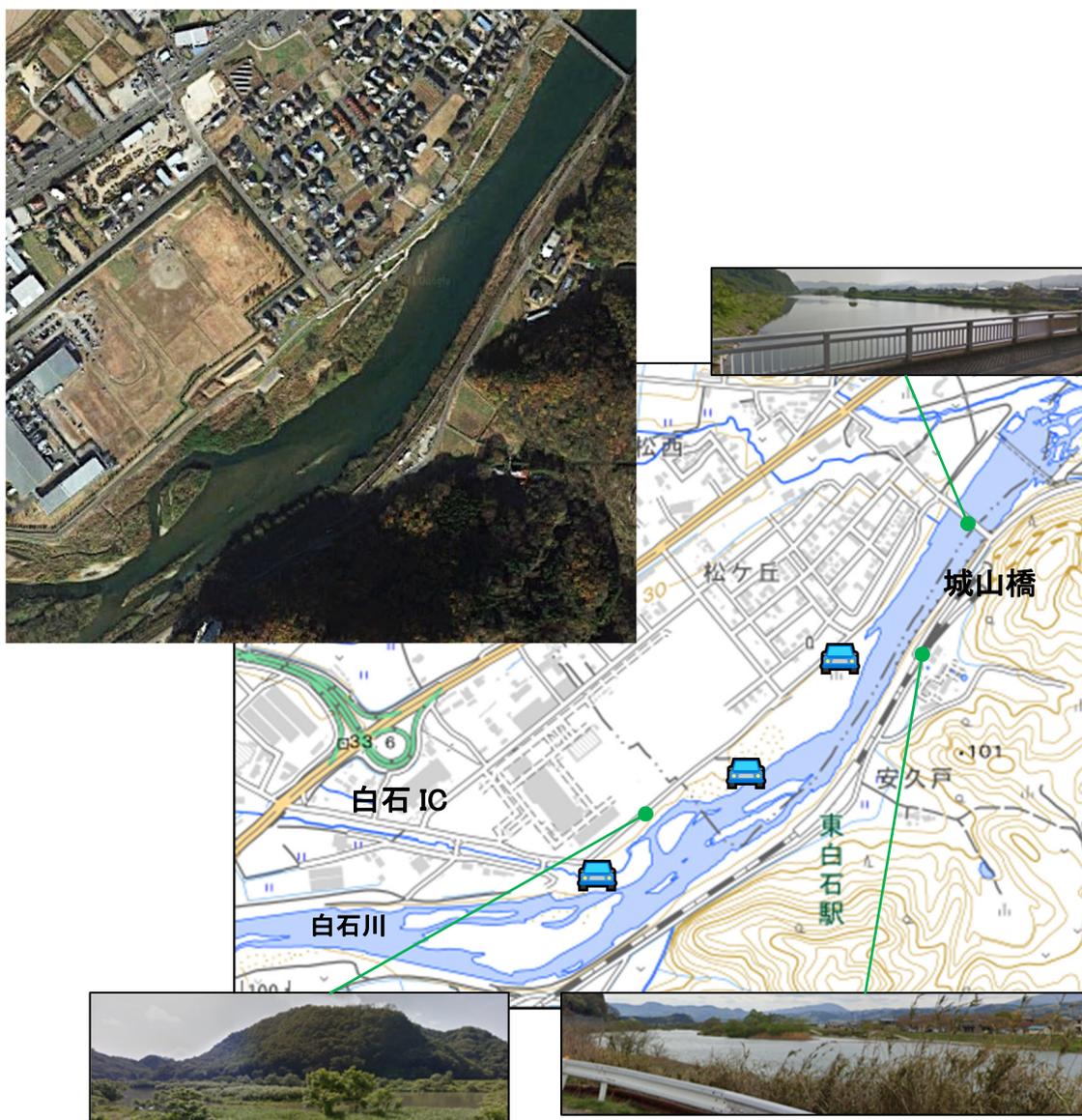
所在地 蔵王町宮松ヶ丘、白鳥(38.0370062, 140.6512243)

概要 JR 東白石駅に面した松ヶ丘河川公園(白鳥公園)周辺。【👁️左岸道路、下流域山橋上/Google マップ [2021.11.8 時点]水面白点】

過去記録 2020:オ 57 コ 6/2021:オ 127 コ 112/2022:オ 284 コ 139 (2022.12.26 オ 78 コ 5 平泉)

観察地点 東白石駅の正面と少し下流に駐車スペースがあるので、その付近でカウントする。上流は流れが分かれて見にくいと道がカーブした付近から見ると見える部分もある。年や時期によりねぐらが多少変わるので状況に応じて調査する必要がある。

調査順序(案) 白石川-蔵王町宮→馬牛沼 または逆ルート



#### F1-4 馬牛沼

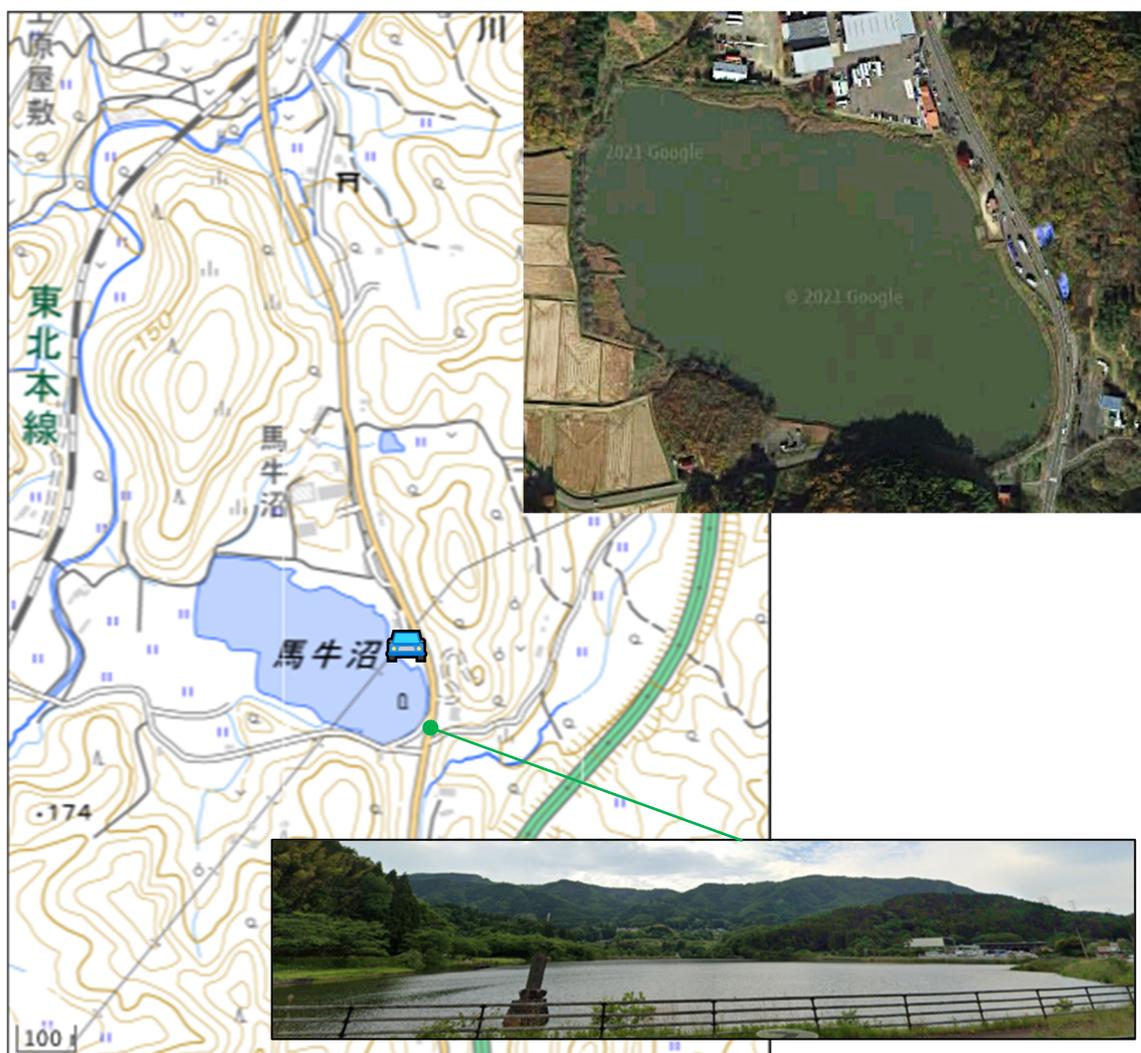
所在地 白石市斎川馬牛(37.9479832, 140.6087374)

概要 福島県境に近い国道4号線沿いの沼。【👁️🗨️国道、南側道路】

過去記録 2020:才 167コ 15/2021:才 147コ 91/2022:才 80 (2022.12.26 才 73コ 2 平泉)

観察地点 国道沿いの駐車スペースから全体を観察できる。

調査順序(案) 白石川-蔵王町宮→馬牛沼 または逆ルート



## F1-5 手代木沼

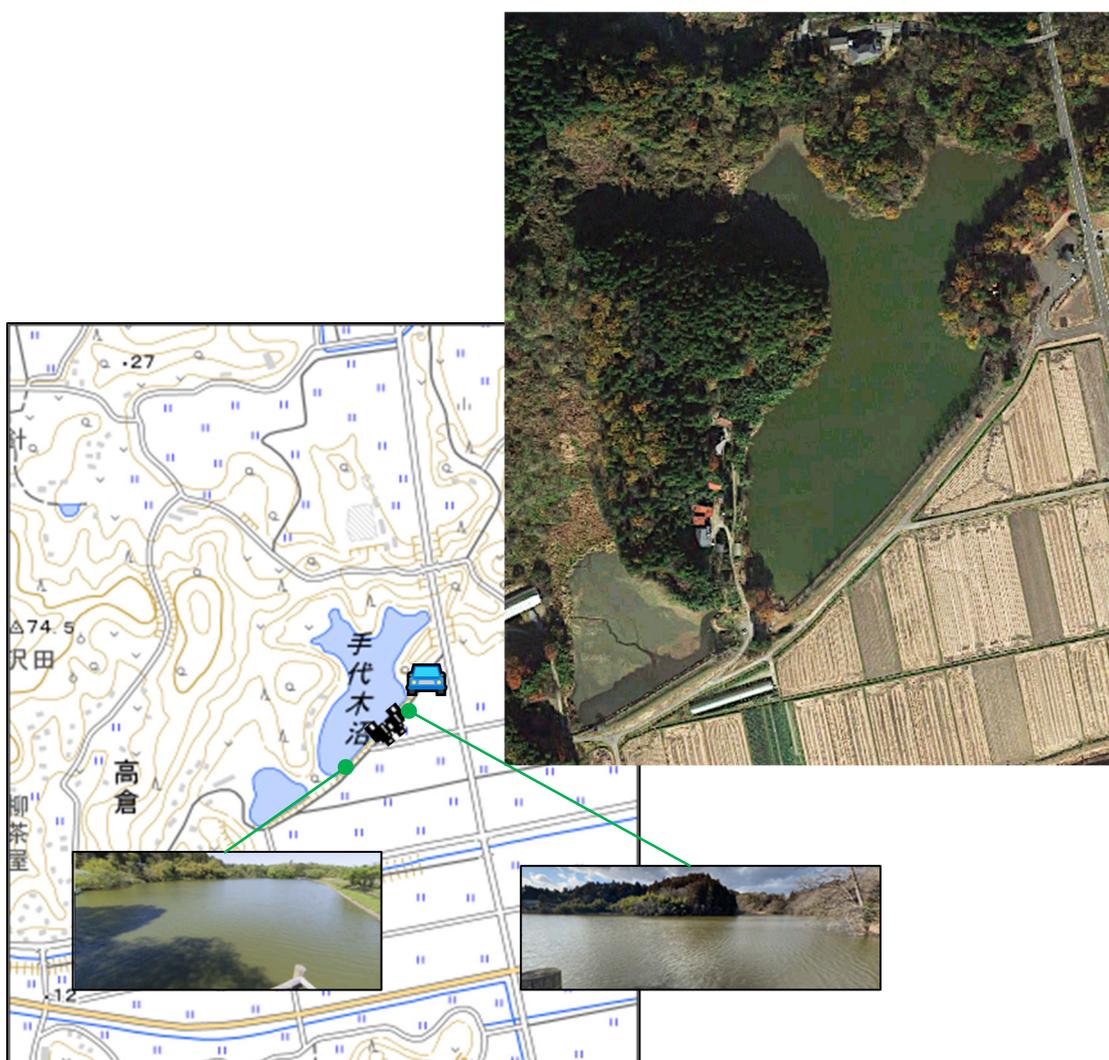
所在地 角田市高倉天王前(37.9996159, 140.7487519)

概要 角田の平野部の西端にある溜池。以前はもっと多かったようだが、最近はそれほど多くはないようだ。【👁️👁️南側の堤上に数点】

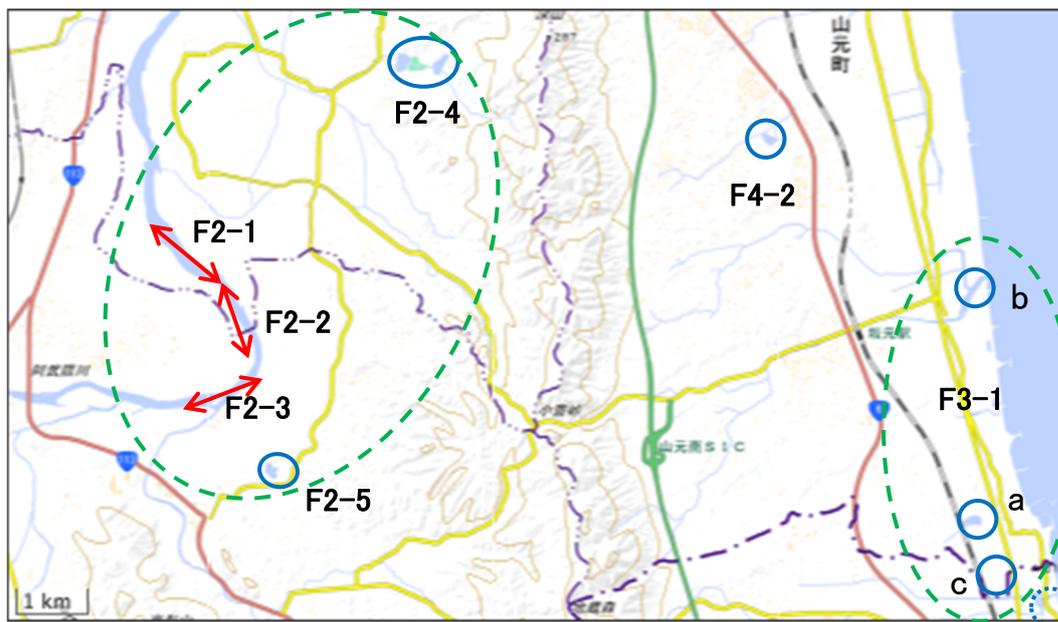
過去記録 2020:オ 5 / 2021:オ 26 コ 1 / 2022:オ 54 コ 6 (2022.12.6 オ 26 コ 9 平泉)

観察地点 南側の堤から観察する。西側にある小池にも少数入っていることもあったので見ておくと良い。

調査順序(案) 白石川-千桜橋前→大河原橋上流→手代木沼 または逆ルート



広域図 F2 県南地区：阿武隈川中流・山元沿岸



F2-1 阿武隈川-枝野  
F2-2 阿武隈川-小斎  
F2-3 阿武隈川-原町  
F2-4 内町ため池

F2-5 丸森町新堤  
F3-1a-c 水神沼周辺  
○(参考)埴川河口 (福島県)  
F4-2 田中堤

[→全域図に戻る](#)

## F2-1 阿武隈川-枝野

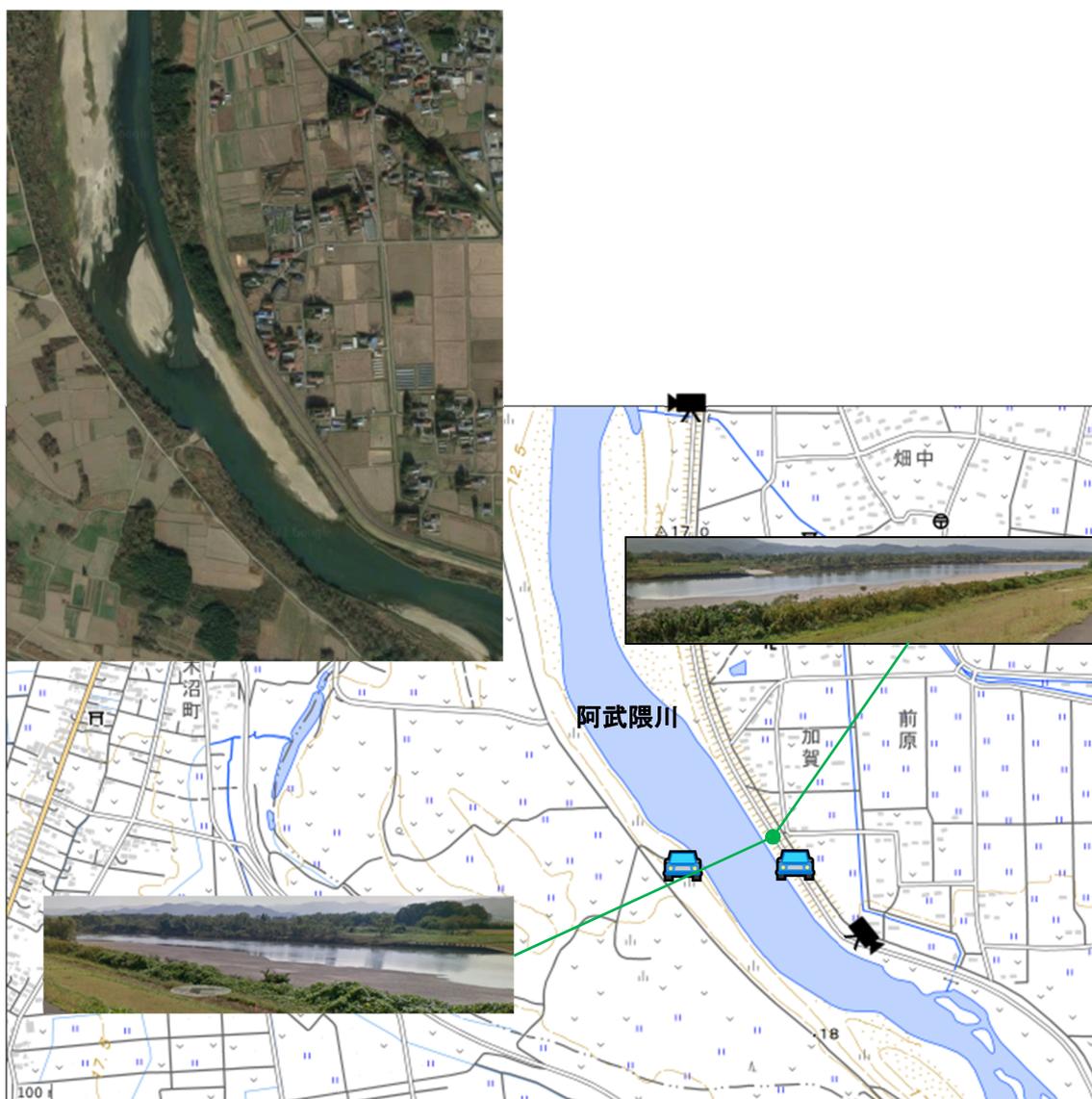
所在地 角田市枝野(37.9350231, 140.7951727)

概要 左岸の河川敷の農地を通過して車で入っていける船着場(使われていない?)。洲が連続していて休息する白鳥類が見られ、餌を与えに来る人がいるのか近寄ってくるものもいる。【👁️👁️右岸堤防道/Google マップ [2021.11.8 時点]水面白点】

過去記録 2020:コ 29/2021:コ 63/2022:オ 204コ 327 (2022.12.6 オ 113コ 12 平泉)

観察地点 右岸の堤防か左岸の船着場付近で観察する。左岸の船着の方が広い範囲が見えるが積雪があると入りにくく、小斎や原町からだと橋を回るのに時間がかかる。

調査順序(案) 丸森町新堤→阿武隈川-原町→小斎→枝野→内町ため池 または逆ルート



## F2-2 阿武隈川-小斎

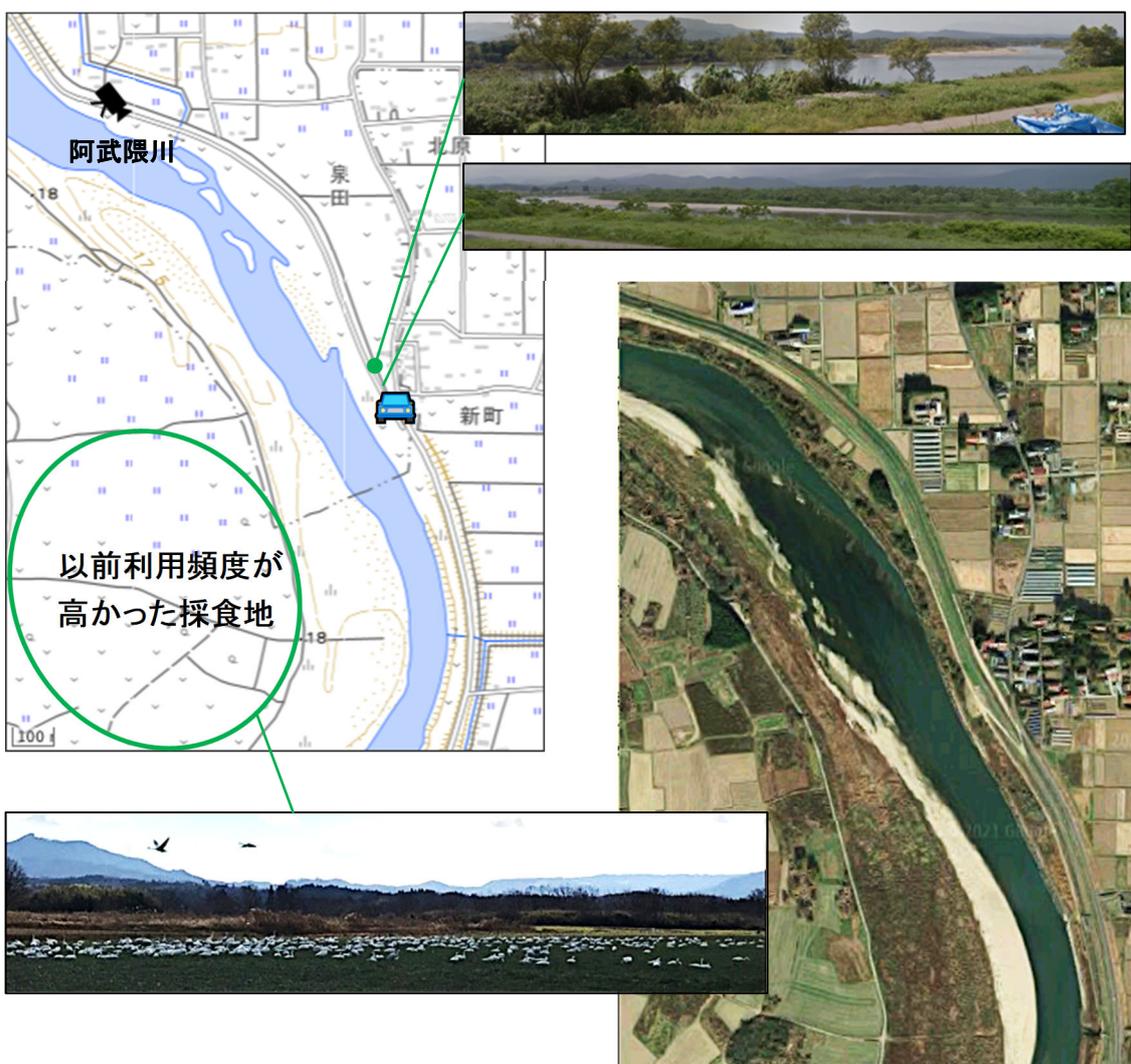
所在地 角田市枝野、丸森町小斎ほか(37.9280106, 140.8047619)

概要 左岸沿いに連続して洲があり、多くの白鳥類が休息している。以前は左岸側の丸森町館矢間館山沖東の農地に飛んで行って採食するものが多かったが(枝野や原町も同様)、最近是利用することはあまりないようだ。【👁️🗨️調査地点下流の右岸堤防道】

過去記録 2020:コ 448/2021:オ 142コ 1/2022:コ 337 (2022.12.6 オ 32コ 239 平泉)

観察地点 堤防上か高水敷に降りて水際に近づいてカウントする。昨年も高水敷で工事が行われ、状況の変化が大きい。この地点より北側の堤防上(車止めあり)はGoogle ストリートビューあり。

調査順序(案) 丸森町新堤→阿武隈川-原町→小斎→枝野→内町ため池 または逆ルート



### F2-3 阿武隈川-原町

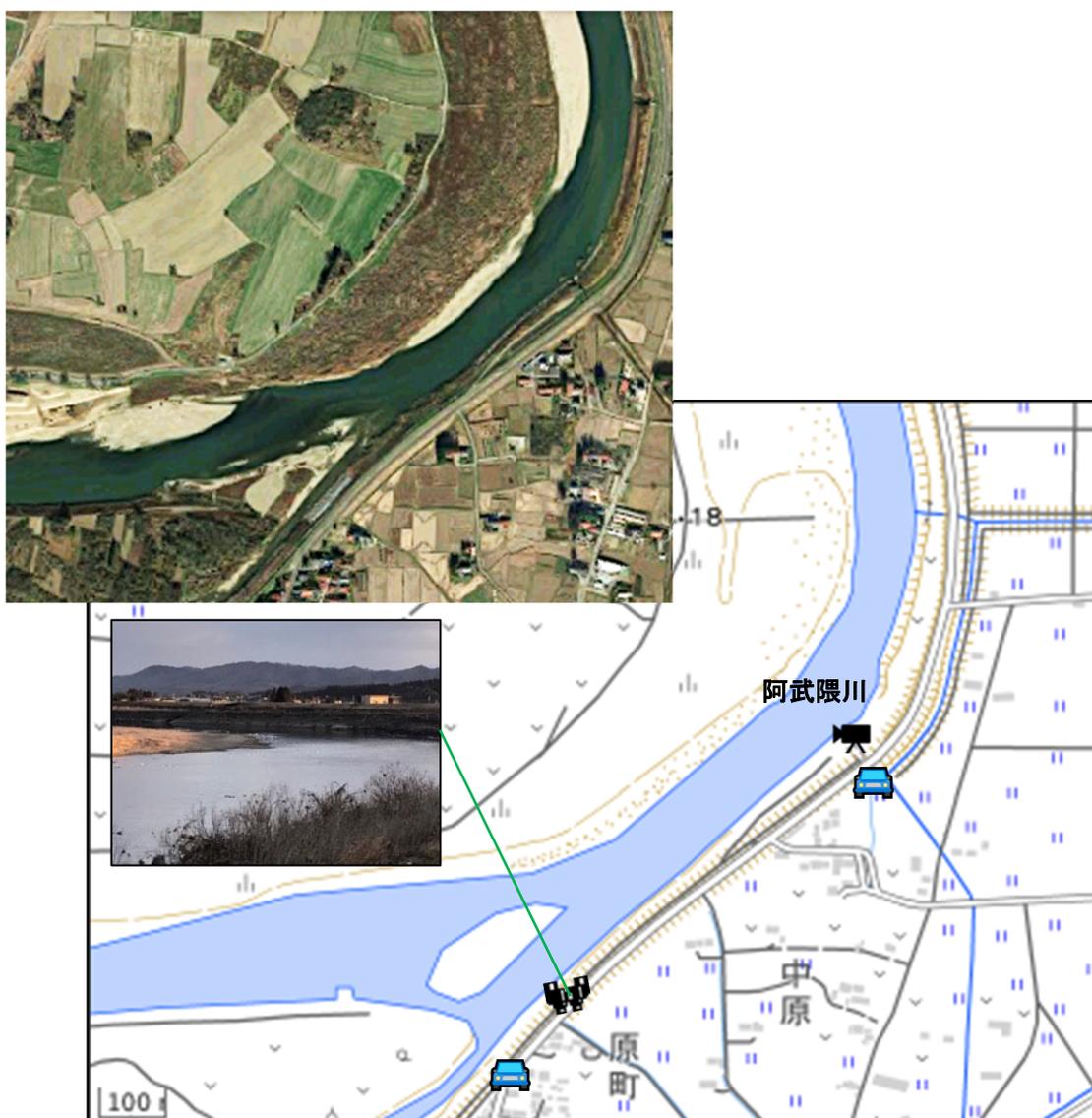
所在地 丸森町金山原町(37.9153953, 140.8029269)

概要 雉子尾川が合流し、東に流れてきた阿武隈川が北に向きを変える付近。洲付近で休む白鳥類が観察できる。

過去記録 2020:オコ/2021:オ6コ89/2022:コ56 (2022.12.6 なし 平泉)

観察地点 雉子尾川付近の駐車場所から堤防上で川が広く見渡せる場所に出てカウントする。小斎地点との中間に群れがいる場合は水門のところで観察しても良い。

調査順序(案) 丸森町新堤→阿武隈川-原町→小斎→枝野→内町ため池 または逆ルート



## F2-4 内町ため池

所在地 角田市尾山内町(37.9572534, 140.8305146)

概要 阿武隈高地西麓の溜池。上流にある内町上溜池と2段になっている。【👁️🗨️

西側の堤上、南側の道路/Google マップ [2021.11.8 時点]水面白点】

過去記録 2020:才 43コ 203/2021:才 40コ 28/2022:才 16コ 70 (2022.12.6 才 21コ 10 平泉)

観察地点 南側の堤か南東側の駐車場所付近からカウントする。内町上溜池にも少数入ることがあるので補足記録をとっておくと良い。

調査順序(案) 丸森町新堤→阿武隈川-原町→小斎→枝野→内町ため池 または逆ルート



## F2-5 丸森町新堤

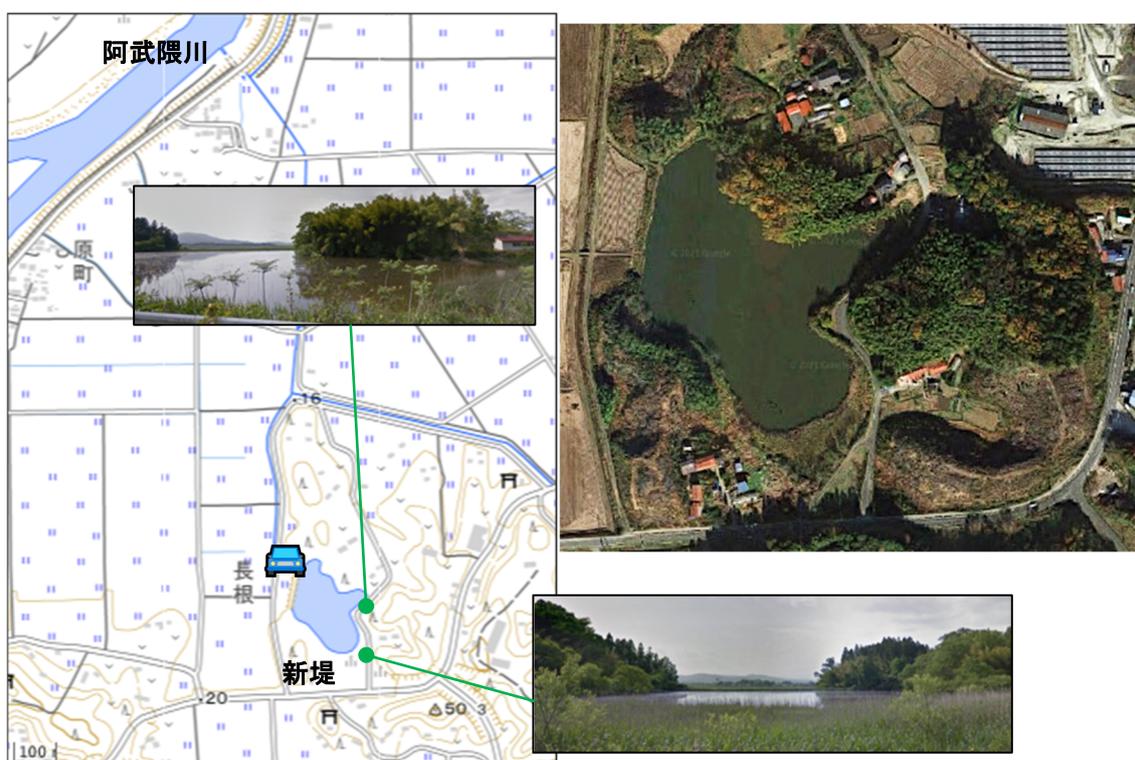
所在地 丸森町金山田林(37.9072004, 140.8106725)

概要 阿武隈川-原町地点南南約 1km にある溜池。【👁️東側の道路】

過去記録 2020:才 177コ 63 / 2021:才 33コ 16 / 2022:才 42コ 3 (2022.12.6 才 6 平泉)

観察地点 西側の堤からは全体が見渡せるが、道が細いので積雪がある時は東側の複数箇所から見る方が良いかもしれない。

調査順序(案) 丸森町新堤→阿武隈川-原町→小斎→枝野→内町ため池 または逆ルート



### F3-1a 水神沼周辺-水神沼

所在地 山元町坂元新赤川(37.901425, 140.9184637)

概要 福島県境に近い沿岸部の沼。以前は沼岸にヨシなどが生育する沼だったが、津波で一带に大きな被害があり復興事業でコンクリ護岸の池に変わっている(景観写真は工事段階)。最近は利用することが少なくなっているようだ。【👁️🗨️南側・北側の道路】

過去記録 2020:オ 44/2021:オ 28コ1/2022:なし (2022.12.17なし 平泉)

観察地点 東側と北側は道が接していてどこからでもカウントができる。車は東側に置きやすい。

調査順序(案) 坂元川河口部→水神沼→木ノ岡溜池 または逆順



※ 福島県側になるが県境から約 300m 南にある埒川河口にはまとまった数の白鳥類がねぐらをとっているのが確認されており(2022.12.17 オ 35コ6)、かつて水神沼を利用していただけものが移ったものと推測される。宮城白鳥調査の調査対象ではないが、F3-1a~c の利用状況にも関係する場所なので参考のために見ておくと良い。

### F3-1b 水神沼周辺-坂元川河口部

**所在地** 山元町坂元北谷地(37.927289, 140.9171317)

**概要** JR坂元駅東方の小河川の河口。河口部で戸花川が合流する上流側で川幅が少し広がっているところに白鳥類がねぐらをとっていることがあるが数は少ないようだ。早朝観察の頻度が低く、利用頻度は不明。【👁️🗨️南側・北側の道路】

**過去記録** 新規追加水域 (2020.1.14 オ19/11.27 オ2/2022.12.17 オ8 平泉)

**観察地点** 県道の橋を越えたところから川沿いに入っていく、川が北東にカーブするあたりで堤防に上がって観察する。必要なら川沿いの道をもう少し先まで進むことも可能。

**調査順序(案)** 坂元川河口部→水神沼→木ノ岡溜池 または逆順



### F3-1c 水神沼周辺-木ノ岡溜池

所在地 山元町坂元(37.896943, 140.922862)

概要 福島県境に近い沿岸部の沼。抽水植物がかなり繁茂して水面が少なくなっている。空中写真では中央に水路上に水面があるが、12月に見に行った時には写真より狭くなった感じでもう少し水がないとねぐらにはならないかもしれない。周辺で工事が行われていて車で周回はできなかった。南西側の上木ノ岡溜池はさらに水が少なかった。【👁️🗨️東西と北側の道路】

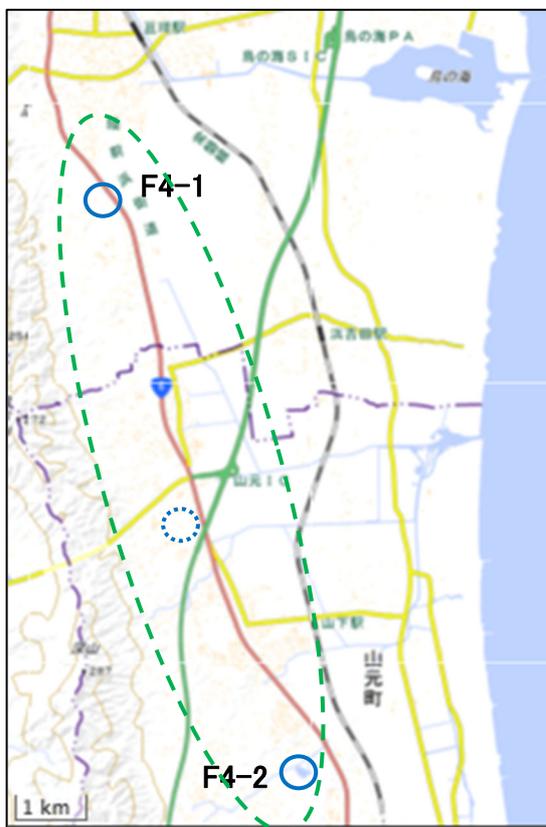
過去記録 新規追加水域 (2022.12.2 なし 平泉)

観察地点 空中写真やストリートビューを見た範囲では木ノ岡溜池の北側から見ると良いようだ。

調査順序(案) 坂元川河口部→水神沼→木ノ岡溜池 または逆順



広域図 F3 県南地区：国道 6 号線沿線



F4-1 境堤

F4-2 田中堤

○ (参考)山崎堤(工事水抜き中)

広域図 F4 県南地区：阿武隈川河口



F5-1 阿武隈川-阿武隈大橋下流

F5-2 阿武隈川-互理大橋上流

[→全域図に戻る](#)

#### F4-1 境堤

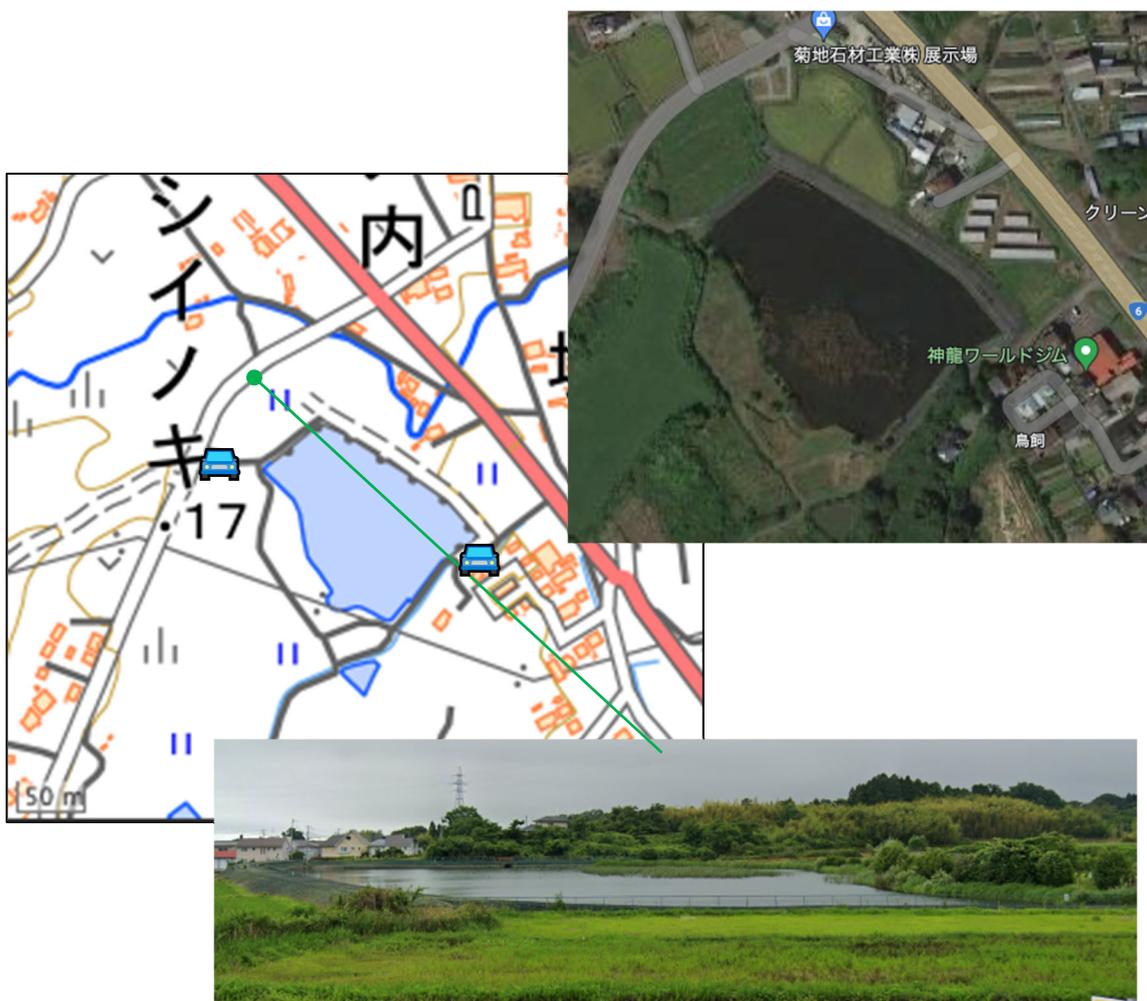
所在地 亘理町長瀬坂下(38.022845, 140.852430)

概要 国道6号線沿いの溜池。中島状に抽水植物が茂った部分がある。県のガンカモ生息調査でも多数記録された年がある。【👁️🗺️北西側の道路】

過去記録 新規追加水域 (2022.12.17 才64 平泉)

観察地点 国道から東の角から見ると全体が把握できる。北西側の道路の自販機のある駐車スペースから降りていく道もある。

調査順序(案) 境堤→田中堤



## F4-2 田中堤

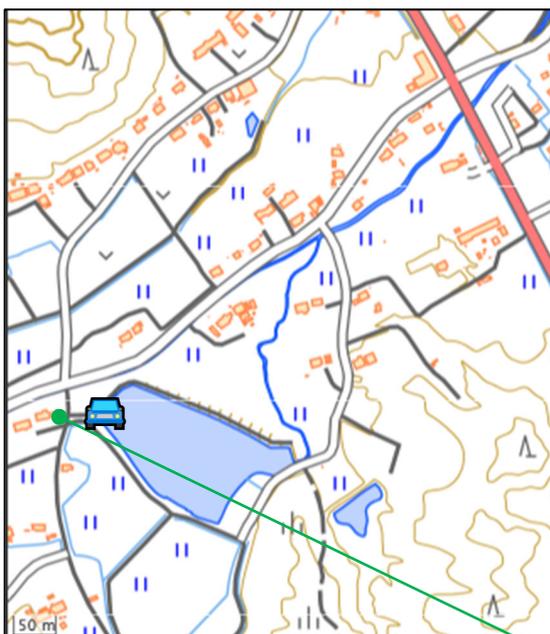
所在地 山元町高瀬大久保(37.947953, 140.887144)

概要 国道6号線に近い溜池。昨シーズンは浚渫工事が行われていたが、今季は雁鴨類が戻っている。県のガンカモ生息調査でも多数記録された年がある。【👁️🗨️南側・北側の道路】

過去記録 新規追加水域 (2022.12.17 才12 平泉)

観察地点 北西側に車を置いてカウントできる。

調査順序(案) 堺堤→田中堤



※ 堺堤と田中堤の中間の国道6号線近くには同じような大きさの山崎堤があり、昨シーズンに見た時には昼間に数百羽のマガモやオナガガモが休息していたので白鳥類のねぐらになっている可能性もありそうだったが、今季は地震で破損した堤の補修工事が行われ水が抜かれていた。来季以降に白鳥類のねぐらとしての利用の有無を確認してまとまった数が利用している場合は調査地点に加える必要がある。

### F5-1 阿武隈川下流部-亘理大橋上流

所在地 岩沼市寺島(38.062469, 140.910330)

概要 阿武隈川下流部の亘理大橋上流の左岸ぞいにねぐらをとる白鳥類が見られ、オオハクチョウの割合が高い。【👁️🗨️亘理大橋】

過去記録 新規追加水域 (2022.12.27 オ93コ26 平泉)

観察地点 車は左岸堤防上に東屋のあるところの堤防脇に停めて堤防に上がってカウントする。約850m上流から堤防に車で入ることも可能。

調査順序(案) 亘理大橋上流→阿武隈大橋下流 または逆順



## F5-2 阿武隈川下流部-阿武隈大橋上流

所在地 岩沼市寺島高原(38.083814, 140.905561)

概要 阿武隈川下流部の仙台東部道路阿武隈大橋下流の左岸ぞいの洲付近にねぐらをとる白鳥類が見られ、こちらはコハクチョウの割合が高い。【👁️🗨️左岸堤防上】

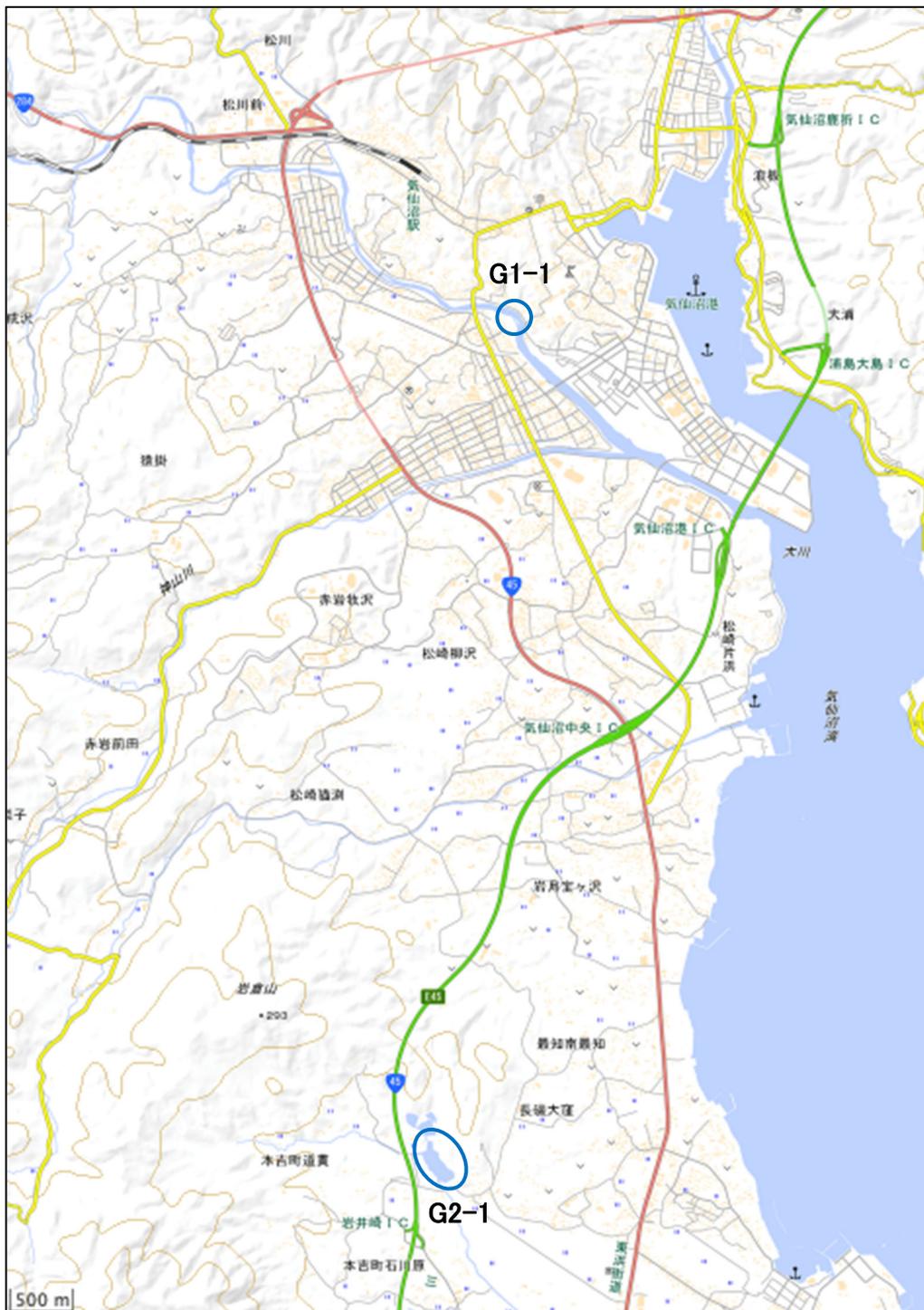
過去記録 新規追加水域 (2022.12.27 オ7コ38 平泉)

観察地点 ここは左岸堤防に車で入りやすい。東屋のあるところから見るか河川敷に降りて河岸まで行ってカウントする。

調査順序(案) 亙理大橋上流→阿武隈大橋下流 または逆順



広域図 G 気仙沼地区



G1-1 大川(気仙沼)

G2-1 菫蒲沢溜池

[→全域図に戻る](#)

## G1-1 大川(気仙沼)

所在地 気仙沼市本町(38.9000218, 141.5677753)

概要 【👁️👁️左岸道路】

過去記録 新規追加水域

観察地点

調査順序(案) 大川(気仙沼)→菖蒲沢溜池



## G2-1 菖蒲沢溜池

所在地 仙沼市本吉町菖蒲沢 (38.8413239, 141.5610233)

概要

過去記録 新規追加水域

観察地点

調査順序(案) 大川(気仙沼)→菖蒲沢溜池

